

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
「1 終了(事業が完了したので終了する)」:10事業															
1	一般	2	1	7	412効率的で健全な 行財政運営の推進	旧第二学校給食センター他建物解体事 業	契約管財課	○	○	①旧第二学校給食センター及び旧トレーニングセンターの跡地につい て、浸水対策として、排水路を整備する為、建物を解体す る。 ②解体工事後の家屋の事後調査を行い、物件補償につ いて地権者と交渉する。	109,507	6,454	1終了	①解体後の事後調査と物件補償について完了したため。 ②事業終了のため特になし。	0
2	一般	4	1	3	225環境衛生の充実	第2斎場建設事業	環境課	○	○	①四市複合事務組合(船橋市・習志野市・八千代市・鎌ヶ谷 市)が建設する第2斎場整備に必要な経費の負担を行う。 ②既存の馬込斎場に加え、令和元年10月に第2斎場が開業 し管理運営費負担額が増加したため、適正な管理運営が行 われているか精査・確認を行う必要がある。	159,969	145,000	1終了	①第2斎場の建設を完了し、令和元年10月に「しおかぜ ホール茜浜」として供用を開始したため。 ②事業終了のため特になし。	0
3	一般	3	1	1	111地域で支えあう 福祉社会の形成	プレミアム商品券事業	社会福祉課	○	○	①消費税・地方消費税率の10%への引き上げが、低所得 者及び子育て世帯の消費に与える影響を緩和するととも に、地域における消費を喚起することを目的として、国によ る財政支援により、プレミアム付(割引率20%)商品券の発 行事業を実施する。 ②令和元年度で事業が終了するため、なし。	0	156,171	1終了	①令和元年度で事業が終了するため。 ②事業終了のため特になし。	0
4	一般	3	1	2	111地域で支えあう 福祉社会の形成	総合福祉保健センター設備機器改修事 業	社会福祉課	○	○	①平成3年9月に竣工して以来、使用していた中央監視盤に ついて、老朽化が進み、表示灯が見づらくなったため、新し いものと交換する。 ②機器の老朽化により監視項目の情報が確認しづらくなっ ている。	0	2,514	1終了	①交換工事が完了したため。 ②事業終了のため特になし。	0
5	一般	8	4	1	313質の高い既成市 街地の整備	都市計画基本図改訂事業	都市計画課	○	○	①令和2年度策定予定の市総合基本計画、その後に策定さ れる都市計画区域の整備、開発及び保全の方針、都市計 画マスタープランの基礎となる都市計画基本図(白図)を委 託により最新にする。 ②今回の都市計画基本図の改訂は完了したが、今後も、5 年毎の都市計画基礎調査の実施の際など、機会を捉えて改 訂を行い、最新の状態とすることが望ましい。	0	9,240	1終了	①目的達成により終了の評価となるが、都市計画のための 基本図であり、まちの大きな変化等が生じた際は改訂が必 要となることから、市域の状況に注視する。 ②最新の都市計画基本図に改定を行ったが、今後予定され る都市計画基礎調査と併せた改訂など、改訂時期を検証す る。	0

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
6	一般	10	4	3	123芸術・文化の振興	きらりホールの管理運営に要する経費	文化・スポーツ課	○		①きらりホールの管理運営を行う。 ②きらりホール主催事業での来場者数の増加を図る。	44,050	46,344	1終了	①指定管理者制度を導入に伴い、予算が0円となるため「終了」となるが、来場者数を増加させるために、きらりホール主催事業の内容、実施時期、PR方法等見直していく必要があることから、令和2年度以降は「指定管理料」を計上している事務事業（「きらり鎌ヶ谷市民会館の管理運営に要する経費」）で評価・検討を行う。 ②引き続ききらりホール主催事業の内容やPR方法の見直し、指定管理者への指導が必要となるため、令和2年度以降は、「指定管理料」を計上している事務事業（「きらり鎌ヶ谷市民会館の管理運営に要する経費」）で評価・検討を行う。	0
7	一般	10	4	1	123芸術・文化の振興	文化財保管スペース整備事業	文化・スポーツ課	○	○	①文化財資料を保存し、適切に管理し、あわせて国民共有の財産として広く公開・活用するための準備スペースとして、土地・建物を取得し、文化財保管スペースとして整備を行う。 ②飽和状態であった文化財保管スペースを取得することができた。	0	42,242	1終了	①目的であった文化財保管スペースを取得できたため、事業は終了となった。 ②事業終了のため特になし。	0
8	一般	2	4	3	411地方分権と市民参加の推進	参議院議員選挙に要する経費	選挙管理委員会事務局			①期日前投票及び不在者投票の実施、並びに投開票事務に必要な準備を実施する。 ②事務の正確性を確保した上で、投開票事務の経費削減に努める必要がある。	0	31,309	1終了	①次回の選挙執行に向け、適正かつ効率的な投開票事務を実行できるよう、引続き選挙準備事務を行う。 ②投開票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を図る。	0
9	一般	2	4	4	411地方分権と市民参加の推進	千葉県議会議員選挙に要する経費	選挙管理委員会事務局			①期日前投票及び不在者投票の実施、並びに選挙期日に市内23投票所及び1開票所において投開票を実施する。 ②事務の正確性を確保した上で、投開票事務の経費削減に努める必要がある。	11,339	13,416	1終了	①次回の選挙執行に向け、適正かつ効率的な投開票事務を実行できるよう、引続き選挙準備事務を行う。 ②投開票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を図る。	0
10	一般	2	4	5	411地方分権と市民参加の推進	市議会議員選挙に要する経費	選挙管理委員会事務局			①期日前投票及び不在者投票の実施、並びに選挙期日に市内23投票所及び1開票所において投開票を実施する。 ②事務の正確性を確保した上で、投開票事務の経費削減に努める必要がある。	88	44,060	1終了	①次回の選挙執行に向け、適正かつ効率的な投開票事務を実行できるよう、引続き選挙準備事務を行う。 ②投開票に係る各種提出書類等のマニュアル化を行い、適正かつ効率的な選挙の執行を図る。	0

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
「2 休止(事業を一時休止する)」: 1事業															
1	一般	8	4	5	222快適な公園・緑地環境の整備	地区公園整備事業	公園緑地課	○	○	①地区公園整備のため、用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。 ②粟野地区公園の用地取得が完了しないため整備に着手できない。	0	13,763	3休止	①緑の将来像の実現に向けて、市民一人当たり公園面積の目標水準を目指し、整備を進めていく必要があるため。 ②粟野地区公園の用地取得に向けて引き続き交渉を継続していく。	0
「3 縮小(事業規模を縮小する)」: 11事業															
1	一般	7	1	2	332魅力ある商業の育成	空き店舗活用事業	商工振興課	○	○	①賑わいの創出を図るため、商店街の空き店舗を活用し、出店する人に対し、店舗改装費等の総額2分の1(上限100万円)を補助する。 ②依然として、市内には多くの空き店舗があり、空き店舗の解消に向け取り組んでいくほか、本事業が賑わいの創出に繋がっているか検証する必要がある。	5,000	1,000	4縮小	①総合戦略に掲げたKPIを達成しているほか、年々申請スピードが鈍化しているため。 ②申請期間を拡大し、本補助金の活用増に繋げる。	3,000
2	国保	2	1	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	退職被保険者等療養給付費に要する経費	保険年金課			①被保険者が疾病や負傷等により、受診した場合、医療費の保険者負担分を国保連合会を通して医療機関に支払う。 ②高齢化等により、1人あたり療養給付費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	19,231	1,806	4縮小	①平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2年3月に対象者はなくなったが、精算が残るため。 ②退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行した。	1,000
3	国保	2	1	4	115安心して暮らせる社会保障の充実	退職被保険者等療養費に要する経費	保険年金課			①退職被保険者が柔道整復師の施術、鍼灸等の施術をした場合、その保険者負担分を施術所等へ支払う。 ②高齢化等により、1人あたり療養費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	98	7	4縮小	①平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2年3月に対象者はなくなったが、精算が残るため。 ②退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行した。	100
4	国保	2	2	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	退職被保険者等高額療養費に要する経費	保険年金課			①退職被保険者が、同月内の医療費の自己負担額が高額になった時、申請後、自己負担限度額を超えた分を償還する。 ②高齢化等により、1人あたり高額療養費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	4,059	355	4縮小	①平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2年3月に対象者はなくなったが、精算が残るため。 ②退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行した。	100
5	国保	2	2	4	115安心して暮らせる社会保障の充実	退職被保険者等高額介護合算療養費に要する経費	保険年金課			①退職被保険者の年間の医療と介護の自己負担額が高額になった時、申請後、自己負担限度額を超えた分を償還する。 ②高齢化等により、1人あたり高額療養費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	0	0	4縮小	①平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2年3月に対象者はなくなったが、精算が残るため。 ②退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行した。	50
6	国保	2	3	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	退職被保険者等移送費に要する経費	保険年金課			①退職被保険者が負傷、疾病等の治療のため、医師の指示で緊急的な必要で移送された場合に、移送費を支給する。 ②緊急性が審査されるため、該当となるケースは少ない。	0	0	4縮小	①平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2年3月に対象者はなくなったが、精算が残るため。 ②退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行した。	50

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
7	国保	3	1	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等医療給付費分納付金 に要する経費	保険年金課			①国保財政の運営主体である県が医療費水準と所得水準 で算出した退職被保険者医療給付費納付金を収める。 ②激変緩和措置により納付金は減額されており、この激変 緩和措置は年々縮小される。	5,534	2,551	4縮小	①平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2 年3月に対象者はいなくなったが、精算が残るため。 ②退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行し た。	2,260
8	国保	3	2	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等後期高齢者支援金等 分納付金に要する経費	保険年金課			①国保財政の運営主体である県が医療費水準及び所得水 準で算出した退職被保険者後期高齢者支援金等納付金を 収める。 ②激変緩和措置により納付金は減額されており、この激変 緩和措置は年々縮小される。	1,260	417	4縮小	①平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2 年3月に対象者はいなくなったが、精算が残るため。 ②退職者医療制度終了に伴い、一般被保険者への移行し た。	99
9	国保	4	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職者医療事務費拠出金に要する経費	保険年金課			①退職者医療制度該当者を抽出するため、拠出金を納付 し、該当者リストの提供を受ける。 ②平成27年4月より新規加入者への適用ができなくなったた め、退職者医療制度の該当者が減少している。	1	1	4縮小	①平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2 年3月に対象者はいなくなったが、遡り適用される場合があ り、リストの提供は継続されるため。 ②退職者医療制度の新規適用はないが、退職者医療制度 該当者がいた場合には振替は継続する。	2
10	国保	7	1	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	退職被保険者等保険料(税)還付金等 に要する経費	保険年金課			①退職被保険者にかかる国民健康保険料の重複納付・更 正減額等による過誤納金の還付事務を行う。 ②遡り喪失等を理由とする更正減額による還付が多数を占 めるため、適正な資格管理が課題である。	0	0	4縮小	①平成27年4月より新規加入者への適用がなくなり、令和2 年3月に対象者はいなくなったが、精算が残るため。 ②退職者医療制度終了により、退職者医療制度該当者へ の還付金は減少する。	200
11	国保	7	2	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	国民健康保険交付金・負担金償還金に 要する経費	保険年金課			①国や県から支払われる負担金及び交付金について、過大 に交付があった場合に、翌年度に償還する。 ②実績報告により、償還額が確定するため、毎年度、補正 予算となる。	156,207	0	4縮小	①前年度の実績報告に伴う返還金であるが、申請金額につ いて、検証していく必要がある。 ②療養給付費等国庫負担金等は、30年度より県が申請し ているため、償還額は縮小する。	1

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
「4 精査・検証(業務手法等について精査・検証の上、継続する)」:329事業															
1	一般	2	1	1	411地方分権と市民参加の推進	総務事務に要する経費	総務課			①市の保有する情報の開示請求など情報公開・個人情報保護に関する事務、行政不服審査法に基づく事務等を行うとともに、各種分担金の支出などを行う。 ②情報公開制度及び個人情報保護制度の趣旨、制度の内容等を職員に周知していく必要がある。	13,520	13,645	6精査・検証	①情報公開制度及び個人情報保護制度についての職員の意識を高めていく必要があるため。 ②情報公開と個人情報保護制度の考え方について、引き続き研修等を実施し、周知・サポートを徹底していく。	19,118
2	一般	2	1	1	411地方分権と市民参加の推進	訴訟関係事務に要する経費	総務課			①法律相談について、顧問弁護士に法的な観点からの助言を受け、適正な市政運営を行うとともに、訴訟が提起された場合は、市の主張を法廷で行う。 ②出来る限り訴訟への移行とならないよう、より正確かつ丁寧な事務を執り行えるよう助言等のサポート体制が求められる。	872	874	6精査・検証	①相談内容のポイントを整理し、適切な時期に法律相談ができるように検証する必要があるため。 ②訴訟事務への理解を深め、問題の解決に向けた迅速な対応を行う。	929
3	一般	3	1	4	412効率的で健全な行財政運営の推進	文書管理に要する経費	総務課			①適正文書管理を行う。また、複写機の適正な使用につき指導し、事務の効率化や経費削減を行う。 ②複写機の使用状況等を把握し、適所に設置することが求められる。	74,267	75,794	6精査・検証	①複写機は、平成29年度～令和4年度の長期継続契約であり、次回(令和5年度)契約時により効果的な設置場所や機器を検証する必要があるため。 ②市民ニーズや行政課題の多様化に伴う印刷・郵便等の増加に対して、より効率的な対応の手段を検討する。	82,044
4	一般	2	5	1	412効率的で健全な行財政運営の推進	統計事務に要する経費	総務課			①関係機関から必要なデータを収集し、統計かまがやを市のホームページ等で公表する。 ②市の現状やこれからの動きがより把握しやすい統計情報の提供が求められる。	1,060	1,398	6精査・検証	①必要性の高い統計情報をより利用しやすい形で提供する必要があるため。 ②市の統計情報について、市民や関係機関が利用しやすい提供手法等を引き続き検討していく。	1,233
5	一般	2	5	2	412効率的で健全な行財政運営の推進	諸統計調査事務に要する経費	総務課			①国の基幹統計調査等を実施する。 ②統計調査員の高齢化により、調査員が減少するなど調査環境が年々厳しくなっている。	5,032	3,315	6精査・検証	①登録調査員数が減少しており、引き続き調査員確保が必要であるため。 ②調査員確保の手段を研究し、継続的に統計調査業務ができる新たな調査員を確保する。	52,593

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
6	一般	13	2	5	412効率的で健全な 行財政運営の推進	特定防衛施設周辺整備調整交付金事 業基金積立に要する経費	総務課			①国から交付される特定防衛施設周辺整備調整交付金を 基金として管理する。 ②基金の運用の仕方など、国(防衛省)等の方針の変更等 がないか、適宜確認する必要がある。	66,691	65,330	6精査・検証	①特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金について、 引き続き適正に管理していく必要があるため。 ②北関東防衛局の担当職員と密に連絡をとり、情勢の変化 に速やかに対応できるようにする。	65,331
7	一般	2	1	2	412効率的で健全な 行財政運営の推進	人事管理に要する経費	総務課			①採用・昇任試験の実施の他、人員の相談・管理・フォロー 等に関する事務を行う。 ②戦略的な採用試験を実施していく必要がある。	33,582	64,688	6精査・検証	①戦略的な採用試験を実施するため、試験方法の変更等 を行ったが、質の高い人材を継続的に採用していくため には、さらなる検証・改善が必要のため。 ②引き続き戦略的な採用試験の検証・実施、また、定員の 適正管理のため再任用制度の検証を行う。	20,680
8	一般	2	1	2	412効率的で健全な 行財政運営の推進	職員研修に要する経費	総務課	○		①人材育成基本方針に基づき、人材育成のため全職員に 対して、それぞれに求められる各種研修を実施し、職員の能 力開発を実現する。 ②改定した人材育成基本方針に基づいた研修計画の見直 しとその計画を実施していく必要がある。	2,982	2,651	6精査・検証	①人材育成基本方針に基づき職員が必要な能力を身につ けるため、研修・能力開発を実施する必要があるため。 ②人材育成基本方針に基づき、人材育成を実現していくた め、研修計画の見直しとその計画の実施を行う。	3,603
9	一般	2	1	2	412効率的で健全な 行財政運営の推進	福利厚生に要する経費	総務課			①職員の健康相談・定期健診等の実施の他、人間ドックや 部活動の助成、地下休憩コーナーや屋上喫茶室の運営等、 福利厚生に関する事務を行う。 ②職員の健康相談・定期健診・人間ドックの受診率向上・地 下休憩コーナーや屋上喫茶室の運営を継続し、福利厚生を 図る。	8,283	8,033	6精査・検証	①定期健診・人間ドック等の受診率は30年度の93.0%に対 して元年度は94.1%となったが、引き続き受診率の向上を 図る必要があるため。 ②引き続き職員の健康相談・定期健診・人間ドックの受診を より促進することで心身の健康保持増進を図る。	10,000
10	一般	2	1	2	412効率的で健全な 行財政運営の推進	給与管理に要する経費	総務課			①職員の給与・手当・共済費の計算・支出・管理・調査・適正 化に関する事務を行う。 ②人事院勧告・千葉県人事委員会勧告に基づき、財政状 況・近隣市の状況を勘案した給与の適正化を図る。	2,291	2,318	6精査・検証	①システムを利用することで給与等の事務処理は迅速に行 えており、今後も引き続き事務効率の向上及び人件費の適 正化を図る必要があるため。 ②人事院勧告・千葉県人事委員会勧告に基づき、財政状 況・近隣市の状況を勘案した給与の適正化を行う。	2,630

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
11	一般	2	1	10	412効率的で健全な 行財政運営の推進	情報推進に要する経費	総務課			①庁内行政事務処理において、情報システム及び情報通信システムを利活用することにより、事務の効率化、高度化、情報の共有化を行う。 ②システムのライフサイクルの適正実施と社会情勢の変化に対応し、安定した稼働を保持することが課題。	82,304	85,529	6精査・検証	①行政事務を行う上で、情報システム及び情報通信ネットワーク等のICTの利活用は必要不可欠であり、随時検証が必要である。 ②ウイルス対策への経費増大を抑制するため、ソフト会社の乗り換えを滞りなく完了する。	99,793
12	一般	2	1	10	412効率的で健全な 行財政運営の推進	オンライン業務に要する経費	総務課			①住民情報関連業務、地方税業務、国民健康保険事務等の基幹系業務について、安定稼働を図る。 ②基幹系業務システム等に係るサービス水準の維持、向上と安定稼働が課題。	13,174	17,004	6精査・検証	①安定した基幹系業務システムの稼働が保持されるためには新しいシステム及び機器のサイジングや新しい技術の導入可否判断が必要であるため。 ②必要に応じて基幹系業務用の端末を確保する。	13,025
13	一般	2	1	10	412効率的で健全な 行財政運営の推進	基幹系ネットワークリプレイス事業	総務課	○	○	①基幹系ネットワーク機器及びケーブルをリプレイスする。 ②基幹系ネットワークの端末へ接続するための末端ケーブルは経年劣化しているものがあるため、状況に応じて個別に対処する必要がある。	—	1,596	6精査・検証	①経年劣化によるネットワーク切断等のリスクを低減できたため、有効性は高い。 ②基幹系ネットワーク機器等に関する通信の負荷や経年劣化を考慮し、必要に応じて末端のハブや、ケーブル交換等を行う。	9,578
14	一般	2	1	8	412効率的で健全な 行財政運営の推進	企画事務に要する経費	企画財政課			①「総合基本計画」のそれぞれの目標を達成するため、各政策に係る調整、進行管理等を実施するもの。 ②少子高齢化の進展及び将来的な人口減少等に対応するため、行財政改革、地域活性化等を推進する必要がある。	1,381	2,942	6精査・検証	①第4次実施計画(補正版)や総合戦略に係る各種取り組みなど、行政評価の結果等を踏まえ、推進していく必要があるため。 ②第4次実施計画(補正版)の推進を行うとともに、次期行財政改革推進プランの策定等を行う。	10,203
15	一般	2	1	8	144世界と結びつく 国際化の促進	国際交流に要する経費	企画財政課			①国際交流活動の推進、姉妹都市(ニュージーランド・ワカタネ)との交流を行うもの。 ②姉妹都市(ニュージーランド・ワカタネ)の認知度が低いこと。	29	0	6精査・検証	①グローバル化の進展に伴い、今後も国際交流事業を推進していく必要があるため。 ②姉妹都市交流員会の意見収集やホストファミリーの継続及びさらなる確保など、姉妹都市交流の充実を促進する。	241

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
16	一般	2	1	8	144世界と結びつく国際化の促進	多文化共生推進センターの管理運営に要する経費	企画財政課	○		①多文化共生社会の実現のために設置した多文化共生推進センター(愛称:かまがやワールドプラザ)を拠点として、学習機会の提供、情報発信、相談等を実施するもの。 ②多文化共生推進センターの認知度が低く、利用者は少ないが、一方で、外国人住民数は増加傾向にあり、多言語による相談体制を強化する必要がある。	4,881	4,783	6精査・検証	①多文化共生推進センターによる多言語での相談体制等について、引き続き検討を行う必要があるため。 ②外国人住民の利便性向上のため、タブレット端末による多言語アプリの導入や通訳・翻訳ボランティアを活用し、多言語による相談を受け付ける。	4,859
17	一般	2	1	8	413広域行政の推進	広域行政に要する経費	企画財政課			①近隣自治体と連携し、広域的な共通課題の解決に向けた取組や検討を行うもの。 ②広域的に取り組むことができる事業の調査や、実施によるメリットとデメリットを精査する必要がある。	109	107	6精査・検証	①今後も協議会の枠組みを活用するなど、近隣自治体との連携を深めていく必要があるため。 ②東葛広域行政連絡協議会等を通じて、引き続き他自治体と連携を図っていく。	118
18	一般	13	2	4	412効率的で健全な行財政運営の推進	ふるさと基金積立に要する経費	企画財政課			①地域活性化事業等への財源を計画的に確保するため、基金に積立を行うもの。 ②ふるさと基金を活用し、新たな地域活性化事業を展開する必要がある。	30,012	20,017	6精査・検証	①地域活性化事業等の財源を引き続き確保しておく必要があるため。 ②コミュニティバス運行助成事業、インターネット梨販売事業及び観光ビジョン推進事業に活用するとともに、次年度に活用する事業の選定を行う。	7
19	一般	2	1	5	412効率的で健全な行財政運営の推進	財務管理に要する経費	企画財政課			①財務管理を効果的・効率的に行うため、システム運用や国・県等との調整、ふるさと納税返礼品事業を行うもの。 ②予算編成や伝票起票時における職員の理解を深める必要がある。ふるさと納税返礼品事業に関し国から見直しの通知が出ている。	12,388	13,150	6精査・検証	①財務管理について、常に効率化が必要であるため。 ②職員の理解を深めるため、新規採用職員等への説明などを行う。統一的な基準により作成した財務書類について活用方策の検討を行う。ふるさと納税返礼品事業について、返礼品の追加等を適宜検討する。	16,542
20	一般	11	1	1	233防災対策の強化	土木施設災害復旧に要する経費	企画財政課			①予期しない災害等により被災した市が管理する土木施設の復旧作業に伴う予算の確保等を行うもの。 ②今後30年以内に70%の発生確率とされている首都直下型地震など、常に災害に対する準備は必要である。	0	0	6精査・検証	①予期せぬ災害に対応するため確実に対応する必要があるため。 ②対応が必要になった場合に、適切な対応を図る。	3

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
21	一般	12	1	1	412効率的で健全な 行財政運営の推進	借入金元金償還金に要する経費	企画財政課			①借入に伴う元金償還を行うもの。 ②ここ数年重点化を図った施設整備等により、今まで以上に計画的な公債費推計及び返済計画が必要である。	2,799,737	3,089,809	6精査・検証	①地方債活用の必要性等について、常に検証する必要があるため。 ②「地方債の総合的管理方針」等に基づき、公債費の増に対応する。	3,272,987
22	一般	12	1	2	412効率的で健全な 行財政運営の推進	借入金利子償還金に要する経費	企画財政課			①借入に伴う利子償還を行うもの。 ②ここ数年重点化を図った施設整備等により、今まで以上に計画的な公債費推計及び返済計画が必要である。	217,936	193,494	6精査・検証	①地方債活用の必要性等について、常に検証する必要があるため。 ②「地方債の総合的管理方針」等に基づき、公債費の増に対応する。	212,475
23	一般	2	1	1	412効率的で健全な 行財政運営の推進	秘書事務に要する経費	秘書広報課			①市長、副市長の執務にあたっての秘書業務及び栄典・表彰に関する事務、市長会に関する調整等を行う。 ②秘書業務を正確かつ効率的に行う必要がある。市政功労者を確実に表彰するため、庁内に制度の周知を図る。	5,445	5,163	6精査・検証	①市民ニーズの多様化及び市民協働の活発化に対応するため、秘書事務の正確性をより向上させる必要があるため。 ②複数でのチェック体制の徹底や業務知識の向上を図る。表彰対象者の要件を確認し、的確に推薦事務を執り行う。	3,427
24	一般	2	1	3	411地方分権と市民 参加の推進	広報に要する経費	秘書広報課	○		①市の施策や行事、市民の自主的活動などの市民生活に必要な情報を広く知らせるとともに、市政への理解と協力を得るため、広報紙を発行する。また、行政手続きや緊急性のある行政情報などの提供を市ホームページ等で随時行う。 ②広報かまがや：より多くの市民が閲覧できる環境(配布・配置等)の整備 市ホームページ等：ウェブアクセシビリティの維持・向上及び情報発信の充実	20,650	24,324	6精査・検証	①市民に行政情報などを公平に提供し、市民と行政との情報共有をさらに充実させる必要があるため。 ②広報：より読みやすく親しみの持てる広報紙とする。 市ホームページ等：導入されたCMSの活用による多様な行政情報の提供と、ウェブアクセシビリティの維持・向上を進めていく。	28,061
25	一般	2	1	5	411地方分権と市民 参加の推進	契約事務に要する経費	契約管財課			①ちば電子調達システムを活用した入札・契約事務を行う。 ②入札・契約制度の透明性や公正な競争性が求められており、入札・契約事務の適正化・合理化が求められている。	6,340	6,810	6精査・検証	①ちば電子調達システムを活用し、入札・契約事務の適正化・合理化を促進していく必要があるため。 ②適正かつ円滑な入札・契約事務の実施に努める。	4,772

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
26	一般	2	1	5	412効率的で健全な 行財政運営の推進	工事検査に要する経費	契約管財課			①鎌ヶ谷市工事検査要領に基づき、工事検査を実施する。 ②公共工事の品質確保の推進のため、契約履行の確保の 重要性が高まっている。	462	473	6精査・検証	①引き続き契約の履行が確保できているか確認するため。 ②工事の適正な履行と工事目的物の品質確保に努める。	487
27	一般	2	1	7	412効率的で健全な 行財政運営の推進	庁舎管理に要する経費	契約管財課			①庁舎施設の適切な維持管理や主要設備に関する保守点 検を行う。 ②施設や設備の老朽化が進行しており、市民利用に支障が ないよう適宜維持管理を執行する必要がある。	117,326	113,620	6精査・検証	①継続して施設や設備を良好に使用するため。 ②市民サービスの低下防止と来庁者の安全に配慮しつつ、 快適に庁舎を利用できるよう努める。	115,287
28	一般	2	1	7	412効率的で健全な 行財政運営の推進	庁用車管理に要する経費	契約管財課			①庁用車安全確保のため、適切な維持管理や車両に関す る保守点検を行う。 ②老朽化した庁用車が増えているため、庁用車の運行が安 全に行えるよう適宜維持管理を執行する必要がある。	57,789	57,302	6精査・検証	①公用車更新基準に基づく、車両の長寿命化及び適正な 車両管理を継続するため。 ②適正な日常点検により、車両の不具合、故障個所の早期 発見に努める。	62,827
29	一般	2	1	7	412効率的で健全な 行財政運営の推進	財産の取得等に要する経費	契約管財課			①普通財産土地の維持管理及び公売による土地の売り払 いを行う。 ②土地の売り払いについては、買取要望者が現れないた め、所有する普通財産用地が増加している。	2,528	1,478	6精査・検証	①普通財産用地の売り払い方法や土地の有効利用などの 検討を行う必要があるため。 ②除草などを行い、適正な維持管理を行う。遊休土地につ いては、売り払い方法など有効活用を図る手法について検 討を行っていく。	2,450
30	一般	13	1	7	134高等教育の充実	用地借上に要する経費	契約管財課			①鎌ヶ谷高等学校用地及び通学路用地について、地権者 から借上げを行う。 ②相続発生時等において、市による買取を希望する地権者 が多い。	1,877	1,877	6精査・検証	①市が地権者から買取を行うことが妥当であるか検証する 必要があるため。 ②鎌ヶ谷高等学校の敷地及び通学路用地について、継続 して鎌ヶ谷市が借り受けていく。	1,878

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
31	一般	2	1	7	412効率的で健全な 行財政運営の推進	市庁舎改修等事業	契約管財課	○	○	①市庁舎空調設備、非常用発電設備の老朽化に伴い、改修工事を行う。 ②市庁舎の通常業務を行いながら、業務に支障無いように工事を進める必要がある。	0	10,113	6精査・検証	①関係部署と調整を図った結果、工事が適正に着手できるか確認するため。 ②工事中における騒音や振動など来庁市民に支障とならないよう、関係部署との綿密な調整を図りながら工事を進めていく。	287,784
32	一般	2	1	7	412効率的で健全な 行財政運営の推進	庁用車更新事業	契約管財課	○	○	①庁用車の老朽化に伴い、使用年数の長いものや修理の多い5台について更新するもの。 ②使用年数や走行距離等を勘案し、的確に更新車両を決定して行く必要がある。	0	5,384	6精査・検証	①庁用車の更新基準に照らし合わせながら、更新車両が適正か確認するため。 ②使用年数や走行距離だけでなく、修理状況等も勘案しながら更新車両を決定していく必要がある。	6,339
33	一般	2	2	1	412効率的で健全な 行財政運営の推進	市税の賦課等に要する経費	課税課			①税務の研究や他市との情報交換を行い、変化する税制に対応できるように改善を図るもの。 ②電子化の進展により、実務形態が大きく変化していることから、さらなる工夫や改善を図る必要がある。	11,659	11,567	6精査・検証	①税務行政について調査研究を行い、複雑化する税制度に対して対処する必要があるため。 ②他市との積極的な意見交換や各種研究会に参加し、職員の税務知識の向上を図る。	13,270
34	一般	2	2	2	412効率的で健全な 行財政運営の推進	市民税課税事務に要する経費	課税課			①地方税法や市税条例に基づき、納税義務者にとって公平公正な税負担とするため適正な課税を実施する。 ②正確かつ効率的・効果的な実施のために今後も推進していく必要がある。	49,361	51,562	6精査・検証	①税制改正など、社会情勢の変化に留意し、常に見直しを検討し、公平性を保っていく必要があるため。 ②申告受付から納税通知書発送時までの間に、事務が集中するため、臨時職員等を活用し事務の効率化を図る。	53,529
35	一般	2	2	2	412効率的で健全な 行財政運営の推進	諸税課税事務に要する経費	課税課			①車両登録・廃車等行い、軽自動車税を賦課する。法人の登録等を行い、申告に基づき法人市民税を賦課する。 ②転出、再転入等の異動が多いため、納税義務者の適正な把握をする。法人の実態把握、申告の指導をすすめていく。	8,721	9,266	6精査・検証	①関係機関、各市町村との連携を密にし、円滑な税務運営により適正な課税をする必要があるため。 ②課税客体を適正に把握し、公平・公正な課税に努めていく。	9,496

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
36	一般	2	2	2	412効率的で健全な 行財政運営の推進	固定資産税課税事務に要する経費	課税課			①登記情報、各課からの情報提供、システム等を活用し、客 体の把握、調査、評価を行い、義務者に対して賦課する。 ②評価の均一化のために職員間の情報交換、技術均衡を 図り、公平かつ効率的な調査、評価事務を進める。	31,217	55,042	6精査・検証	①効率的に適正、公平な賦課を行っていくために、システム の改善を行い、一層業務を効率的に進める必要がある。 ②評価の精度向上のための情報の交換、共有化。地図情 報システム、電算システムの習熟や改善を図る。	31,410
37	一般	2	2	2	412効率的で健全な 行財政運営の推進	税務地図情報システムに要する経費	課税課			①航空写真、地図、課税台帳等と関連する各種データを加 工・管理し表示するシステムにより、固定資産を評価する。 ②地図情報の正確性の維持、及びシステム改善の必要性 について検討していく。	20,298	23,892	6精査・検証	①土地分合筆による加筆・修正、新築・滅失家屋情報等の 更新をし、不突合・誤り・変更等確認技術の向上を図る必要 があるため。 ②引き続き固定資産の異動によるシステムの更新を行い、 正確性を維持することで、適正な課税に努めていく。	23,639
38	一般	2	2	1	412効率的で健全な 行財政運営の推進	市税の徴収等に要する経費	収税課			①市税の徴収に必要な滞納整理(督促、催告、納付相談 及び滞納処分)を行う。 ②動産等の搜索・差押・公売の円滑な実施。	8,869	10,458	6精査・検証	①効果的な財源確保の研究、マニュアル等の作成を行い、 事務の簡略化を行う必要があるため。 ②世情を加味した滞納処分を実施する。	10,834
39	一般	2	2	2	412効率的で健全な 行財政運営の推進	徴収事務に要する経費	収税課			①市税の徴収に必要な収納管理、期限内納付推進を行う。 ②口座振替利用の促進、納税推進のPR強化及び新しい収 納方法の整備。	93,058	109,658	6精査・検証	①モバイルレジ収納に加えLINE Pay収納を実施し、納期限 内納付を推進していく必要があるため。 ②納期限内納付の推進のため新たな収納方法の拡充及び PR方法を検討する。	95,248
40	一般	2	3	1	412効率的で健全な 行財政運営の推進	戸籍住民基本台帳事務に要する経費	市民課			①戸籍の各種届出の受理及び管理、転入等の異動届に基 づいた帳簿の作成及び整備、印鑑登録申請受理及び証明 書発行。 ②正確な事務処理を行い、質の高い公証内容を確保する。	108,034	101,683	6精査・検証	①法定受託事務及び市の責務として行う事務であることか ら、より正確な事務を精査・検証する必要があるため。 ②これまでの事務水準は維持しつつ、事務処理の正確性と 迅速性を向上させる。	168,639

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
41	一般	2	3	1	221良好な住宅の整備	住居表示事務に要する経費	市民課			①建物等新築届及び住居番号の変更等の届出に基づき、住居表示を付番し、住居表示台帳図を作成、閲覧に供する。 ②正確な事務処理を行い、利用者の利便を図る。	115	102	6精査・検証	①法律に基づき行う事務であることから、より正確な事務を精査・検証する必要があるため。 ②これまでの事務水準は維持しつつ、事務処理の正確性と迅速性を向上させる。	116
42	一般	2	3	1	412効率的で健全な行政運営の推進	旅券事務に要する経費	市民課	○		①鎌ヶ谷市民だけでなく、県内在住者も含め、旅券の申請受理、交付を行う。 ②申請に必要な書類など、分かりやすい案内を行い、市民にとって旅券申請がしやすい環境をつくる。	29,957	79,952	6精査・検証	①自動証明写真機の設置など、市民の旅券申請環境は向上しているが、より市民にとって申請しやすい環境を整える必要があるため。 ②より市民が旅券を申請しやすい環境を整えとともに、多くの申請があった場合も事務処理の正確性を保ち、不正取得などがないように事例研究を行い、職員の受付・交付スキルを更に向上させる。	64,884
43	一般	2	3	1	412効率的で健全な行政運営の推進	住民票等コンビニ交付導入事業	市民課	○	○	①コンビニ等の各店舗に設置してあるキオスク端末で、住民票、印鑑登録証明書、戸籍謄(抄)本、戸籍の附票、課税(非課税)証明書のコンビニ交付の実施。 ②コンビニ交付にはマイナンバーカードが必要なため、マイナンバーカードの普及率の向上が課題となる。	0	17,379	6精査・検証	①コンビニ交付システムの導入が完了し、日本全国のコンビニ等で交付可能となったため。 ②システムを正常に稼働させ、コンビニにおける交付を安定的に行い、市民の利便性の向上を図る。	9,733
44	一般	3	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	国民健康保険特別会計繰出金	保険年金課			①国民健康保険法第72条の3等の規定により、一般会計から国保特別会計に繰出金を支出する。 ②決算補填等目的の法定外繰入金は無かったが、被保険者数減少等の影響による歳入確保が課題となる。	604,610	653,440	6精査・検証	①決算補填等目的の法定外繰入金が生じないよう随時、検証していく必要があるため。 ②今後も国民健康保険法に従い事務を進め、国民健康保険料の徴収努力を続けていく。	676,292
45	一般	3	1	6	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療費負担金に要する経費	保険年金課	○		①市は自己負担分を除く医療費のうち、法定負担分12分の1を、後期高齢者医療の運営を行う広域連合へ支払う。 ②被保険者の増加により市負担金も増加しており、負担金額算定の基礎となる医療給付費の増加が課題となる。	830,355	902,815	6精査・検証	①法定の負担金であるが、医療給付費の適正化に向け、随時、検証していく必要があるため。 ②被保険者が安心して医療を受けられるよう、市の法定負担分12分の1を後期高齢者医療の運営を行う広域連合へ支払う。	910,663

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
46	一般	3	1	6	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療事務費負担金に要する経費	保険年金課	○		①千葉県後期高齢者医療広域連合規約に基づき、制度の運営費として市町村負担金を納付する。 ②被保険者の増加に伴い、市負担金が増加している。	32,664	39,719	6精査・検証	①規約に基づく負担金であるが、運営費については随時、検証していく必要があるため。 ②制度の安定的運営のため、広域連合規約に基づき、均等割・市の人口割・市の後期高齢者人口割分の負担金を支払う。	48,142
47	一般	3	1	6	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療特別会計繰出金	保険年金課			①低所得者への保険料軽減分を補填する保険基盤安定負担金や事務費を後期高齢者医療特別会計へ繰り出す。 ②低所得の後期高齢者の増加に伴い、市負担金が増加している。	207,528	219,693	6精査・検証	①法定の繰出金であるが、事務費については随時、検証していく必要があるため。 ②保険基盤安定負担金については、軽減措置の基礎となる被保険者所得について、よりの確な把握に努める。	244,488
48	一般	3	1	7	111地域で支えあう福祉社会の形成	国民年金事務に要する経費	保険年金課	○		①国民年金被保険者の資格異動処理事務、老齢基礎年金・障害基礎年金等の裁定請求事務、保険料免除申請事務及び相談事務等の法定受託事務を行う。 ②市に提出される加入届や免除申請等について、いかに正確かつ効率的に処理できるかが課題である。	7,573	8,295	6精査・検証	①法定受託事務のため、業務手法等について精査・検証の上、継続することが必要のため。 ②国民年金の各種手続きに関して、迅速かつ正確に対応する。日本年金機構と連携し、窓口における年金相談の充実を図る。	9,790
49	一般	4	1	3	225環境衛生の充実	道路の安全衛生管理に要する経費	クリーン推進課			①道路上の小動物の死体処理、市民による側溝清掃で発生した汚泥処理等を委託により実施するもの。 ②市内のほぼ全域で、経常的に小動物の死体が発生している。また、市民による側溝清掃も各地で定期的実施されているため、速やかな回収が必要となる。	5,301	5,861	6精査・検証	①道路上の小動物や残土が速やかに回収されないことは、環境衛生上好ましくないため事業について精査・検証のうえ継続する。 ②小動物の死体や側溝清掃の残土の回収依頼に、速やかに対応できるよう、委託業者との連携を図る。	6,306
50	一般	4	2	1	212循環型社会の構築	清掃事務に要する経費	クリーン推進課			①廃棄物の出し方、分別などについて、電話や窓口における相談やその他廃棄物処理に関する事務、苦情処理等を行う。 ②窓口や電話による苦情、相談の件数が非常に多いため、正職員だけでは対応が困難である。	54,807	54,958	6精査・検証	①電話や窓口対応が日常的に多いため、業務に精通した非常勤職員による対応を継続する必要があるため。 ②市民への指導内容等について統一を図るため、正規職員・会計年度任用職員間で常に情報共有を図る。	6,035

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
51	一般	4	2	1	212循環型社会の構築	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(周辺整備等)	クリーン推進課	○		①廃棄物処理施設周辺の住民に対する環境整備を目的として、還元施設の維持管理や周辺環境の改善に必要な経費の負担を行う。 ②廃棄物処理施設周辺整備については、構成市等との調整を図りながら着実に進めていく必要がある。	132,430	144,563	6精査・検証	①運営の効率化について、たえず検証していくため。 ②廃棄物処理施設周辺の環境整備に係る協定の履行について、進捗状況を点検し組合及び構成市等と協議を進める。	141,671
52	一般	4	2	1	211環境保全の促進	廃棄物処理施設周辺整備事業	クリーン推進課	○	○	①柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合が実施する廃棄物処理施設周辺整備事業に係る負担金を支払う。 ②事業の推進にあたっては、実施計画に基づく着実な進捗が求められているため年度間の調整が必要となる。	3,792	11,272	6精査・検証	①補助制度の活用など、効率的な実施を検討していく必要があるため。 ②廃棄物処理施設周辺整備実施計画に基づき、引き続き構成市として組合に協力する。	31,806
53	一般	4	2	2	211環境保全の促進	廃棄物処理事務に要する経費	クリーン推進課			①ごみゼロ運動などの事業を主催する環境美化対策推進協議会への補助金の支出や、ごみの出し方パンフの印刷などを行う。 ②ごみ集積所は年々増加しており、集積所に設置するプレートや防鳥ネットなどの消耗品の調達が必要である。	5,662	6,474	6精査・検証	①増えていくごみ集積所について、適正な管理指導を行うため、精査・検証のうえ継続する必要がある。 ②ごみステーション管理事務の効率的な運用を確立する。	4,892
54	一般	4	2	2	212循環型社会の構築	ごみ減量業務に要する経費	クリーン推進課	○		①有価物回収運動奨励金や生ごみ処理容器等購入費補助金等の支払いを行う。 ②有価物の回収量、買い物袋の交換件数及び生ごみ処理容器等の補助件数について、全体的に減少傾向にある。また、買い物袋持参推進運動は、令和元年度をもって廃止となった。	11,301	10,217	6精査・検証	①市民に直接働きかけることでごみの減量化につながる施策であるため、今後もPR活動等を行う必要がある。 ②ごみアプリ等を流用し、さらに効率的効果的にPRを行う。	12,214
55	一般	4	2	2	212循環型社会の構築	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(ごみ処理等)	クリーン推進課	○		①構成団体の地区内(柏市沼南地区・鎌ヶ谷市全域)で排出されたごみを適正処理するため、建設施設償還金及び施設運転管理等の経費を負担する。 ②施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。	1,293,570	1,237,669	6精査・検証	①老朽化した施設の安定稼働を図るための的確な維持管理、運営を行うとともに、延命化に伴う調整等を進める必要があるため。 ②長寿命化工事が開始されたが、今後も組合、構成市と共に改修工事が円滑に進むよう協議・調整を進める。	1,241,933

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
56	一般	4	2	2	212循環型社会の構築	旧クリーンセンター管理に要する経費	クリーン推進課			①休止中である鎌ヶ谷市クリーンセンターの維持管理を適正に行い、周辺環境や安全を確保する。 ②施設の保全と安全の確保が必要とされている。	245	431	6精査・検証	①効率的な管理について、たえず検証していくため。 ②施設の保全と安全の確保をしつつ効率的な管理を検討する。	226
57	一般	4	2	2	212循環型社会の構築	最終処分場に要する経費	クリーン推進課			①埋立が終了した鎌ヶ谷市一般廃棄物最終処分場を適正に維持管理し周辺環境及び地下水等の水質を保全する。 ②埋立終了から15年以上経過していることから、廃止に向けて調査研究することが求められている。	4,075	5,200	6精査・検証	①当面、管理が必要となるが、埋立終了から15年以上経過しており、廃止に向けて各種データを収集していく必要があるため。 ②適正な維持管理を行い安全を確保しながら各種データの収集し廃止に向けた各種データを収集を継続する。	4,665
58	一般	4	2	3	225環境衛生の充実	し尿処理事務に要する経費	クリーン推進課	○		①し尿収集運搬及びし尿処理手数料の徴収を行う。また水質汚濁を防止するため合併浄化槽の設置を補助する。 ②汲取り便槽及び単独浄化槽から合併浄化槽への転換の件数が伸び悩むことが予想される。	84,775	93,333	6精査・検証	①合併浄化槽設置補助事業をより効果的な補助制度とするため、制度の周知等について更なる精査検証を行う。 ②汲取り便槽及び浄化槽の転換数の増加を図るため、対象者に対して更なるPR活動等を行い当該制度の利用促進を図る。	96,007
59	一般	3	2	3	225環境衛生の充実	柏・白井・鎌ヶ谷環境衛生組合に要する経費(し尿処理等)	クリーン推進課	○		①構成団体(柏市沼南地区・白井市・鎌ヶ谷市)の地区内で排出されたし尿、浄化槽汚泥を適正処理するために施設維持管理等の経費を負担する。 ②施設の老朽化による維持管理費の増加が見込まれる。	172,212	211,795	6精査・検証	①脱水汚泥焼却炉等、各設備の老朽化が進んでいるため必要な修繕計画を検討していく。 ②アクアセンターあじさいの修繕計画について、環境衛生組合及び構成市との調整・協議を引き続き行っていく。	224,153
60	一般	4	1	1	225環境衛生の充実	狂犬病予防等に要する経費	環境課	○		①狂犬病による被害を防止するため、犬の登録及び予防注射(集合注射)を実施する。登録や予防注射済みの所有者に鑑札及び注射済証を交付する。集合注射が行えなかった場合には、動物病院で予防注射を行った後に、窓口で鑑札及び注射済証の交付を行う。また、動物愛護の観点から「人」と「動物」との共生社会を目指し、「飼い主のいない猫」による生活環境への影響を最小限に抑えるため、不妊去勢手術を行い、「飼い主のいない猫」の増加抑制を図る。 ②ここ数年の狂犬病予防注射の接種率の伸び悩み(73%台)を解消する必要がある。また、「飼い主のいない猫」の人への生活被害が寄せられている。	4,184	4,094	6精査・検証	①狂犬病予防法により、市に義務付けられた業務であるため、未接種犬の飼い主への督促を今後も継続していく必要がある。 糞・尿被害や鳴き声など市民からの苦情が多くなっていることから、猫の個体数を抑制するため、今後も継続していく必要がある。 ②狂犬病予防集合注射の接種率が下がっているため、未接種の犬の飼い主に対し接種を促すための強化を図る。また、「飼い主のいない猫不妊・去勢補助事業」については、事業開始後7年が経過することから、事業の在り方について獣医師会と協議する必要がある。引き続き、「飼い主のいない猫」の個体数の抑制を図り、保健所巡回指導の強化を図る。	5,156

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
61	一般	4	1	3	211環境保全の促進	生活排水対策に要する経費	環境課	○		①水質を保全するため、水質調査や浄化対策を行う。 ②更なる水質改善を図っていく必要がある。	2,499	2,378	6精査・検証	①手賀沼・印旛沼・真間川流域の水質調査の継続実施・監視に取り組む必要があるため。 ②水質改善を図るため、水質調査や水質浄化の啓発活動を行う。	2,511
62	一般	4	1	3	225環境衛生の充実	四市複合事務組合に要する経費	環境課			①斎場事業の運営にかかる分賦金として、管理運営費と施設整備費を支出している。 ②馬込斎場の老朽化が著しく、大規模改修工事が予定されている。	42,667	70,290	6精査・検証	①斎場利用状況の将来予測等により、斎場事業の総合的な検討を行っていくため。 ②本経費は四市複合事務組合へ支払う負担金額である。令和元年10月に第2斎場が開業し管理運営費負担額が増加したため、適正な管理運営が行われているか確認を行う必要がある。	93,969
63	一般	4	1	3	225環境衛生の充実	害虫駆除に要する経費	環境課			①民有地にできたスズメバチの巣について、人的被害が及ばないよう、委託業者に駆除の依頼を行う。 ②気候変動や生活環境の変化などにより、今後、スズメバチの巣の駆除について、市民からの相談や駆除要請が増加する可能性がある。	736	675	6精査・検証	①地球温暖化により、外来生物(害虫)が生息しやすい生態系になりつつあり、またその外来生物が原因で市民の安全を脅かす生活環境になりつつあるので、市民の安全・安心の観点からも、引き続き人の生命の危険を及ぼすスズメバチについては駆除を行う必要があるため。 ②近年テング熱を媒介するヒスジシマカや、ヒアリ、セアカゴケグモ等新たな外来害虫の生存が次々に確認され、今後も増加傾向が予想されるため、行政が駆除すべき害虫の選別や実施方法等の精査検証を行う必要がある。	794
64	一般	4	1	3	225環境衛生の充実	公衆浴場衛生対策に要する経費	環境課			①入浴施設の衛生措置基準の遵守と公衆衛生の向上や利用促進のため衛生対策を助成する。 ○薬剤等の購入費に対し奨励金として補助を行う。 ○設備改善事業に対し要した費用の1/2の補助を行う。 ○「ふれあいお風呂の日」(毎月第2・4土曜日)に、市内在住の小学生が無料で入浴できる市内の公衆浴場に対し補助を行う。 ②家庭風呂の普及により、公衆浴場の利用者が減少している。	243	611	6精査・検証	①公衆浴場の確保のための特別措置法により、自治体は公衆浴場の利用の機会を確保に努めなければならないと義務付けられており、現在の浴場施設の老朽化している現状を鑑み、その改善と公衆衛生を確保するため、今後も公衆浴場を支援する必要があるため。 ②公衆浴場を知らない世代に対して、触れ合いの場を提供(ふれあいお風呂の日事業)し、公衆浴場の存在意義と利用者の増加を図る。	312
65	一般	4	1	3	211環境保全の促進	手賀沼・印旛沼等水質保全に要する経費	環境課			①手賀沼水環境保全協議会と印旛沼水質保全協議会で行う水質改善事業に係る運営費を負担し、湖沼の水質改善に取り組む。 ②協議会の運営並びに事業の一部に参画しているため、業務運営並びに運営費の効果的な活用に努める必要がある。	1,033	1,017	6精査・検証	①水質改善の啓発活動や協議会の構成市として当会の効果的な運営を注視していく必要があるため。 ②協議会構成市として、事業の効果の検証並びに提案等を行う。	1,166

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
66	一般	4	1	3	211環境保全の促進	環境保全の啓発に要する経費	環境課			①地球温暖化対策や生物多様性等の環境保全を啓発・推進するための環境講座や啓発イベント、補助事業等を実施する。 ②環境保全に関心の薄い層に対し、自らの生活において環境に配慮した行動の実践を促す必要がある。	10,307	10,225	6精査・検証	①効果的に市民に対する環境保全の意識の醸成を図る必要があるため、さらに多くの主体と協働で事業を進めていく。 ②環境保全団体や市民、学校、事業者、庁内他課など、より多くの主体と連携し事業を実施していく。また各種講座やイベント開催等のPRを図っていく。	10,666
67	一般	4	1	3	211環境保全の促進	大気汚染・騒音・振動防止対策の推進に要する経費	環境課	○		①国が示す環境基準に達しているか、毎年下総航空基地や自動車騒音常時監視業務測定等を実施し、大気・騒音・振動等に係る評価・指導・改善要求を行う。 ②測定結果の活用方法について検討する必要がある。	2,090	2,551	6精査・検証	①法令等により、市に義務付けられた業務であるため、下総航空基地や主要幹線道路による公害状況を今後も長期間にわたって測定結果を注視していく必要がある。 ②引き続き、下総航空基地の騒音実態調査や主要幹線道路の自動車騒音監視業務を実施する。	2,910
68	一般	4	1	3	211環境保全の促進	地下水汚染防止対策の推進に要する経費	環境課			①揮発性有機化合物(トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1・1・1-トリクロロエタン、四塩化炭素)による地下水汚染の実態を把握するため、定期調査し地下水汚染状況のモニタリングを実施する。 ②汚染解消には長期間要し、またその地下水汚染状況調査結果には、環境基準を達成していない箇所が未だにある。	71	66	6精査・検証	①汚染状況に係る調査結果を長期間にわたって注視していく必要があるため。 ②長期間に亘っての地下水汚染状況を把握する必要があるため、今後もモニタリングを継続する。	106
69	一般	4	1	3	211環境保全の促進	放射線対策に要する経費	環境課			①市民の不安を解消するため、食品等の放射性物質の簡易測定検査及び、空間放射線量の測定を行う。 ②放射性物質の半減期は、30年と科学的にも立証されているため、長期間にわたるモニタリングや、偶発的に放射線量が局所的に高くなるホットスポットの解消も必要になる。	1,398	1,470	6精査・検証	①放射線に係る市民への安全・安心の担保をし続けるために、安全・安心を確保するため、モニタリング中心の放射線対策業務を引き続き行い、その結果を注視する必要がある。 ②除去土壌の処理方法について検討する。	1,787
70	一般	4	1	3	224上・下水道の整備	水道の衛生対策に要する経費	環境課			①平成25年度より保健所から権限移譲された事務(専用水道、簡易専用水道、小規模専用水道、小規模簡易専用水道)を実施する。 ②専門知識を有する職員の確保・育成が必要である。	2,211	2,189	6精査・検証	①法令等により、市に義務付けられた業務であるため、今後もより効率的な体制で事業を継続していく。 ②引き続き、事務(専用水道及び簡易専用水道)の習熟を図る。	3,151

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
71	一般	6	1	2	331都市農業の育成	農業総務事務に要する経費	農業振興課			①主に、消耗品費、賃金(臨時職員・非常勤職員)及び放射性物質検査等に係る費用である。 ②震災から年月が経過しており、放射性物質検査継続の有無について検証が必要である。	4,728	3,920	6精査・検証	①市が行う農産物の放射性物質スクリーニング検査は、県と連携体制が図られており、市が出荷自粛要請を行うことから、その結果を常に注視する必要があるため。 ②安心・安全な農産物の提供にあたり、引き続き検査対象の品目数を30品目として、事業を実施する。	1,980
72	一般	6	1	3	331都市農業の育成	農業振興資金融資等に要する経費	農業振興課			①農協と覚書を取り交わし預託する。その預託金を原資として農業者に資金貸付を行い、利子の一部を市が負担する。 ②農業経営の安定化及び振興を図る必要がある。	25,400	25,534	6精査・検証	①農業経営の安定等が図られるため。融資制度の効果的な運用を精査・検証する必要があるため。 ②更なる利用促進に向け、利子補給率、融資範囲について、定期的に精査、検証を行う。	25,647
73	一般	6	1	3	331都市農業の育成	市民農園に要する経費	農業振興課	○		①市街化区域内にある農地を借り受け、市民に農園の貸付を行う。 ②令和2年3月末にて廃止となった南初富市民農園の代替地を検討する。	2,804	2,794	6精査・検証	①環境整備を行って利用者の利便性を高めていく必要があるため。 ②引き続き環境整備に取り組み、利用者の利便性を向上させる。 3月末に廃止となった南初富市民農園の代替地を確保する。	2,407
74	一般	6	1	3	331都市農業の育成	鎌ヶ谷農産物ブランド育成に要する経費	農業振興課			①市内産農産物の販路拡大及び安定供給、PRを図る。 ②鎌ヶ谷産の農産物の高付加価値化の推進。	5,003	4,679	6精査・検証	①市のマスコットキャラクターかまたんを活用した更なる農産物のPRを検討する必要があるため。 ②かまたんを活用した農産物のPRに努めるとともに、農産物ブランド認定農家の加入を促進する。	5,913
75	一般	6	1	3	331都市農業の育成	援農ボランティア推進に要する経費	農業振興課			①援農ボランティア養成講座を実施して、ボランティアを育成・派遣する。 ②援農ボランティアが不足している。	250	200	6精査・検証	①人員不足傾向の改革・改善対策を検討する必要があるため。 ②援農ボランティア連絡協議会の活用(知人、友人の紹介等)、梨の部の受講者、修了者に対する野菜の部への周知またはその反対事案への周知、市民農園利用者への周知等を検討する。	250

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
76	一般	6	1	3	331都市農業の育成	農業振興対策事業に要する経費	農業振興課			①農業経営の安定化を図るべく、補助金等の支援を行う。 ②農業経営の安定的な発展が必要である。	3,817	13,768	6精査・検証	①営農環境が変化していく中で、補助金の交付基準等は定期的に検証をする必要があるため。 ②引き続き、農業関係団体の安定的な発展のため、補助金を交付する。	58,148
77	一般	6	1	3	331都市農業の育成	農業関係者等との連携に要する経費	農業振興課			①農業行政全般に係る各種事業の実施案内等の周知徹底と、基本方針の決定を図るための委員報酬。 ②農業者や農業団体との緊密な相互連携体制の維持・拡充が必要である。	164	182	6精査・検証	①農業者に有益な情報を提供するため。 ②農業経営体の発展の観点から、相互連携体制の拡充、農業者にとって有益な情報の周知を積極的に行う。	182
78	一般	6	1	3	331都市農業の育成	農業関係団体との協力事業に要する経費	農業振興課			①農業経営体の育成、健全な運営のために、各農業団体へ負担金を支払う。 ②各農業関係団体の安定的な発展を図る必要がある。	1,593	1,356	6精査・検証	①負担金額の拡充を含め精査を行う必要があるため。 ②農業者関係団体の円滑な事業推進を図る。	1,357
79	一般	6	1	3	331都市農業の育成	果樹剪定枝リサイクル事業	農業振興課	○	○	①果樹剪定枝等の回収を行い、剪定枝を原料とした堆肥を生産する。 ②堆肥保管量が年々増加しているため、保管スペースの確保が必要。	8,924	10,535	6精査・検証	①今後も引き続き精査・検証等を行い、剪定枝等リサイクル事業を推進する必要があるため。 ②バイオマス発電への活用について引き続き精査し、事業の移行についても検討を行う。	10,569
80	一般	6	1	3	331都市農業の育成	インターネット梨販売事業	農業振興課	○	○	①全国に販路拡大をし、梨のインターネット販売を行う梨農家に対して、補助金を交付する。またPR等を継続して行う。 ②事業者が自立して取り組むための体制を構築する必要がある。	4,190	4,215	6精査・検証	①来年度以降、事業者の自立を視野に、インターネット販売による販売品種等にかかる精査・検証を図る必要があるため。 ②前年度の箱数の増加を踏まえて今年度も販売品種を増やし、販売箱数の増加を目指す。	4,648

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
81	一般	6	1	4	331都市農業の育成	畜産振興に要する経費	農業振興課			①鎌ヶ谷市家畜防疫協会等に対して、補助金等の支援を行う。 ②各種伝染病の発生の防止と家畜防疫体制の強化。	308	293	6精査・検証	①鎌ヶ谷市家畜防疫会等の安定的な発展に必要な事業であり、強化策を検討する必要があるため。 ②継続して家畜の健康管理や防疫体制を整えるため負担金を支払う。	330
82	一般	6	1	5	331都市農業の育成	農地事務に要する経費	農業振興課			①県営手賀沼土地改良施設の維持管理及び印旛沼流域の土地改良施設の維持管理費等に係る負担金を支払う。 ②排水機場の施設維持管理は、農地の湛水被害軽減のために継続していく必要がある。	1,196	1,372	6精査・検証	①土地改良施設の維持管理事業の効果的な方策を検討する必要があるため。 ②引き続き業務内容を精査し、本市の負担割合に応じた事業費を支払う。	1,188
83	一般	2	3	1	211環境保全の促進	森林環境譲与税基金積立に要する経費	農業振興課			①国内における森林の維持や管理、森林資源の活用促進を目的としている。 ②現状森林クラウドへの利用のみになっており、今後公共施設の木材利用など、適切な用途の拡大が必要になる。	0	4,168	6精査・検証	①引き続き精査・検証を行い、事業の推進をしていく必要があるため。 ②引き続き森林クラウドを利用するとともに、適切な業務内容の精査をする。	9,000
84	一般	5	1	1	333活力ある工業の育成	雇用安定事務に要する経費	商工振興課	○		①中小企業退職金共済掛金補助金や無料職業紹介事業及び就職支援セミナー(子育てお母さん再就職支援セミナーを含む)等の開催により雇用の安定化を図る。 ②無料職業紹介所に係る相談体制を充実させていく必要がある。	3,403	3,580	6精査・検証	①市内の中小企業で働く従業員の福祉の向上及び就労希望者の要望に応えられるよう、求人求職の相談・紹介をし、雇用の安定化を引き続き図っていく必要があるため。 ②無料職業紹介所でも積極的に求人紹介を行っていく。また、他市と協力の上セミナーを行い、就職者の増加を図る。	4,045
85	一般	7	1	2	332魅力ある商業の育成	商工業振興に要する経費	商工振興課	○		①市内に存在する企業の大半を占める中小企業や経済活動を行う団体に対して、補助金交付やイベントの共同事業などで支援を行う。 ②電気料金の上昇などにより、各商店会で保有する共同施設(街路灯)の維持管理が困難となっている。固定費の支払い増が、商店会運営の圧迫に繋がっている。また事業承継に併せて商店会組織の世代交代が必要である。	22,274	22,511	6精査・検証	①「場所的支援」「人的支援」以外の支援について、補助金交付事務の中で検討し、より商工業振興団体の現状に則した支援を可能にするため。 ②東武鎌ヶ谷駅西口商店会が街路灯を3年計画でLED化する予定であり、街路灯を保有して撤去する予定の無い2団体に対してLED化を働きかけていく。新型コロナウイルス感染症の拡大により、各団体のイベントについては自粛が推奨される中、団体の運営に負担が生じないよう、時節をわきまえつつ柔軟な対応を行う。	22,506

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
86	一般	7	1	2	333活力ある工業の育成	中小企業資金融資等に要する経費	商工振興課	○		①中小企業に対する資金融資や融資の利子に対する利子補給を行う。 ②新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、外出自粛や消費の停滞が起こり、中小企業の経営状況が悪化している。	97,964	96,752	6精査・検証	①中小企業融資制度を周知し、資金融資等の活用により中小企業の事業活動の促進及び経営の安定化を図るため。 ②中小企業がより資金調達をしやすくするため、時限的に利子補給金の拡充や信用保証料の補給を検討する。	99,649
87	一般	7	1	2	332魅力ある商業の育成	創業支援事業	商工振興課	○	○	①民間事業者に業務委託し、創業支援セミナーを開催する。 ②今後は創業希望者の掘り起しに加えて、創業機運の醸成が必要である。	3,200	3,200	6精査・検証	①地域活性化を図るため、新たに創業支援等事業計画を策定し、創業者の掘り起しをする必要があるため。 ②令和元年度創業支援セミナーでの改善点をプロポーザルの仕様書に盛り込み、令和2年度についても受託事業者の選定をプロポーザル方式により決定する。プロポーザルで決定した受託事業者と協議のうえ、創業支援セミナーを開催する。	3,200
88	一般	7	1	2	332魅力ある商業の育成	コミュニティビジネス事業・ベンチャービジネス事業	商工振興課	○	○	①コミュニティビジネス事業やベンチャービジネス事業を行う対象に補助金を交付し、新たに起業する人や市内の事業所のチャレンジを応援する。 ②平成24年から当該事業は実施しており、平成27年度からは申請要件の緩和を図っているものの、未だに当該事業を知らない市内事業者は多い。	3,982	4,506	6精査・検証	①事業所同志の横の繋がりを提供することで、効果的に事業の周知を図らなければならないため。 ②新型コロナウイルス感染症の拡大により実績報告会等の開催ができなくなったことから、過去の申請者宛てに直接通知を行い申請件数の増加に繋げる。	5,014
89	一般	7	1	3	334安心できる消費生活の推進	消費者対策に要する経費	商工振興課	○		①悪質商法やインターネット・商品の使用上での問題の発生に対し、被害を防止・救済するとともに消費者教育を通じて、消費者の権利と利益を保護し、生活の安定と向上を図る。 ②商品や購入方法の多様化・複雑化に加え、誘い文句などが巧妙化しており、消費者自身が情報を確保するなど、日々、対応を心がける必要がある。	5,541	5,846	6精査・検証	①商品や購入方法の多様化に伴い、消費者問題として捉える事柄も内容も複雑化してきている。被害の多い分野を中心として、現在の状況を精査し、事業内容を検討していく必要があるため。 ②「消費生活」という言葉の認知度を上げるため、講座・啓発チラシの作成などを、引き続き実施する。また、周知の場を広げることで、消費者トラブルが身近であることや相談場所があることを広くPRする。	7,176
90	一般	7	1	4	332魅力ある商業の育成	観光振興に要する経費	商工振興課			①観光イベントや観光PR等、本市の魅力発信に資する取り組みを行う。また、鎌ヶ谷市ふるさと産品協会が実施する宣伝及び販売促進事業等に係る経費に対し、交付基準により補助する。 ②市の認知度やブランド力向上に資するため、ふるさと産品の更なる普及、促進に取り組む必要がある。	624	723	6精査・検証	①引き続き、鎌ヶ谷市の魅力発信のため、観光イベントやPR、ふるさと産品の育成、宣伝等を実施していく必要があるため。 ②市が関係するイベント等でふるさと産品のPRを行う。	832

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
91	一般	7	1	4	332魅力ある商業の育成	観光ビジョン推進事業	商工振興課	○	○	①鎌ヶ谷市観光ビジョンに沿った観光振興策により、まちの活性化を図る。 (北海道観光イベント・沖縄観光イベント、観光タウンミーティング、高校生フォトコンテストなど) ②新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ観光意識を再醸成すること。	5,673	4,669	6精査・検証	①引き続き観光ビジョンの実現に向けて、より具体的に施策を推進していく必要があるため。 ②新型コロナウイルス感染症により、落ち込んだ観光産業や、市民の観光意識が回復できるよう「立ち直る力」を支援する仕組みづくりや、きっかけを提供する。	4,969
92	一般	2	1	9	141個性豊かなコミュニティづくり	地域振興に要する経費	市民活動推進課			①地域振興を図るため、自治会連合協議会等や市民まつり実行委員会への支援を行うもの。 ②鎌ヶ谷市民まつりや自治会連合協議会等へ支援を行い、市民まつりや自治会活動を通じた地域振興を図る必要がある。	20,868	25,588	6精査・検証	① 地域活性化やまちづくりに直結する重要な協働事業のため。 ② 鎌ヶ谷市民まつりや鎌ヶ谷市自治会連合協議会へ支援を行い、市民まつりや自治会活動を通じて地域振興を図る。	22,357
93	一般	2	1	9	143男女共同参画社会づくり	男女共同参画推進に要する経費	市民活動推進課	○		① 男女共同参画の推進を図るため、男女共同参画推進計画に基づく各施策を実施する。また、令和3年度からを計画期間とする次期計画の策定を行う。 ② 少子高齢化・人口減少等社会情勢が大きく変化している中、男女があらゆる分野で性別にとらわれず、対等な立場で参画できる社会形成が重要となっている。	2,606	4,902	6精査・検証	① 男女共同参画推進計画の各施策について、男女共同参画推進懇話会からの意見を踏まえ課題等を精査し、次年度の事業に活かしていく必要があるため。 ② 令和3年度からを計画期間とする次期「鎌ヶ谷市男女共同参画推進計画」の策定を行う。	689
94	一般	2	1	12	411地方分権と市民参加の推進	各種相談に要する経費	市民活動推進課	○		①市民が社会生活を営む中で発生する、人間関係や金銭トラブルなどの様々な諸問題の解決のため、各種相談を実施するもの ②市民生活にかかる各種トラブルを解決していくために、今後も引き続き市民相談を提供する必要がある。	1,688	1,716	6精査・検証	① 各種相談に対する市民ニーズが高いため、より効率的な体制を整える必要がある。 ② 市民が必要としている相談を引き続き精査し、拡充の必要性について検討を行う。	1,722
95	一般	2	1	11	411地方分権と市民参加の推進	人権施策に要する経費	市民活動推進課	○		①基本的人権を擁護するため、人権擁護委員と連携し、相談業務及び啓発活動を実施する。 ②ネット上における人権侵害などトラブルの背景も変化しており、人権擁護に関する啓発内容なども時代に即したものを提供、発信する必要がある。	766	734	6精査・検証	① 相談の利用状況、事業のアンケート結果を踏まえ、課題を精査し、次年度以降の事業に活かしていく必要がある。 ② 法務省における令和2年度の啓発活動重点目標を踏まえ、ハンセン病患者・元患者・その家族に対する偏見や差別解消のため、ハンセン病についての正しい知識、関心と理解を深める啓発に取り組む。	826

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
96	一般	2	1	13	141個性豊かなコミュニティづくり	コミュニティセンターの管理運営に要する経費	市民活動推進課	○		①コミュニティセンター及び軽井沢集会所について、市民の自主的活動の場を提供するため、施設の維持管理を行うもの。 ②指定管理者制度が導入されている3館については、モニタリング等で指定管理者に対して適正な管理を行い、継続的に市民サービスの向上を図っていく必要がある。	45,004	40,311	6精査・検証	①コミュニティセンターは地域住民の活動及び交流の拠点となっており、高齢化が進むなか、地域住民にとっての価値が高まっているため。 ②引き続き指定管理者へのモニタリングや利用者懇談会等で利用者に意見を聞き、より良い施設の管理運営を行っていく。	43,661
97	一般	2	1	9	141個性豊かなコミュニティづくり	自治会集会所整備助成事業	市民活動推進課	○	○	①地域のコミュニティ活動及び福祉、環境、防災の拠点となる自治会集会所への新築等に際し補助金を助成するもの。 ②自治会集会所の建て替えを希望している自治会が複数あることから、それぞれの自治会との連絡調整を行っていく必要がある。	0	2,170	6精査・検証	①自治会を所有していない自治会や、集会所の老朽化が著しい自治会が複数あるため。 ②三井鎌ヶ谷自治会集会所の解体・新築事業の他、道野辺あおば自治会集会所借家事業及び富岡自治会集会所借家事業への補助を行う。	25,160
98	一般	2	1	11	233防災対策の強化	防災対策に要する経費	安全対策課	○		①災害から市民の生命・身体及び財産を守り、災害に強いまちづくりを基本として防災体制の強化を図る。 ②各種災害に対して迅速な対応が求められており、ハード面においても計画的な整備が必要である。	19,076	18,803	6精査・検証	①鎌ヶ谷市地域防災計画に基づき、計画的に防災体制を強化することが求められるため、精査・検証のうえハード面の整備を進める。 ②中部小学校に係る避難場所案内標識改修工事、車椅子対応トイレの購入、防災関係機関との連携強化のため総合防災訓練の充実を図る。	22,782
99	一般	2	1	11	233防災対策の強化	防災行政無線管理運営に要する経費	安全対策課	○		①災害時に市民及び防災関係機関との重要な情報伝達手段である防災行政無線を運用するため、適切に管理運営を行う。 ②放送が聞き取りづらい、うるさい等の様々な意見が市民から寄せられているため、防災行政無線デジタル化事業と連携し、聞き取りづらい地域等の改善を図る。	11,368	10,713	6精査・検証	①災害時に市民及び防災関係機関との重要な情報伝達手段であるため、精査・検証し、引き続き保守点検等の維持管理を行う。 ②災害に備えて保守点検等の維持管理を行う。防災行政無線デジタル化事業と連携し、聞き取りづらい地域の改善を図る。	10,178
100	一般	2	1	11	233防災対策の強化	危機管理に要する経費	安全対策課			①鎌ヶ谷市危機管理指針に基づき、国民保護計画及び当該計画に基づく個別マニュアルの整備を進める。 ②地震や風水害など自然災害への防災体制の整備に加え、新たな危機に対する対応力の強化が求められている。	0	1	6精査・検証	①危機管理指針に基づき、危機管理体制の構築を推進する必要があるため、精査・検証する必要があることから引き続き体制の検討などを行う。 ②危機事案に基づくマニュアルの見直しを推進し、新たな事案に伴うマニュアル作成の必要性についての検討を進める。	120

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
101	一般	2	1	11	232防犯対策の促進	夜間防犯パトロール事業	安全対策課	○	○	①青色回転灯付防犯パトロール車2台、2人1組の計4人により市内全域のパトロールを実施する。パトロール中に不審者等を発見した場合は、直ちに警察へ通報する。 ②令和元年の市内刑法犯認知件数は前年から減少しているが、自転車盗などの窃盗犯件数が依然として多いため、犯罪発生地域へのパトロール重点活動地域の指定などの対策が必要である。	11,969	12,724	6精査・検証	①より効果的な防犯活動を行うため、精査・検証し、引き続き犯罪発生状況等の情報収集を行い、夜間防犯パトロールを実施する。 ②犯罪を未然に防ぐため、市内全域のパトロールを実施し、市民や庁内からの情報提供・依頼等により積極的にパトロール重点活動地域を指定する。	17,878
102	一般	2	1	11	233防災対策の強化	自主防災組織資器材整備事業	安全対策課	○	○	①自主防災組織が防災活動を行うために必要な防災資器材を交付することにより、自主防災組織の育成及び整備並びに防災意識の高揚を図る。 ②自主防災組織における訓練は概ね年1回であり、訓練の実施に至らない組織も多いが、このような事態が長期化すれば実際の災害の際には自主防災組織が機能しないことが予想される。	376	1,062	6精査・検証	①自主防災組織が防災活動を行うために必要な防災資器材を交付することにより、自主防災組織を育成し、防災意識の高揚を図らなければならないため、精査・検証する必要があることから要望の調査などを行う。 ②防災活動を行うために必要な防災資器材を未交付の自主防災組織に対し交付することにより、市全体の防災力を拡充していく。	590
103	一般	2	1	11	233防災対策の強化	防災行政無線デジタル化事業	安全対策課	○	○	①令和元年度に防災行政無線同報系実施設計委託、令和2年度から令和3年度まで防災行政無線同報系整備工事及び監理業務委託を行う。 ②防災行政無線同報系整備工事の着実な実施のため、地権者等の協力や関係官庁との調整が必要である。	0	2,200	6精査・検証	①防災行政無線は、災害時の重要な情報伝達手段であるため、精査・検証し、防災行政無線同報系整備工事を実施する。 ②防災行政無線同報系整備工事及び監理業務委託により親局(操作卓他)及び遠隔制御装置のデジタル化を行い、屋外子局3局の設備を更新する。	77,459
104	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	社会福祉事務に要する経費	社会福祉課	○		①社会福祉協議会への活動助成、被災者・被爆者支援、福祉健康フェアの開催、社会福祉法人への監査を行う。 ②社会福祉協議会との連携強化、災害の甚大化による被災者支援、少子高齢化による担い手不足。	111,774	114,312	6精査・検証	①様々な地域課題に対して、市と地域が協働で解決する必要があるが、地域等でばらつきが出てしまう可能性があるため。 ②社会福祉協議会の活動に対して補助金を交付し、地域福祉を促進する。併せて被災者や被爆者に対しての見舞金を支給する。	59,213
105	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	民生委員・児童委員に要する経費	社会福祉課	○		①民生委員・児童委員及び主任児童委員の調査・相談活動を支援するため、活動費を補助する。 ②幅広い地域ニーズに対応している民生委員への負担は重くなる一方、この点へのフォローが必要。	7,626	7,601	6精査・検証	①民生委員児童委員及び主任児童委員がその職務を円滑に行えるよう、委嘱や活動の補助について検証が必要である。 ②昨年度一斉改選により、新たに委嘱された民生委員・児童委員に対しての行政研修を行い、福祉行政の知識の習得や、欠員補充に努め、推薦会を実施の上県に推薦する。	7,752

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
106	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	地域福祉に要する経費	社会福祉課			①誰もが住みやすい地域づくりや安全で安心して暮らせるまちづくりを目指して、地域福祉に関する各種事業を行う。 ②地域での日ごろの見守り活動や避難時要支援者への支援方法などが課題。	4,711	6,841	6精査・検証	①高齢化、核家族化などにより、地域のつながりの希薄化が年々進んでおり、支えあいを充実させる必要がある。 ②第4期地域福祉計画を策定する。	7,954
107	一般	3	1	1	111地域で支えあう福祉社会の形成	戦没者遺族等の援護に要する経費	社会福祉課			①市戦没者追悼式の開催、特別弔慰金等の申請受付、その他戦没者遺族に対する援護事務。 ②戦没者遺族の高齢化による式典への参加者の減少、援護対象者の漸減。	562	561	6精査・検証	①遺族の高齢化が進み、対象者は漸減しているが、今後も戦没者の追悼、平和の大切さを啓発する必要がある。 ②第11回戦没者等の遺族に対する弔慰金の請求受付・国債券交付を進める。	669
108	一般	3	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	中国残留邦人等の支援に要する経費	社会福祉課			①中国残留邦人等の置かれた特別な事情に鑑み、生活の安定が図られるよう、その世帯の状況に応じた給付を行う。 ②対象者の高齢化により、丁寧な支援が求められている。	7,024	6,178	6精査・検証	①法定受託事務として実施。支援相談員の配置により相互理解を深め、円滑な事務遂行を図る必要がある。 ②支援給付対象者とその家族、支援相談員、ケースワーカー、関係部署と十分に連携しながら適切な支援を行う。	12,768
109	一般	3	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	生活困窮者自立支援事業に要する経費	社会福祉課			①生活保護受給に至らぬよう、生活困窮者に対し自立支援相談の実施、住居確保金の支給、就労準備支援事業、家計改善支援事業からの支援を行う。 ②生活困窮者に対する相談窓口の利用勧奨、関係機関・関係部署との連携体制の強化が課題。	14,778	12,253	6精査・検証	①平成27年4月から義務付けられている事業であるため、制度の対象者を拡充し事業の定着を図る。 ②自立相談支援事業や住居確保給付金の支給を行い、生活困窮者に寄り添った支援を行う。	7,035
110	一般	3	3	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	生活保護事務に要する経費	社会福祉課			①生活保護システムの運用、医療レセプトの点検、生活保護費支給に係る経理、面接相談員の雇用など制度運用に必要な事務を行う。 ②事務が複雑・多岐にわたり、時間を要する業務が多いため、事務の分担、負担の軽減が必要。	129,867	214,658	6精査・検証	①法定受託事務であり、生活保護に係る事務の効率化・迅速化、給付の適正化を図る必要があるため。 ②複数職員と非常勤職員による事務分担や負担の軽減を図り、生活保護事務が円滑に行えるようにする。	17,037

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
111	一般	3	3	2	115安心して暮らせる社会保障の充実	生活保護に要する経費	社会福祉課	○		①生活に困窮する被保護者に対し最低限度の生活を保障しつつ、経済的・精神的・社会的自立を支援する。 ②被保護世帯数は増加傾向である。今後新型コロナウイルスの影響もあり、相談件数、生活保護受給者数が増えると予想される。世帯の状況に合わせた自立支援を検討し、就労支援等を行っていくことが必要である。	2,243,896	2,314,624	6精査・検証	①被保護世帯に対し、最低限度の生活の保障、自立の支援、不正受給防止対策を実施し、今後も効果的な支援について検証を行う必要があるため。 ②生活困窮者自立支援制度と生活保護制度を併せ、引き続き効果的な運用を図っていく。	2,383,772
112	一般	3	1	1	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	障がい者支援事務に要する経費	障がい福祉課			①障がい福祉システム等の使用料及び住基等データ作成及び福祉団体活動補助金交付等の経費 ②法令及び障害福祉サービス事業の改正等に伴いシステム改修を行う必要がある。	13,067	15,510	6精査・検証	①法令及び障害福祉サービス事業の改正等に伴い、システム改修の必要性について検証を行う必要があるため。 ②障がい福祉システムの活用により正確で迅速な業務の確保に努めていく。	17,188
113	一般	3	1	3	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	福祉作業所の管理運営に要する経費	障がい福祉課			①鎌ヶ谷市社会福祉協議会に指定管理により運営を委託する。 ②法定事業化に伴い、利用者に対する適正管理が必要となる。	427	978	6精査・検証	①利用者が安全、安心して利用できる施設になっているか絶えず検証を行う必要があるため。 ②利用者の状態に応じた支援が提供できるよう指定管理者に指導していく。	659
114	一般	3	1	4	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	障がい者の支援に要する経費	障がい福祉課			①障がい者が利用するグループホーム等の家賃補助や障がい者の医療費助成、難病患者の援助金等の支給を行う。 ②各種補助金や扶助費の支給事務に係る効率的な事務処理が求められる。	218,242	224,190	6精査・検証	①障がい者の支援のための補助制度になっているか検証を行うため。 ②各種補助金、各種助成金を適正に支給するとともに、効率的かつ適正な事務処理を実施していく。	246,522
115	一般	3	1	4	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	障がい者介護給付費等審査会に要する経費	障がい福祉課			①当該審査会を原則毎月1回開催し、障がい支援区分を決定する。 ②障がい者数の増加に伴い、審査対象者数も増加の傾向にある。	2,197	1,874	6精査・検証	①審査会が効率的に運営できているか検証を行うため。 ②支援区分の審査にあたり、正確かつ、効率的な審査会運営を行う。	2,260

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
116	一般	3	1	4	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	障がい支援区分認定調査に要する経費	障がい福祉課			①障害福祉サービス利用者の心身の状況を判定するための調査を行う。 ②障がい者数の増加に伴い、審査対象者数も増加の傾向にある。	874	949	6精査・検証	①認定調査が効率的に実施できているか検証を行うため。 ②対象者が増加傾向にあるため、調査員の増員について検討を行う。	988
117	一般	3	1	4	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	自立支援給付事業に要する経費	障がい福祉課	○		①対象者の一人ひとりに適正な自立支援給付、自立支援医療費等の給付決定と支払等を行う。 ②依然利用者が増加している。これにより施設入所待機者が増加し、またヘルパー等支援者が不足し、利用者に支障が及ぶことが懸念される。	1,634,283	1,822,075	6精査・検証	①計画相談支援を活用し、個々の生活環境を踏まえた適正なサービス利用が出来ているか継続して検証していく必要があるため。 ②障害者差別解消法を基に、障がいのある方々の日常生活活動を支えていくため、適切な障害福祉サービス提供を継続する。障がい者の自立支援の観点から、就労に関する障害福祉サービスの提供を強化し、多くの障がい者が社会参加できるようにする。	2,017,879
118	一般	3	1	4	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	五市共同知的障害者更生施設に要する経費	障がい福祉課			①五市で共同設立した障害者支援施設等の運営にかかる分担金を支給する。 ②五市共同施設の安定的運営を行う必要がある。	34,285	33,584	6精査・検証	①入所等のサービスを継続していくため、適正で安定した運営が確保されているか検証を行う。 ②五市が協調して運営状況について確認し、施設運営の適正化を図る。	32,884
119	一般	3	1	4	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	小規模作業所等の支援に要する経費	障がい福祉課	○		①創作活動や生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等に取り組む事業所に対して助成を行う。 ②利用者は減少傾向にあるが、障がい者の社会参加等を促進するためには必要な事業所であることから、事業を継続するための支援が必要である。	17,374	12,151	6精査・検証	①障害福祉サービスの利用が難しい方等のニーズに応えるため、事業を検証し継続する必要がある。 ②事業所の生産性の確保や地域活動支援センター事業の活動内容の周知方法について助言を行い、引き続き運営補助を行う。	16,420
120	一般	3	1	4	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	障がい者の手当の支給に要する経費	障がい福祉課			①障がい者に対して、国の手当や市単独事業の手当の支給を行う。 ②正確な事務処理が求められる。	125,534	126,429	6精査・検証	①法令に基づく正確な給付事務等の執行について検証を要するため。 ②効率的な給付事務等の執行を目指す。	136,098

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
121	一般	3	1	4	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	障がい者福祉施設等の助成に要する経費	障がい福祉課			①施設整備補助事業の支援のため、償還金等の一部助成を行う。 ②みちる園の増築事業により、対象が2件となった。	1,404	1,388	6精査・検証	①法人の運営状況について精査・検証を要するため。 ②借入金等の返済に係る適正な把握と正確な事務の遂行を行う。	1,373
122	一般	3	1	5	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	身体障がい者福祉センターの運営に要する経費	障がい福祉課			①身体障がい者に対し、創作活動やレクリエーション事業等を行う。また、手話講習会、要約筆記講習会等を開催して聴覚障がい者の情報提供体制の構築を行う。 ②障がい者の高齢化が顕著になってきている。	7,304	7,301	6精査・検証	①障がい者が生きがいを持って生活する為に必要な事業であり、事業内容を検証していく必要があるため。 ②新たな利用者の掘り起こしを検討していく。	8,489
123	一般	3	1	4	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	友和園空調設備改修事業	障がい福祉課	○	○	①老朽化した空調設備の更新を行う。 ②休園することなく、効率的に工事を行う必要がある。	—	756	6精査・検証	①サービスを提供しながら改修工事が行えるよう、友和園、施工会社と調整する必要がある。 ②老朽化した空調設備の改修工事を行う。	7,570
124	一般	3	2	1	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	児童総務事務に要する経費	こども支援課			①子ども・子育て施策について、子ども・子育て会議を開催し、調査審議する。 ②計画に掲げた施策展開について、点検、評価、改善策など検討を行い、次年度以降の事業実施に取り組んでいく必要がある。	9,051	7,236	6精査・検証	①計画に掲げた施策展開について、点検、評価、改善策などを検討していくため ②計画に掲げた施策展開について、点検、評価、改善策など検討を行い、次年度以降の事業実施に取り組んでいく。	9,495
125	一般	3	2	1	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	ファミリー・サポート・センターの運営に要する経費	こども支援課	○		①様々な事情で一時的に子どもの世話ができない場合等、地域の住民同士で相互援助の形式で支え合いを行い、子育て支援を実施する。 ②保育園等の送迎や仕事等を理由として預かり等を必要としている家庭に対して、制度の周知を行うとともに、支援が必要な家庭が利用できるよう、引き続き、十分な提供会員を確保する必要がある。	3,468	3,379	6精査・検証	①地域で子育てを支え合う施策として重要な事業であり、提供会員を増やし、活動の活性化を図る必要があるため。 ②事業について広く周知を図り、提供会員の増加に努めるとともに、昨年度に引き続き、幼児教育の無償化に伴う利用料の助成の周知を行う。 また、新型コロナウイルス感染症による、預かりのサポート利用料の助成について検討する。	4,406

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
126	一般	3	2	1	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	つどいの広場の運営に要する経費	こども支援課	○		①常設のつどいの広場を開設し、おおむね3歳児未満の乳幼児とその保護者が、気軽に集い相互交流をする場を提供する。 ②利用者にとって、更に快適な居場所となるよう児童のニーズを把握する必要がある。	10,035	9,605	6精査・検証	①事業の質の向上を図るため、利用者のニーズに合わせた事業展開を検討していく必要があるため。 ②アドバイザーの資質の向上及び相談業務の充実を図るため、研修を実施する。また、利用者のニーズに沿った事業展開を実施するため、アンケート調査を実施していく。	13,963
127	一般	3	2	1	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	こども医療費助成に要する経費	こども支援課	○		①保護者が負担する子どもの医療に要する費用について、当該費用の全部又は一部を助成するもの。 ②現在、中学校3年生までの入院・通院・調剤に係る医療費について助成対象としているが、所得制限撤廃分及び小学校4年生から中学校3年生までの通院・調剤に係る医療費については市単独事業として助成している。	338,134	338,581	6精査・検証	①市民要望も高いことから制度の維持を図りつつ、財源的負担が大きいことから県補助拡充を要望する必要があるため。 ②市の財源的な負担の軽減を図るため、市単独補助分について、助成基準の見直し(所得制限撤廃、通院部分の助成対象拡大)を県に対し要望する。マイナンバー制度における情報連携について、適正な事務処理に努めるとともに、市民に対して制度の周知を図る。	369,982
128	一般	3	2	1	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	子育て支援センターの運営に要する経費	こども支援課			①子育てに関する相談及び情報を提供するとともに、子育て及び子育て支援に関する講習を行う。 ②サービスの向上及び相談業務の充実を図るとともに利用者のニーズを把握する必要がある。	9,831	9,554	6精査・検証	①事業の質の向上を図るため、利用者のニーズに合わせた事業展開を検討していく必要があるため。 ②アドバイザーの資質の向上及び相談業務の充実を図るため、アドバイザーを対象に研修を実施する。また、利用者のニーズに沿った事業展開を実施するため、アンケート調査を実施していく。	13,065
129	一般	3	2	1	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	未熟児等養育医療に要する経費	こども支援課			①身体の発育が未熟なままで生まれ、入院を必要とする乳児に対して、その治療に係る医療費を一部助成する。 ②対象家庭を支援するため、健康増進課などの関係機関と連携を図る必要がある。	6,264	6,996	6精査・検証	①法令に基づく事業であるため、市が制度改正を行うことができないが、市民への周知を図る必要があるため。 ②県負担金交付要綱の改正に伴い、所得税額によって徴収金額を決定していたものが市町村民税に変更されることから、適正な事務処理に努め、市民への制度周知を図るとともに、関係機関と連携を図っていく。	5,715
130	一般	3	2	1	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	利用者支援事業に要する経費	こども支援課			①子育て支援コーディネーターを配置し、教育・保育施設や地域子育て支援事業等の利用者に対して情報提供や助言を行うとともに、地域の子育て資源の育成を図る。 ②子育てサークルの育成など地域資源の更なる育成・開発を行う必要がある。	2,507	2,742	6精査・検証	①子育て世代の方が求めている情報提供やニーズを検証するとともに、子育てサークルの育成などを行う必要があるため。 ②定期的に公共施設等で出張窓口を開設する。また、子育て世代が求めている情報提供及びニーズを把握し、助言を行うとともに、子育てサークルの育成講座などを実施する。	3,740

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
131	一般	3	2	2	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	児童手当に要する経費	こども支援課	○		①中学校終了までの児童を養育している保護者に対し、児童手当を支給する。 ②令和2年6月より年金関係の情報連携が本格運用となることから、情報連携に係る事務を適正に遂行していく必要がある。	1,635,926	1,588,499	6精査・検証	①法令に基づく事業であるため、市が制度改正を行うことができないが、事務の効率化と適正化を図る必要があるため。 ②令和2年6月より年金関係の情報連携が本格運用となることから、情報連携に係る事務を適正に遂行していく。	1,681,213
132	一般	3	2	3	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	母子福祉に要する経費(ひとり親家庭等医療費等助成金)	こども支援課	○		①ひとり親家庭等の親や児童に対し、医療費助成を行う。 ②県において現物給付化が検討されていることから、県の動向を注視しながら円滑な事務手続きを行う必要がある。	12,977	12,678	6精査・検証	①県において現物給付化が検討されていることから、必要な事務手続きを行うとともに、対象者に対して周知などが必要となるため。 ②本制度については償還払いを基本としているが、千葉県において現物給付化が検討されていることから、県の動向を注視しながら必要な事務を遂行していく。	13,900
133	一般	3	2	3	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	母子福祉に要する経費(遺児手当)	こども支援課	○		①父母又は父母の一方が死亡、又は障害の状態になった中学校修了前の児童の養育者に手当を支給するもの。 ②該当者が手当を支給できるように、制度の周知を図る必要がある。	1,900	1,767	6精査・検証	①本事業の目的は、児童の健全な育成及び福祉の増進を図ることであり、今後も制度の周知及び維持に努める必要があるため。 ②適正な事務処理に努めるとともに、市民に対して制度の周知を図る。	2,118
134	一般	3	2	3	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	児童扶養手当に要する経費	こども支援課	○		①18歳未満の児童を養育しているひとり親家庭などに対して、児童扶養手当を支給するもの ②申請書類等が複雑で、家庭の事情などを踏まえたきめ細やかな対応を行い、適正に事務を遂行していく必要がある。	314,754	392,168	6精査・検証	①本制度は、ひとり親家庭等の生活の安定と自立の促進及び福祉の増進を図ることであり、今後も適正な事務の遂行と制度の周知に努める必要があるため。 ②申請書類等が複雑で、家庭の事情などを踏まえたきめ細かな対応が求められることから、引き続き、適正な事務処理に努めるとともに、市民に対して制度の周知を図る。	341,178
135	一般	3	2	5	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	児童遊園等の管理に要する経費	こども支援課			①市内16箇所の児童遊園について、適切な管理を行い児童に健全な遊びを与える。 ②遊具、フェンスなどの老朽化が進んでいるため、安全を確保するため、適正に管理する必要がある。	11,502	6,133	6精査・検証	①児童遊園を適正に管理するとともに、楽しく利用しやすい児童遊園とする必要があるため。 ②児童遊園の安全を確保するため、定期的に点検を行うとともに、遊具等の改修を行う。	6,159

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
136	一般	3	2	5	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	児童センターの管理運営に要する経費	こども支援課	○		①児童への健全な遊びを通して、その体力を増進し、情操を豊かにするとともに、地域での子育て支援を図る。 ②利用者にとってさらに快適な居場所となるよう児童のニーズを把握する必要がある。	40,147	36,183	6精査・検証	①児童や保護者のニーズを把握し、子育て支援事業の充実を図る必要があるため。 ②体験教室やイベントなどについて、子どもや家庭のニーズに合わせた内容を検討していく。 子どもとのコミュニケーション術「機中八策」の講座を市民や職員(保育士)を対象に実施していく。	46,666
137	一般	3	2	5	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	こども発達センターの管理運営に要する経費	こども支援課			①心身の発達に心配のある児童に対し、個々の状況に合わせて、発達に沿ったさまざまな支援を行う。 ②関係機関や市民に対し、障がいについての理解が深められるように情報提供、支援強化を行い、障がい理解の普及、啓発を図る。	39,308	40,360	6精査・検証	①障がい児や発達に不安がある児童へのきめ細やかな発達支援、家族支援、地域支援の療育支援体制を図る必要があるため。 ②他機関との連携を密に行い、ライフステージに応じた適切な支援が確保できるように支援体制の構築をしていく。	48,995
138	一般	3	2	5	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	児童遊園改修事業	こども支援課	○	○	①児童遊園の安全で安心な環境を確保するために、老朽化した遊具・設備の更新など改修を行う。 ②各園で老朽化が進んでおり、計画的に改修を進める必要がある。	2,916	7,918	6精査・検証	①児童遊園の安全で安心な環境を確保するために、改修を継続的に進める必要があるため。 ②遊具等の点検結果に基づき、道野辺中央三丁目児童遊園の遊具及び設備の改修を行う。	10,901
139	一般	3	2	1	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	病児保育に要する経費	幼児保育課			①病気の回復期にあるが、集団保育で受け入れられない児童を病院内にて保育する。 ②利用ニーズのある病児保育を実施し、子育て支援の充実を図る必要がある。	8,100	7,225	6精査・検証	①市内では病後児保育のみの実施しており、病児保育を実施していない為、病児保育の実施について検討するため。 ②市内施設での病児保育事業の新規実施について事業者と協議する。	9,503
140	一般	3	2	4	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	保育園総務事務に要する経費	幼児保育課			①保育園の運営に係る事務について、システムの運用により適正、迅速な事務を行う。 ②常時システムを改善することにより、より効率の良いシステムを構築する。	2,765	2,778	6精査・検証	①より効率的なシステムの構築のため、検証を行う。 ②幼児教育保育の無償化に伴うシステムの改修について、運用実績に基づき、必要な改善がないか検証する	3,179

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
141	一般	3	2	4	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	中高齢者交流保育事業に要する経費	幼児保育課			①各市立保育園に保育士を補助する職員として1名の中高齢者を配置する。 ②中高齢者の活用方法について検討を行う。	1,471	1,468	6精査・検証	①中高齢者の知識や経験を保育園の運営に活用する方法について検証する必要があるため。 ②引き続き、園や園児への効果を検証する	1,834
142	一般	3	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	社会福祉センターの管理運営に要する経費	高齢者支援課			①指定管理者制度(シルバー人材センター)による管理運営。 ②個別付属設備の老朽化(主要設備は改修済)。	20,092	21,650	6精査・検証	①管理運営に係る収支状況の精査検証を行う必要があるため。 ②引き続き指定管理者制度を活用して管理運営する。	22,093
143	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	高齢者在宅福祉に要する経費	高齢者支援課			①緊急通報システム・紙おむつ給付等を通して在宅の高齢者や介護者の負担を軽減する。 ②利用条件の緩和や制度周知により、利用者の増加を図る。	25,611	24,687	6精査・検証	①在宅福祉に関するニーズと展開する各種サービスの現状を精査検証する必要があるため。 ②各種サービスの利便性の向上及び利用者の拡大を図る。	30,077
144	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	高齢者生きがい対策に要する経費	高齢者支援課			①敬老事業・老人クラブ等補助金、はり・きゅう・マッサージ等費用助成を通して高齢者の生きがい、健康維持を図る。 ②ゲートボール場等高齢者向けスポーツ施設の維持管理。	27,064	31,890	6精査・検証	①生きがい創設に向けて、効果的な事業の展開方法や補助金等を精査検証する必要があるため。 ②敬老事業、憩の家整備等の地域間格差・利用希望者の利便性の向上を図る。	34,802
145	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護事業者の助成に要する経費	高齢者支援課			①介護保険サービスの利用者負担額の減額を行なった社会福祉法人等に対し、減額対象費用の一部を助成金として交付する。 ②高齢化による要介護認定者・サービス受給者の増加に伴い、低所得者に対する利用料の減免も増加が予想される。	1,460	279	6精査・検証	①対象事業者の把握について検証を要するため。 ②制度に基づき、継続して実施する。	1

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
146	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	高齢者の施設措置に要する経費	高齢者支援課			①養護老人ホームへの入所措置費。 ②高齢化に伴い対象者が増加傾向にある。	36,361	34,563	6精査・検証	①対象者の状態や緊急性の判断に基づき、他の介護サービスを利用する等の対応ができないか等を精査する必要があるため。 ②介護保険制度など他事業の活用を絶えず検証する。	35,420
147	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	老人福祉施設の助成に要する経費	高齢者支援課			①特別養護老人ホーム等への整備資金補助を行う。 ②補助対象法人の安定的な運営に必要な不可欠なものとなっている。	4,150	2,292	6精査・検証	①法人の運営状況の把握、精査・検証が必要であるため。 ②安定的な法人の運営を目指し、補助を継続する。	2,248
148	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	四市複合事務組合負担金に要する経費	高齢者支援課			①特別養護老人ホーム三山園の運営のため負担金を交付する。 ②特別養護老人ホーム三山園の安定的な運営を継続する。	31,312	24,365	6精査・検証	①事業運営、収支について精査・検証を要するため。 ②介護保険制度下における施設運営方針等を四市で協議する。	25,434
149	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険特別会計繰出金	高齢者支援課			①介護保険法に基づく給付費等の市町村負担金、その他事務費相当分として介護保険特別会計に繰出金を支出する。 ②高齢化による要介護(支援)認定者の増加に伴い、介護給付費の増加が見込まれる。	1,042,917	1,096,553	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要するため。 ②介護保険事業の円滑な運営のため、継続して実施。	1,248,088
150	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	福祉有償運送の事務に要する経費	高齢者支援課			①福祉有償運送の安全・安定的な運営を図るため有識者等による運営協議会を開催する。 ②安全及び利用者の利便性を確保し、事業者・利用者の増加を図る。	0	48	6精査・検証	①NPO事業者(団体)の構成員の高齢化等により事業継続を断念するNPO法人が認められるなど検証を要するため。 ②社会福祉協議会による事業の可能性、登録事業者への運営補助方法の検討。	48

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
151	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険運営推進事業に要する経費	高齢者支援課			①介護保険の円滑かつ公正な運営を図るため「介護保険運営及びサービス推進協議会」による事業運営に係る審議等を行う。 ②高齢者人口の増加に伴い介護認定者も増加傾向にあり、サービス内容等の見直しや充実強化について、議論を重ねる必要がある。	48	1,875	6精査・検証	①介護保険事業の円滑な運営を検証する基本的な事業であり、絶えず検証を要するため。 ②介護保険運営及びサービス推進協議会において、介護にかかわる広範囲な意見を、介護保険制度に反映させ制度の円滑な推進を図る。	4,340
152	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	介護サービス利用者負担対策事業に要する経費	高齢者支援課			①障害ホームヘルプサービスの利用において定率負担額が0円となっている者が介護保険の適用を受けることとなった場合には、利用者負担を全額免除する。 ②対象者は限定されるが、高齢化に伴い増加が見込まれる。	0	0	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要するため。 ②引き続き低所得者の負担軽減を図り、適切な介護サービスを利用できるようにする。	2
153	一般	3	1	6	112いきいきとした高齢社会の形成	シルバー人材センターに要する経費	高齢者支援課			①高齢者の就労対策の中核と位置付けるシルバー人材センターに補助金を交付する。 ②世代間ニーズの相違等による会員数の減少傾向がみられる。	16,110	16,110	6精査・検証	①管理運営状況の精査検証を行う必要があるため。 ②多様化するニーズに対応する事業拡大、会員数増計画を支援協力する。	16,110
154	一般	3	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	社会福祉センター改修事業	高齢者支援課	○	○	①社会福祉センターの老朽化への対応及び福祉避難所の機能を備えた施設とするための必要な改修を行う。 ②平成26年度に大規模改修を行っているものの、施設内部の故障や配管等の損傷が著しい。	0	10,172	6精査・検証	①社会福祉センターの老朽化への対応及び福祉避難所の機能を備えた施設とするため、精査・検証を要するため。 ②非常用発電機設置工事設計委託、建具改修工事、駐車場整備工事を行う。	28,096
155	一般	4	1	1	116健康を支える保健・医療の充実	保健衛生事務に要する経費	健康増進課			①安心安全な医療を提供するため、二次救急事業の維持、健康管理センター管理医の配置、医師会等への補助金の支出を行う。 ②二次救急事業は鎌ヶ谷市のみで実現することは不可能であるため、船橋市との協定締結による確保が必要である。	21,452	20,743	6精査・検証	①二次救急及び災害時等を含む医師会等の協力が不可欠であり、継続して実施していく必要があるため。 ②救急医療・災害医療の充実。かまがや安心医療ナビシステムの情報の更新を毎年実施。	23,484

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
156	一般	4	1	1	116健康を支える保 健・医療の充実	健康づくり推進に要する経費	健康増進課			①食を含めた健康づくりのための講座・教室・相談・教室な どを、ライフステージに合わせ推進する。 ②健康寿命の延伸のため、若い世代から正しい食生活が出 来るよう普及啓発の場や開催時期を考える。	4,731	8,004	6精査・検証	①市民の健康維持・増進、食育の推進に向けた施策展開を 行うため、絶えず検討する必要がある。 ②市の現状に見合った施策を実施できるよう、市民健康意 識調査等の分析をし、第三次いきいきプラン健康かまがや 21を策定する。	7,273
157	一般	4	1	2	116健康を支える保 健・医療の充実	各種健(検)診に要する経費	健康増進課	○		①がん疾患等の早期発見、早期治療を促進し、市民の健康 保持と増進を図るために各種健(検)診を行う。 ②高齢化や国等からの指針、受入医療機関等の状況によ り、検診実施体制を検討することが必要である。	99,336	101,081	6精査・検証	①疾病の早期発見、治療により市民の健康保持につなげる ものであり、効果を精査・検証しながら進める必要があるた め。 ②胃内視鏡検査導入に向けての検討を継続し、受診者の 増減に伴う読影回数の見直しや検診日程の調整をする。	116,804
158	一般	4	1	2	116健康を支える保 健・医療の充実	予防接種に要する経費	健康増進課	○		①感染症の発生及びまん延を予防するために予防接種を行 う。 ②制度の改正が頻繁にあるため、予算も含め、迅速な対応 が必要である。	234,954	246,956	6精査・検証	①伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防する ため、効果を精査・検証しながら進める必要があるため。 ②接種率向上のため、必要な周知、接種動員をする。10月 からロタウイルス予防接種の導入を遅滞なく行う。	308,494
159	一般	4	1	4	116健康を支える保 健・医療の充実	健康管理事務に要する経費	健康増進課			①円滑な事業展開のために必要な専門職を配置したり、事 業に携わる専門職員の資質・技能の向上を図る。 ②市民の利用が少ない事業について、コストや効率性を含 め、事業内容の見直しと改善が課題である。	11,763	13,254	6精査・検証	①市民の健康維持・増進に向けた施策展開を行うため、絶 えず検討する必要がある。 ②人材を確保し、市民ニーズに応じた質の高いサービスを 提供し、見直しが必要な事業は改善案を決定する。	11,210
160	一般	4	1	4	116健康を支える保 健・医療の充実	母子保健に要する経費	健康増進課			①妊娠期から子育て期までの切れ目ない支援を提供するた め、母子保健に関する啓発、健診、相談、育児支援を行う。 ②親が孤立せず、子育てを楽しみ、成長を確認できるよう、 関係機関と協働し、継続した育児支援が必要である。	82,796	82,686	6精査・検証	①妊娠期からの切れ目のない支援やライフデザイン教育に ついて、関係機関と協議し、改善点等を検討する必要がある ため。 ②切れ目のない支援を継続するため、子育て世代包括支 援センターを各機関と連携し、推進する。	94,932

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
161	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	成人保健に要する経費	健康増進課			①40歳以上の市民を対象に、健康教育・相談・家庭訪問等を行い、生活習慣病予防などの健康づくりへの支援を行う。 ②講座参加者や健康教育・相談の対象者が70代の高齢者が多く、若い世代への働きかけが難しいことが課題である。	204	90	6精査・検証	①ハイリスク者への個別対応と健康な市民に対して予防啓発が必要であり、効果を精査・検証しながら進める必要があるため。 ②既存の事業を活用し、若い層への啓発を強化する。	246
162	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	歯科保健に要する経費	健康増進課			①市民の生涯にわたる口腔の健康保持・増進のため、歯科健康診査・予防処置・健康教育・健康相談を実施する。 ②乳歯のむし歯は減少したが、永久歯のむし歯や歯周病により、国保に占める歯科医療費の割合は依然高いことが課題である。	3,059	2,683	6精査・検証	①むし歯や歯周病予防を推進するため、歯科健診や教育・相談の効果を精査・検証しながら進める必要がある。 ②若い世代からの歯周病予防を推進するため、20歳、30歳、40歳の歯周病検診の受診勧奨を強化する。	3,714
163	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	精神保健に要する経費	健康増進課			①市民のこころの健康づくりや、精神障がい者が地域で生活しやすいように、講演会や学習会・相談・家庭訪問等を実施する。 ②精神疾患を理解し、市民・関係機関と協働し地域で支えていく必要がある。	735	593	6精査・検証	①誰もが住み慣れた地域で生活しやすいよう支援が必要であり、効果を精査・検証しながら進める必要があるため。 ②精神疾患の理解や自殺予防の啓発を図る。また、第三次いきいきプラン健康かがや21に自殺対策計画を含め策定する。	653
164	一般	4	1	4	116健康を支える保健・医療の充実	フッ化物洗口に要する経費	健康増進課	○		①保育園・幼稚園・小学校・中学校特別支援学級においてフッ化物洗口を行い、生涯むし歯になりにくい強い永久歯をつくる。 ②洗口が全小学校全学年で円滑に継続実施できるようにするため、関係者と協働で行う必要がある。	2,691	2,755	6精査・検証	①子どものむし歯予防は、歯科医療費の抑制につながり、有効性が高い。今後も効果を精査・検証しながら継続実施する必要があるため。 ②小学2～6年生を学校と時期を調整のうえ、継続実施、小学1年生に教育と洗口指導後、フッ化物洗口を週に1回実施する。	3,432
165	一般	8	4	1	313質の高い既成市街地の整備	都市計画事務に要する経費	都市計画課			①市の都市計画について適正な誘導と計画に沿ったまちづくりを実現するため、都市計画に関する様々な事項を審議会に諮る。また、法令に基づく許可、届出業務を実施し、用途地域等の都市計画情報を提供する。 ②生産緑地地区の当初決定から30年経過に伴う新制度導入(R4)に向けた引き続きの取組みと、条例を制定し300㎡に引き下げた生産緑地地区の新たな指定手続きに取り組む。 市の将来像や具体の都市計画について、市民の関心が高まっており、市民意見を把握するとともに丁寧な情報開示に取り組む必要がある。	1,455	4,994	6精査・検証	①住民が都市の将来像と具体の都市計画を常に確認、理解する必要があり、都市計画における情報開示を促進するには必要不可欠であるため。 ②生産緑地地区の土地所有者に対し引き続きの情報周知や意向確認を図りながら、必要な指定等手続きを進める。また、市民サービスや窓口サービスの向上に資するため整備した都市計画概要図の窓口での検索や印刷販売を開始する。	7,937

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
166	一般	8	4	1	313質の高い既成市街地の整備	開発指導事務に要する経費	都市計画課			①土地の造成を行う開発行為において、新設道路や排水施設などの公共施設整備の技術基準を満たし、良好な宅地開発が施工されるよう誘導を図る。 ②開発行為施工中の苦情や中高層建築に伴う要望など、近隣住民への対応を円滑に行い、良好な宅地開発が施工されるよう誘導する。	2,255	2,276	6精査・検証	①公共施設の整備に伴う技術基準を満たすだけでなく、ゆとりのある施設規模、景観にも優れた市街地整備を進めていくため、業務の改善と事務の円滑化を図る。 ②鎌ヶ谷市宅地開発指導要綱の精査及び条例化も視野に入れた調査研究を行っていく。	2,801
167	一般	8	4	1	314鎌ヶ谷市の魅力あふれるまち並みづくり	景観形成事務に要する経費	都市計画課			①鎌ヶ谷市景観条例に基づき、重点地区の届出制度及び景観審議会、景観アドバイザーなどの専門家意見の活用、市民と事業者等の理解と協力によって、望ましい景観の確保と誘導を図るもの。 ②良好な都市景観の形成を図るため、市民と事業者等の理解や協力が得られるよう、地区の特性に合わせた景観形成内容の周知について取組む必要がある。	41	34	6精査・検証	①景観行政を進めていく上で第三者的な立場の専門家意見を活用するため景観審議会及び景観アドバイザーは必要不可欠であるため。 ②景観審議会に付し改正した景観届出様式や景観形成内容について、市民や事業者等のより一層の理解促進を図るため、景観の日やイベント等を活用した周知の取り組みを検討する。	71
168	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	公共交通機関の整備促進に要する経費	都市計画課			①成田空港機能の充実に図り、東京都心と成田空港とのアクセスを改善し空港利用者の利便を確保するとともに、千葉県北西部等の交通利便性を向上させるため補助等を行うもの。 ②成田新高速鉄道事業に係る補助金交付要領等に基づく事務処理(補助金返還・納付)を適正に実施する必要がある。	-	146	6精査・検証	①補助金交付要領等に基づき適正に事務処理を行っており、令和2年度も引き続き同様の業務に取り組む必要があるため。 ②令和2年度においても同様の課題に対する事務処理が見込まれたため、令和2年当初予算に予定額を計上し対応した。	582
169	一般	8	4	1	322利便性の高い公共交通体系の充実	コミュニティバス運行助成事業	都市計画課	○	○	①市内の交通不便地区における課題解消や公共施設等の使用促進を図るため、運行事業者への一部補助などにより公共交通網の充実に図るもの。 ②運行ルート、バス停留所の改善要望や高齢者等の移動確保等、コミュニティバス利用者の利便性と持続可能な運行について検討する必要がある。	47,000	48,410	6精査・検証	①高齢化社会の対応として、地域活動や生涯学習などの参加からコミュニティバスの運行は必要不可欠であるため。 ②コミュニティバス運営検討委員会の提言を踏まえた新たな運行計画を作成し、コミュニティバスの継続運行を行う。	48,134
170	一般	8	4	2	311広域交流拠点の整備	新鎌ヶ谷地区広域交流拠点形成推進に要する経費	都市計画課			①新鎌ヶ谷地区において、更なる広域交流拠点機能の集積や地区の賑わいづくりのため、地域の活性化やコミュニティの形成を推進する。 ②地区の現状や、まちづくり活動に対する企業や地域住民の意識が把握できてきた中で、今後ご理解・ご協力を得られるよう、シティプロモーション事業等、市内部における他事業との調整を図る必要がある。	22,334	23,383	6精査・検証	①魅力ある地域づくりに、地域住民の力は不可欠であり、住民の意識醸成に合わせた施策展開が必要となるため。また、地区周辺のまちづくりも検討していく必要があるため。 ②地域住民のまちづくり活動に対する意識醸成を見据えつつ、住民からの提案等の機会を捉えながら、対応を検討する。	26,321

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
171	一般	8	4	2	311広域交流拠点の整備	市街地整備に要する経費	都市計画課			①まちづくり室の各業務に必要な経費の支出。 ②適正な予算計上及び支出のために、項目ごとにその必要性や効率性をよく検討する必要がある。	2,264	2,767	6精査・検証	①効果とコスト削減に配慮しつつ、継続していく必要があるため。 ②職員の知識向上や、地域との連携に配慮しつつ、より効果的な手法の検討をする。	3,493
172	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	近隣商業拠点整備に要する経費	都市計画課			①近隣商業拠点の整備に必要な経費の支出 ②近隣商業拠点の整備に関する適正な予算計上や支出のため、項目ごとにその必要性や効率性をよく検討する必要がある。	1,430	1,417	6精査・検証	①効果とコスト削減に配慮しつつ、継続していく必要があるため。 ②近隣商業拠点の整備に関する経費の適正な予算計上を検討する。	1,405
173	一般	8	1	1	321安全でゆとりある道路の整備	用地事務に要する経費	道路河川整備課			①事業用地取得後に係る参考図書の購入及び協議会負担金、研修費、旅費及び消耗品等の購入 ②事業用地取得事務に関する法改正等による基準の変更等に迅速に対応しなければならない。	66	66	6精査・検証	①事業用地取得事務に係る経常的な経費であるが、更に精査・検証が必要であるため。 ②事務の効率化を図りながら、事務経費の執行を行う。	58
174	一般	8	2	1	321安全でゆとりある道路の整備	道路橋梁事務に要する経費	道路河川整備課			①主要市道整備事業、一般市道整備事業、私道整備事業等を遂行するために必要な経費の支出。 ②道路網の整備、生活道路の整備が追いついていない。	906	899	6精査・検証	①道路整備を進めていくうえで、必要な経費であるため。 ②交付金の導入を積極的に図るため、関係機関との連携を強化し、道路事業を推進する。	918
175	一般	8	2	3	321安全でゆとりある道路の整備	私道整備事業	道路河川整備課	○	○	①未舗装私道の舗装及び舗装済みの私道の補修を推進し、地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。 ②私道舗装整備要綱の見直しを図り、補修工事についても実施することになったことから、この制度を広く市民に周知すること。	627	3,070	6精査・検証	①公共性の高い私道もあることから、事業を進めていく必要があるため。 ②申請のあった私道整備工事を早期に発注し利用者の利便性を向上させる。	11,240

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
176	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	河川事務に要する経費	道路河川整備課			①放流先の河川整備が進まない中で、浸水被害の軽減を図るため、雨水貯留池を整備することが最善の治水対策と考えられるため。 ②最も効果のある場所における貯留池整備に向け、土地の取得を行う。	507	498	6精査・検証	①治水事業を進めていく上で、必要な経費であるため。 ②事務の効率化を図りながら、事務経費の執行を行う。	549
177	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水浸透貯留に要する経費	道路河川整備課			①浸透施設の整備及び、市民協働事業による過程で手軽に取り組める雨水浸透施設等の設置を行うことで、雨水管及び河川への負担を軽減させる。 ②協働事業により、市民に対し、いかにして雨水浸透施設の普及・啓発を進めるかが課題である。	35	12	6精査・検証	①浸透施設の設置効果は、短期間ではなく長期間において事業を継続していくことで、効果が発揮されるため。 ②浸透施設の普及・啓発を進め、より効果のある取り組みを行う。	40
178	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	河川・水路整備事業	道路河川整備課	○	○	①流末としての施設の確保及び流下能力の向上等を目的とした暫定改修や、上流域の流末としての機能確保のため50mm/hrの降雨に対応した改修を行う。 ②下流河川の整備の目途がついていないため、50mm/hrの降雨に対応した整備に取り組めていない。	2,784	3,721	6精査・検証	① 治水対策として有効な事業であることから、費用対効果を考慮した暫定改修については実施する必要があるため。 ②整備時期は未定であるが、整備の目途がついた段階で、整備方針等の検討を行う。	1,020
179	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	街路事務に要する経費	道路河川整備課			①都市計画道路整備事業及び連続立体交差事業を遂行するために必要な経費の支出。 ②整備率が低く機能的な道路ネットワークの構築に至っていない。	2,053	1,633	6精査・検証	①街路整備を進めていくうえで、必要な経費であるため。 ②事務の効率化を図りながら、事業経費の執行を行う。	2,139
180	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	北千葉道路整備促進に要する経費	道路河川整備課			①北千葉道路の事業着手に向けた要望活動等に係る経費。 ②効果的な要望活動を行い、北千葉道路未着手箇所を早期事業化を目指す。	1,258	1,279	6精査・検証	①北千葉道路整備促進に必要不可欠な経費であるため。 ②事業の進展に合わせて活動内容を精査し、引き続き国や県に対し効果的な要望活動を行っていく。	1,582

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
181	一般	8	1	1	321安全でゆとりある道路の整備	道路管理に要する経費	道路河川管理課			①市道及び法定外公共物の財産、機能の適正な管理を行う。 ②開発行為による道路の帰属等により、道路は増加傾向にあり、境界確定や占用許可等の管理業務が増加している。	21,466	21,119	6精査・検証	①道路台帳の電子化により、窓口での照会等の時間短縮に繋がり業務改善が図れたが、今後も施設に付随する情報や図書関係の管理のシステム化を検討して行く必要があるため。 ②道路台帳情報の更新及び追加情報の整備を検討。	25,421
182	一般	8	1	4	231交通安全の推進	交通安全対策に要する経費	道路河川管理課			①交通安全意識向上のため、警察等の関係機関と連携し、交通安全運動を通じての啓発活動や小中学生、未就学児童を対象とした交通安全教室を開催し、交通ルールの指導を行う。 ②交通事故発生件数のうち高齢者が占める割合が増加傾向にあるため、高齢者への交通安全対策が課題である。	22,393	22,319	6精査・検証	①鎌ヶ谷市内の交通事故による人身事故件数は年間205件と平成30年に比べ約17.3%減少し死亡事故が1件発生し、依然として事故による負傷者が248人となっているため。 ②啓発活動の継続と強化。	21,917
183	一般	8	1	4	231交通安全の推進	自転車駐車場整備・維持管理に要する経費	道路河川管理課			①(財)自転車駐車場整備センターで設置・運営している鎌ヶ谷駅東口暫定自転車等駐車場用地購入及び新鎌ヶ谷駅西口暫定自転車等駐車場の用地借地に関すること。 ②新鎌ヶ谷駅周辺の自転車駐車施設のセンター運営は時間契約であるため、市営に引き継いだ後の維持管理業務。	13,694	13,579	6精査・検証	①新鎌ヶ谷駅周辺では自転車等駐車場は十分に確保されているが、民間駐車場は今後の土地利用により減少する可能性があり、駐車場確保のための取り組みが必要となるため。 ②東武鎌ヶ谷駅周辺の自転車等駐車場整備の検討。	18,752
184	一般	8	1	4	231交通安全の推進	放置自転車対策に要する経費	道路河川管理課			①市内6駅周辺で指定している放置禁止区域内における自転車等の放置指導、撤去、移送及び保管、返還業務。 ②放置禁止の啓発活動の拡充。	7,205	6,658	6精査・検証	①放置自転車の撤去台数は減少傾向が続いているが、令和元年度の撤去台数は212台となり、依然として道路など公共の場所での自転車の放置の実態があることから、今後もより効果的な啓発を行う必要があるため。 ②啓発パンフレットの有効な配布と活用。	7,481
185	一般	8	1	4	231交通安全の推進	交通災害共済事務に要する経費	道路河川管理課			①県内41市町村で共同して運営する交通事故による死傷者に対する共済制度で、この制度への加入受付、見舞金の支払を行うもの。 ②一般会員における加入率は令和元年度は前年度に比較し6.2%減少するなど依然として減少傾向が続いているため、加入者増の対策。	413	440	6精査・検証	①共済制度加入により、交通事故死傷者及び家族(遺族)への経済的負担軽減が目的であり、継続的に加入する市民が多いため。 ②加入率向上のための方策。	469

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
186	一般	8	1	4	231交通安全の推進	歩道等整備事業	道路河川管理課	○	○	①歩道等総合整備計画に基づき、道路区画線及びカラー舗装の整備を行うとともに、道路照明灯、ガードレール、道路反射鏡、道路標識等の交通安全施設の整備を行う。 ②歩道設置には予算と時間が必要なため、本事業による新規対策箇所は増加すること及び対策済み箇所の維持管理費用も増加することが予想される。	12,495	15,261	6精査・検証	①道路の機能管理面から安全確保を図る責務があるため。 ②歩道等総合整備計画に基づく対策による効果的な推進。	15,279
187	一般	8	1	4	231交通安全の推進	交通安全施設更新事業	道路河川管理課	○	○	①経年劣化により老朽化した各種安全施設(道路反射鏡等)の更新工事を行う。 ②市民要望やパトロールにより随時行う補修、更新と並行して、老朽化対策として事後保全面から予防保全型の維持管理への対応。	238	2,598	6精査・検証	①法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。 ②日常点検を含む法定点検に対応した点検方法の制定。	2,600
188	一般	8	2	2	321安全でゆとりある道路の整備	道路維持・補修事業	道路河川管理課	○	○	①市民要望や市内パトロール等により得た情報を元に、調査・検討を行い必要に応じて道路補修を実施する。 ②市民要望やパトロールにより随時行う補修、更新と並行して、老朽化対策として事後保全面から予防保全型の維持管理への対応。	148,595	132,275	6精査・検証	①法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。 ②日常点検を含む法定点検に対応した点検方法の制定。	122,076
189	一般	8	3	1	223うるおいある河川・水路の整備	河川管理に要する経費	道路河川管理課			①河川施設(調整池、貯留池)の財産、機能の適正な管理を行う。 ②水路(法定外公共物)が国から譲与されたことにより、境界確定や占用許可等の管理業務が増加している。	2,429	2,740	6精査・検証	①河川台帳を整備し、河川のさらに適正な管理を図る必要があるため。 ②河川台帳電子化のための調査を行う。	2,984
190	一般	8	3	2	223うるおいある河川・水路の整備	流域環境整備事業	道路河川管理課	○	○	①河川、水路、調整池の適正な管理を行うため、除草、清掃やパトロールの委託を行うとともに、必要な補修工事を行う。 ②施設の老朽化に伴う大規模な修繕や長持ちさせるための対策。	26,533	34,406	6精査・検証	①法定管理者の責務として機能維持に努めることが必要なため。 ②鎌ヶ谷市の河川等施設に応じた点検方法の制定。	28,474

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
191	一般	8	1	2	221良好な住宅の整備	建築指導に要する経費	建築住宅課	○		①建築基準法、建設リサイクル法、建築物省エネルギー法、低炭素法等に基づく各種申請の審査、検査、指導、相談及び建築物全般に関する相談 ②検査済証交付率の向上と相隣間トラブルの対応	1,368	1,302	6精査・検証	①法律に基づく業務であるが、窓口や受付業務の対応方法など検討が必要なため。 ②令和元年度のパトロール回数は前年度を上回ったが、立ち入り件数は前年度を下回った。引き続き、建築基準法及び建設リサイクル法のパトロールを年15回以上実施し、違反建築等の防止の促進を図る。	1,404
192	一般	8	5	1	221良好な住宅の整備	市営住宅の管理運営に要する経費	建築住宅課	○		①市営住宅の施設及び入居者の適切な管理と運営を行う。 ②生活保護等を必要とする家賃滞納者に対して福祉部局へ誘導するなど、入居者の事情によりきめ細やかな対応が必要。また、既存入居者の高齢化が進み、新規入居者も福祉的な対応を必要とする世帯が非常に多いことから、従来の住宅管理手法に支障が出ている。	48,006	13,761	6精査・検証	①国は公営住宅を住宅セーフティネットの中核として位置付け、今後、さらなる福祉的な対応を強く求める方針である。よって、家賃徴収方法の見直しや、福祉部局との連携強化等の改善の検討を継続する必要がある。 ②収納率の向上を図るため、事情を抱える滞納者に対するきめ細やかな対応や、家賃納入機会の拡大を目的とした口座振替への誘導等を行い、職員の滞納事務技術の向上等にも取り組む。	14,868
193	一般	8	1	2	233防災対策の強化	住宅耐震改修促進事業	建築住宅課	○	○	①旧耐震基準による木造住宅の耐震診断・改修工事費の一部補助や無料耐震相談会、危険コンクリートブロック塀除却補助、及び被災住宅の修繕補助を行うもの ②旧耐震基準の木造住宅や、危険コンクリートブロック塀は依然として市内に多く存在することから、これらの促進を図るため補助の申請を増加させること。	1,576	20,088	6精査・検証	①補助内容の拡充や、耐震化の必要性の周知及び相談を市が行うことで、市民が安心して相談等を行うことが出来るため。 ②相談会の簡易耐震診断で耐震基準を下回った所有者に対し、耐震補助の申請を促す。また、通学路沿いなどのブロック塀の点検を計画的に行い、危険なブロック塀等の所有者に対して補助制度の利用を周知することで、木造住宅の耐震化及び危険コンクリートブロック塀の除却の推進を図る。	10,697
194	一般	8	1	3	221良好な住宅の整備	施設建設監理に要する経費	建築住宅課営繕室	○		①他課から依頼を受けて行う営繕業務 ②施設の老朽化が進み、修繕の相談が増えている。	269	224	6精査・検証	①市民サービスの向上を図るためには適正な維持修繕が必要。 ②施設改修の依頼事業が多く、また、その他にも修繕内容についての相談も多いことから、関係部局との事前調整を行うとともに、現場施工の不良がないよう適切な監理を行っていく。	291
195	一般	8	5	2	221良好な住宅の整備	住宅政策に要する経費	建築住宅課	○		①特定空家等を除却するために必要な資金を貸し付ける。 ②経済的理由で管理不全な状態の空家等が放置され、空家等が社会問題化している。	27	35	6精査・検証	①空家等が社会問題化している中、経済的理由で管理不全な状態の空家等が放置されることを防ぐ必要があるため。 ②除却費用の支出が困難な特定空家等の所有者を対象として、放置されている管理不全な特定空家等の是正に要する資金の貸付を行う。	1,060

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
196	一般	8	5	1	221良好な住宅の整備	市営住宅長寿命化事業	建築住宅課	○	○	①対症療法型維持管理から予防保全型維持管理へ転換することにより、市営住宅の耐久性の向上等を行うことで長寿命化を図る。 ②長寿命化計画に基づき、平成27年度から長寿命化事業の実施を予定したが、計画通り実施できていない事業が多数ある。	0	28,978	6精査・検証	①社会情勢及び市営住宅の老朽化状況等を踏まえ、長寿命化計画の見直しを含め精査検証していく必要があるため。 ②次期実施計画策定時に事業費の計上を検討する。	0
197	一般	8	4	5	222快適な公園・緑地環境の整備	緑化推進に要する経費	公園緑地課	○		①公園用地の賃貸借、ふれあいの森の使用貸借、保全林等の指定、用地取得などを行い、緑の保全と創出を行う。 ②保全林、ふれあいの森、借地公園について、相続発生などによる急な買い取り要望への対応が求められる。	72,207	71,240	6精査・検証	①緑の基本計画に掲げた緑の将来像の実現に向けて、緑の保全と緑化の推進が必要なため。 ②公園用地の賃貸借、ふれあいの森、保全林等の指定により緑の保全に努め、緑とふれあえる場を提供する。	21,088
198	一般	8	4	5	222快適な公園・緑地環境の整備	桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業	公園緑地課	○	○	①「桜ゾーン」に、桜を植樹して、人を誘導し、回遊性を生み出すことで賑わいを創出し、市の魅力アップを図る。 ②歩車道や地下埋設物への影響から将来の桜の成長に見合う植樹場所の確保が難しい。	910	2,071	6精査・検証	①桜×鎌ヶ谷＝魅力アップ事業実施計画に基づき、引き続き桜の植樹を行うことで、市の魅力アップを図っていくため。 ②市制記念公園及び新鎌ヶ谷四丁目公園等に6本植樹する。	2,454
199	一般	10	1	1	132生きる力を育てる義務教育の充実	教育委員会運営に要する経費	教育総務課	○		①定例会を開催し、鎌ヶ谷市の教育方針や教育行政にかかる議決事項を審議し決定している。 ②教育に携わる者の意欲や達成感の向上を図り、鎌ヶ谷市の教育行政を推進することが課題である。	2,345	2,325	6精査・検証	①鎌ヶ谷市の教育行政の発展のため、的確な情報や学校の課題を引き続き把握する必要がある。 ②教育委員会の更なる活性化を図るため、引き続き学校や教育機関との意見交換の機会を設ける。	2,358
200	一般	10	1	2	132生きる力を育てる義務教育の充実	教育委員会事務局の運営に要する経費	教育総務課			①鎌ヶ谷市の教育行政の向上を図るため、教育行政の総括的事務及び教育施策の調整を行う。 ②各担当課との連携を密にして業務を実施し、教育委員会の活動を市民に周知し、関心を高めることが課題である。	3,769	3,872	6精査・検証	①教育行政に関する事務及び調整を図るため、情報共有・連携を図る必要がある。 ②地域住民の意向を踏まえ、地域に根ざした教育行政を展開する。	2,090

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
201	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	教育事務に要する経費	教育総務課			①学校の記念行事への負担金補助や卒業記念品の贈呈を行っている。 ②児童・生徒にとって良い記念となるように、今後も継続して実施する。	1,347	2,668	6精査・検証	①補助の内容等妥当性について、継続して検証する必要がある。 ②児童・生徒のニーズをふまえ、卒業記念品に関して検討する。	2,033
202	一般	10	2	1	132生きる力を育てる義務教育の充実	小学校の管理運営に要する経費	教育総務課			①良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。 ②学校の施設や備品等の老朽化が著しく、適切な対応が求められている。	213,460	239,203	6精査・検証	①引き続き、適切な教育環境を維持していく必要があるため。 ②学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。	236,865
203	一般	10	2	1	132生きる力を育てる義務教育の充実	義務教育施設維持補修事業	教育総務課	○	○	①老朽化した施設、設備等について、計画的に施設改修を行い、学習環境の向上を図る。 ②施設の老朽化に伴い、事業の進捗ペースを速める必要がある。	632,826	757,118	6精査・検証	①施設の老朽化に伴い、改修ペースを前倒しする必要があるため。 ②小学校のトイレ改修工事、道野辺小学校の体育館改修工事の際に、建具等附帯設備の改修を行う。	1,257,376
204	一般	10	2	2	132生きる力を育てる義務教育の充実	小学校の図書に要する経費	教育総務課			①学校図書館図書標準を達成できるよう、計画的かつ継続的に学校図書館用の図書を購入する。 ②全校に図書司書を配置し、蔵書の整備を進めているが、全小学校の図書館図書標準は達成していない。	7,848	9,511	6精査・検証	①学校図書館図書標準を達成しておらず、図書を充実させる必要があるため。 ②学校図書館の有効活用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全小学校において図書館図書標準を達成する。	9,557
205	一般	10	3	1	132生きる力を育てる義務教育の充実	中学校の管理運営に要する経費	教育総務課			①良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。 ②学校の施設や備品等の老朽化が著しく、適切な対応が求められている。	146,494	147,880	6精査・検証	①引き続き、適切な教育環境を維持していく必要があるため。 ②学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。	163,769

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
206	一般	10	3	2	132生きる力を育てる義務教育の充実	中学校の図書に要する経費	教育総務課			①学校図書館図書標準を達成できるよう、計画的かつ継続的に学校図書館用の図書を購入する。 ②全校に図書司書を配置し、蔵書の整備を進め、30年度に全中学校の図書館図書標準は達成したが、今後もこれを継続していく必要がある。	6,972	6,970	6精査・検証	①引き続き、図書を充実させる必要があるため。 ②学校図書館の有効活用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全中学校における図書館図書標準100%を継続していく。	6,975
207	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	外国語指導助手に要する経費	学校教育課			①外国青年を招致して中学校の外国語教育の充実を図るとともに、小学校の外国語活動などを通して、日本と外国の相互理解と国際化を進める。また、外国の文化に触れることを通して、国際社会に生きる児童生徒を育てる。 ②学級担任の教師または、外国語を担当する教師の指導力の育成。小学校教員の外国語指導力の向上を目指す。	44,042	50,864	6精査・検証	①教育委員会指導訪問において、小学校で外国語活動の授業展開を必ず実施し、教員及び外国語指導助手の指導力の向上を図る必要があるため。 ②外国語活動支援員の配置を行い、小学校外国語教育の充実を図る。併せて担当教師、外国語指導助手合同の研修会を実施し、小学校・中学校の授業改善を図っていく。	57,436
208	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	教職員の研修に要する経費	学校教育課			①市内の小中学校の教職員の資質、能力向上と専門性の確立を図るため、研修、研究の支援を行う。 ②研修、研究の内容の精査を図り、授業改善に繋げていく。	858	828	6精査・検証	①研修、研究を充実させるためには、研究経費や研修会に係る費用を支援し、質の高い研修、研究を行っていく必要がある。 ②研究指定校以外の中小学校には自主公開助成金を確保する。	441
209	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	教育指導に要する経費	学校教育課			①鎌ヶ谷市学力調査、学校図書館司書の全校配置、理科支援員の小学校への配置、心の教育講演会、教育相談員の配置・いじめ対策等を行う。 ②学力向上への取組、いじめ防止基本方針の推進	42,519	67,508	6精査・検証	①学力向上に向けた取組が各校で学校全体の取組として表れてきた。分析項目、方法の共通化により、授業改善策の情報交換の内容が充実してきているため。 ②いじめ防止基本方針策定後の各学校いじめ防止の充実。	79,126
210	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	小中学校体育文化活動に要する経費	学校教育課			①豊かな人間性を育むために、体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費等の助成を行った。 ②児童生徒の体育文化活動の向上を図るために、引き続き大会等の出場の経費軽減を図る。	4,071	4,306	6精査・検証	①豊かな人間性を育むために、体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費等の助成を行う必要があるため。 ②児童生徒の体育文化活動の向上を図るために、引き続き大会等の出場の経費軽減を図る。	6,759

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
211	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	学校運営に要する経費	学校教育課	○		①学校用務員の退職者が出た学校について、新たな人員配置に代わり、民間委託により人員補充を行う。 ②市職員の用務員が配置されている学校と業務内容に差違が生じないよう、学校および業者との調整が必要となる。	21,114	21,632	6精査・検証	①人件費の削減を図るため、継続的に行う事業であり、今後も民間委託を推進する必要があるため。 ②学校および委託業者と連携をとり、円滑な学校運営を図る。	23,711
212	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	情報教育に要する経費	学校教育課			①小中学校14校のコンピューターシステムの一括管理 ②コンピュータ・タブレットの有効活用への支援	113,885	113,083	6精査・検証	①校務支援ソフトの活用が定着し、校務の効率化が図れ、児童生徒に向き合う時間の確保に繋がっているため。 ②学習指導要領改訂に伴うプログラミング教育への対応を図る。	116,738
213	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	少人数教育推進に要する経費	学校教育課	○		①市内小中学校に1名ずつ少人数教育指導教員(きり先生)を配置し、きめ細かな学習指導を行う。 ②効果的な少人数指導については日々授業改善を図っていく必要がある。	23,693	23,190	6精査・検証	①学力向上のためにもきめ細かな指導を行うことは重要であり、効果的な実施がなされてはいるがさらに指導方法等について向上を図っていく必要があるため。 ②少人数指導の質の向上を図るため、きり先生研修会のみならず各種研修会でも効果的な実施について引き続き指導支援していく。	31,100
214	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	学校地域支援に要する経費	学校教育課			①市内小中学校に地域住民によるボランティアを募り、学校教育活動を支援していく。学校支援地域本部事業8校実施。 ②ボランティアの公募は、各学校で行っており十分な成果をあげている。教育支援コーディネーターの育成が必要である。	5,093	5,159	6精査・検証	①学校支援地域本部事業は、現在8校で学校のボランティア活動が充実しているため。 ②学校支援地域本部事業の内容の更なる充実を図り、学校と地域ボランティアをつなぐコーディネーターを活用した事業に広げていく。	5,438
215	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	特別支援教育推進事業	学校教育課	○	○	①市内小中学校に各1名(大規模校2名)特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)を配置し、きめ細かな教育支援を行う。 ②対象となる児童生徒一人一人の多様なニーズに応じたきめ細やかな支援・指導のための時間の確保が課題である。	31,857	31,775	6精査・検証	①特別な支援を要する児童生徒の増加と個々の特性に応じた教育的ニーズの高まりにより、保護者の期待と信頼が大きいため。 ②特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)の研修の充実と、心理発達相談員による迅速かつ専門的な指導・助言を行う。	38,801

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
216	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	中学生ワカタネ派遣に要する経費	学校教育課			①市内中学校代表各1名の計5名の中学生を姉妹都市ニュージーランド・ワカタネへ派遣する。派遣生徒は国際交流を通して、異文化理解を深める。 ②R1から派遣実施が市内中学校の生徒に限定されたが、その点について市民への周知が足りなかったことが課題である。	0	2,216	6精査・検証	①派遣生徒は帰国後、各校における報告会を実施し、派遣生徒のみならず、全校生徒が異文化への興味関心を高める機会とするため。 ②3年後の令和5年の派遣に向けて、派遣事業内容の更なる充実を図る。	0
217	一般	10	1	4	132生きる力を育てる義務教育の充実	心身障がい児の教育に要する経費	学校教育課			①学級、学校での安全確保のため、介助員を配置する。保護者の経済的負担軽減のため必要な援助を行う。 ②対象となる児童生徒の増加傾向が続いており、介助員の数の確保と各学校・保護者との調整が課題である。	55,522	57,589	6精査・検証	①インクルーシブ教育システムの構築に向け、個々の多様なニーズに対して柔軟で適切な支援・対応が求められるため。 ②様々なケースに対応するうえで、合理的配慮による介助員の増員及び人材の確保、また施設面での充実をきめ細かに図る。	80,196
218	一般	10	2	2	132生きる力を育てる義務教育の充実	要保護・準要保護に要する経費	学校教育課			①経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対して就学援助を行う。 ②経済的困窮で就学困難な児童生徒が義務教育を受ける機会均等につながる。	42,920	50,138	6精査・検証	①義務教育の機会均等を図るため、継続的に行う事業であり、保護者への周知徹底を引き続き行う必要があるため。 ②新型コロナウイルス感染症の影響で援助が必要となる保護者がより幅広く援助を受けやすくなるよう、近隣市の状況を参考に、認定方法や支給費目等について検討する。	58,130
219	一般	10	5	1	133児童・生徒の健康と安全の確保	学校保健事務に要する経費	学校教育課			①児童生徒等の心身の発達と健康を保持するため、環境衛生検査、健康診断、感染症の予防等を実施する。 ②健康診断に係る時間の削減が課題である。また、健康診断の未受診者や受診勧告を受けた児童生徒等について、医療機関受診率向上のための検討が必要である。	34,596	33,051	6精査・検証	①円滑な検診の実施にむけ、課題の解決に向けた検討を継続して行う必要があるため。 ②児童生徒等の定期健康診断について、現行の精度を保ち、かつ、新型コロナウイルス感染症対策に配慮して実施する。	36,618
220	一般	10	5	1	133児童・生徒の健康と安全の確保	学校安全事務に要する経費	学校教育課			①日本スポーツ振興センターとの契約により、学校管理下における児童生徒等の災害に対して給付を行う。 ②他制度との併用が多く見られることから、学校管理下の災害については災害共済給付制度を優先するよう、保護者への周知徹底が必要となる。	11,672	11,184	6精査・検証	①児童生徒が安全な学校生活を送る上で継続的に行う事業であり、保護者への周知徹底を引き続き行う必要があるため。 ②各学校の養護教諭と連携をとり、事務手続きに遺漏の無いよう手続きを行う。	11,627

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
221	一般	10	5	1	133児童・生徒の健康と安全の確保	通学路安全対策事業	学校教育課	○	○	①第三次通学路安全対策推進行動計画に基づき、通学路の環境整備を行う。 ②信号機設置や歩道拡幅は中長期的な整備となり、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。	14,637	14,493	6精査・検証	①学校やPTAからの要望は多くあることから、まずは可能な安全対策工事を実施することとし、併せて、中長期的な工事を検討するため。 ②令和元年度の要望に基づき、通学路の環境整備を行い、自動車講習会など安全指導面も継続して実施する。併せて、通学区域変更に伴う安全対策及び児童付添活動委託など防犯対策を継続して実施する。	15,000
222	一般	10	5	1	133児童・生徒の健康と安全の確保	児童生徒安全パトロール事業	学校教育課	○	○	①市内の指定通学路や公園などにおいて、不審者等に対する警戒パトロール及び下校時の見守りを行う。 ②下校時間帯の不審者情報が多く見られることから、学校、地域、青少年センター、警察とも連携し、迅速に対応していく必要がある。	18,679	24,224	6精査・検証	①通学路の安全確保は継続的に行う事業であり、各関連機関と連携し、臨機応変に対応する必要があるため。 ②学校、地域、青少年センター、警察と引き続き情報共有し、通学路を中心にパトロールを実施していく。	27,157
223	一般	10	5	3	133児童・生徒の健康と安全の確保	学校給食費徴収システム整備事業	学校教育課	○	○	①学校給食費に関して、市が一括賦課収納管理するシステムを整備する。 ②令和2年度から市が直接保護者より学校給食費を徴収するが、より保護者と接する機会が多い各学校が徴収の窓口を担っていた時と比較すると保護者への納付勧奨の機会が減少すると想定されることから、徴収率の維持・向上に向けた取り組みを強化していく必要がある。		856	6精査・検証	①令和元年度は準備期間であったが、導入・構築した学校給食費徴収システムを活用した徴収業務について、精査・検証を行う必要があるため。 ②学校給食費徴収システム及び徴収業務委託により、保護者から直接市が学校給食費の賦課徴収収納管理を行う。	7,620
224	一般	10	4	1	121いきいきとした生涯学習の推進	生涯学習の推進に要する経費	生涯学習推進課			①市民の生涯学習活動を推進するため、学校施設の開放等を行う。また、子どもの遊び場を確保するため個人開放日を設定し、安心して遊べるよう監視員を配置する。 ②開放対象施設に限られる中、より多くの市民が利用できるよう公平で有効な施設の活用と利用団体のルール順守の徹底。	4,016	3,180	6精査・検証	①幅広い年代の多くの市民の生涯学習活動の場となっており、生涯学習を推進するうえで継続して実施していく必要があり、個人開放については、監視員の配置時間を縮小後も事故・事件なく、子ども達が安心して遊べる場を提供することができているため。 ②感染症拡大防止等、地域住民や学校の安全確保を第一に考えながら、生涯学習活動の支援と、地域と学校が相互に連携・協力できる体制を推進し、地域力の向上を図る。また、子どもの遊び場の確保のため、引き続き安全を考慮しながら個人開放を実施する。	5,366
225	一般	10	4	1	135青少年の健全育成	青少年の社会参加・体験活動の機会づくりに要する経費	生涯学習推進課	○		①青少年への自然体験・社会体験の機会提供及び地域ボランティア、関係団体の活動支援 ②社会のモラルが多様化する中で、学校・家庭以外でも地域全体の教育力での青少年の育みが見直される中、地域の支援者及び子ども会等団体参加者の減少が見られる。	6,033	5,681	6精査・検証	①団体等の参加者の減少や高齢化に伴い、イベントの開催やイベント参加者の減少が見られる。 ②各団体の支援者や、行事への参加者を増加させるため、学校や保護者等に対する広報に努める。	10,850

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
226	一般	10	4	1	135青少年の健全育成	家庭・地域の教育力の向上に要する経費	生涯学習推進課			①少しでも多くの人に家庭や地域の教育力向上となる活動に参加するよう啓発を重ね、市民の協力を得て、より良い家庭教育支援が進められるよう取り組む。 ②家庭と地域との結びつきが希薄化しており、より一層の支援が必要である。	303	288	6精査・検証	①家庭や地域を取り巻く課題は年々多様化しており、様々な角度から事業を実施していく必要があるため。 ②家庭教育を支援するため関係機関と連携し、家庭教育に関する課題に対応した学習機会の提供を促進する。	577
227	一般	10	4	2	121いきいきとした生涯学習の推進	生涯学習推進センターの管理運営に要する経費	生涯学習推進課	○		①生涯学習施設の供用及び生涯学習情報の提供 ②年々市民の学習ニーズは多様化・専門化が進んでおり、学習機会の増加が求められている。学習ニーズに対応した学習情報を提供するため、ニーズの把握や提供方法に工夫が必要。	35,566	32,395	6精査・検証	①多様な学習ニーズに対し、これまで実施している事業や現代的課題を組み合わせ、サービスの向上を図る必要があるため。 ②市民のニーズに対応した学習情報を提供するため、掲示物等の工夫を継続し、快適で魅力のある施設運営を行う。	38,098
228	一般	10	4	3	121いきいきとした生涯学習の推進	学習センターの管理運営に要する経費	生涯学習推進課	○		①コスト削減のため、人員体制や事業の改善等を行いつつ、地域の学習拠点としての有効性を高める。 ②市民の学習ニーズは多様化しており、ニーズに対応した講座提供が求められるため、市民との企画事業を継続的に確保し、併せて地域で学習成果が還元できるよう創意工夫が必要である。	89,504	89,576	6精査・検証	①地域の生涯学習の拠点として、市民ニーズにフレキシブルに対応できる講座内容の立案を行う必要があるため。 ②多様化する市民の学習ニーズに対応した魅力のある事業を実施できるよう関係機関との連携を深める。併せて、学習成果の還元方法について、地域を盛り上げるよう創意工夫につとめる。	104,928
229	一般	10	4	5	135青少年の健全育成	非行防止対策の推進に要する経費	生涯学習推進課	○		①子どもたちの非行防止を図るもの。 子どもたちの安全確保を図るため、子ども安全メールを発信する。 ②今後ますます低年齢層による非行が増加するとともに、犯罪被害者となるケースも増えるものと思われる。	6,475	6,199	6精査・検証	①家庭、学校、地域又は関係機関との連携を図りながら、補導活動への協力や、子ども達の安全に関心を持ってもらうなど地域ぐるみで子ども達を見守り、子ども達が心身ともに安全な生活を送れる環境整備を継続して実施していく必要がある。 ②関係機関と連携し、街頭パトロール、子ども達や保護者からの相談受け付け、「こども110番の家」の設置の推進などを重点として活動する。	9,468
230	一般	10	4	4	121いきいきとした生涯学習の推進	図書館の管理運営に要する経費	生涯学習推進課			①図書館システムを活用した図書資料の貸出・返却・配送・レファレンス・情報提供をする。 ②生涯学習の意欲の高まりに伴い、従来の図書館サービスの提供に加えて、多様化する情報の提供への取り組みが求められている。	85,547	101,202	6精査・検証	①市民の生涯学習を支援する機関として、資料の整備充実と資料についての相談・情報の提供に努めることは公共図書館の使命であり、市民ニーズも高いため。 ②障がい者等の図書館利用の利便性を向上させるため郵送・宅配サービスを行う。小中学生の図書館資料の利用を促進するため学校図書配達事業を行う。	102,124

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
231	一般	10	4	4	121いきいきとした生涯学習の推進	図書館蔵書・資料整備事業	生涯学習推進課	○	○	①多様化・高度化する学習欲求に対応するため、図書館資料の充実を図る。 ②様々な分野において図書、視聴覚資料の充実が求められている。	15,000	15,499	6精査・検証	①利用者の多様化するニーズに対応するために各種分野に及ぶ図書、視聴覚資料の充実が求められているため。 ②学校の各種事業(修学旅行、林間学校等)に対応した資料の収集を行うとともに、学校図書配達事業を把握した上で、資料収集に反映させる。	15,500
232	一般	10	4	4	121いきいきとした生涯学習の推進	図書館改修事業	生涯学習推進課	○	○	①図書館の利用利便性の向上や、長寿命化を目的として建物、設備等の改修工事を行う。 ②図書館の建物、設備の経年劣化に伴う改修が必要である。	6,934	20,272	6精査・検証	①適正に施設の管理運営を実施するため(令和元年度はエレベーター改修工事を実施) ②適正に施設の管理運営を行い、次年度以降の改修の考え方について取りまとめを行う。	0
233	一般	10	4	1	123芸術・文化の振興	文化財保護に要する経費	文化・スポーツ課	○		①文化財の指定・指定文化財の管理・埋蔵文化財発掘調査に係わる業務を行う。 ②埋蔵文化財保護事業は現状保存を目指しているが、開発を伴うため発掘調査等による記録保存を行うことが多い。文化財を未来に伝えていくための保護業務が必要である。	3,895	6,762	6精査・検証	①埋蔵文化財保護事業は行政の責務であり、各種開発が本市でも行われていることから、継続して実施する必要がある。 ②市指定文化財、登録有形文化財、その他市内の保存すべき文化財について、所有者と連携しながら適切な管理を行う。埋蔵文化財に関しては、窓口対応から発掘調査の実施まで、迅速かつ遺漏のないように対応していく。	5,241
234	一般	10	4	1	123芸術・文化の振興	文化振興に要する経費	文化・スポーツ課	○		①芸術文化事業(市民文化祭、美術展覧会、芸術鑑賞教室等)を実施する。 ②若い世代をはじめとした多くの市民が参加できる機会や、来場するきっかけを作っていくことが課題となる。	1,876	1,965	6精査・検証	①芸術文化活動への参加機会及び鑑賞機会の提供は地域の芸術・文化意識の向上に必要であるため。 ②芸術文化事業を引き続き実施し、市民に芸術文化活動への参加機会や芸術文化にふれる機会を提供する。	2,220
235	一般	10	4	1	123芸術・文化の振興	民間開発による埋蔵文化財発掘調査に要する経費	文化・スポーツ課	○		①本調査が必要と判断した事業地の取扱いについて、事業者と協議を行い、事業者の負担により本調査を実施する。 ②遺跡の現状保存を目指す、協議の結果、現状保存が困難となった場合、発掘調査による記録保存を実施する。	2,097	0	6精査・検証	①民間開発に伴う事業者の費用負担による遺跡の記録保存に対応する業務のため、実施に備える必要がある。 ②外因的な要素に起因するが、案件が発生した際の迅速な対応。全額負担が困難な零細業者への県補助の活用。	2,899

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
236	一般	10	4	1	123芸術・文化の振興	埋蔵文化財緊急調査事業	文化・スポーツ課	○	○	①平成28年度に本調査を実施した一本松遺跡の出土資料を整理、分析し、発掘調査報告書を刊行する。 ②分類・接合が終了した遺物の復元作業、出土資料の図化作業、写真撮影等を行い、報告書作成のための図版、原稿作成を行う。	3,912	5,864	6精査・検証	①整理作業の進捗によって、遺物の復元、図化の委託、図版作成、原稿執筆作業を実施する必要があるため。 ②分類・接合作業の進んだ出土遺物の復元作業を実施し、状態の良い資料の図化作業、写真撮影、図版作成、原稿執筆を行い、発掘調査報告書を刊行する。	4,368
237	一般	10	5	2	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	スポーツ振興に要する経費	文化・スポーツ課			①スポーツ活動の推進を図り、生涯にわたり心身ともに健全ないきがいのある暮らしができるようにする。 ②団体(体育協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団)等の活動を活性化し、スポーツをする機会づくりの推進を図る必要がある。	22,710	24,277	6精査・検証	①北海道日本ハムファイターズとの連携事業が子供たちへ夢を与えたこと。鎌ヶ谷市出身のプロ野球選手が多数活躍しており、未来のスター選手誕生が期待できる。 ②より幅広い年齢層に対応したイベントの考案。	27,495
238	一般	10	5	2	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	陸上競技場改修事業	文化・スポーツ課	○	○	①計測機器等に配慮した空調設備、雨漏り対策のための整備を行うための改修工事に向けた設計を行う。 ②メインスタンド老朽化に伴う改修工事に向けた実施計画であり、雨漏り対策、空調設備の完備する必要がある。	496,294	51,332	6精査・検証	①現存施設の老朽化に応じた改修工事のための設計を要する。 ②陸上競技場メインスタンド改修工事に向けた実施設計を行う。	4,380
239	一般	10	4	6	123芸術・文化の振興	郷土資料館の管理運営に要する経費	文化・スポーツ課	○		①郷土の歴史・民俗等に係る資料を収集・調査・研究・整理するとともに資料展示及び各種講座、教室等を開催する。 ②収集した資料の整理作業を進め、その周知機会である展示や講座等の事業で活用し、多くの方々に興味を持ってもらう。	9,497	12,534	6精査・検証	①ふるさと意識の醸成をはかるために、資料の収集・整理の推進と、展示や講座等の事業に、まず興味を持ってもらうための工夫が必要のため。 ②資料の収集・整理・保管の環境を整え、資料活用により、地域の歴史に興味を持つ利用者の増加につなげる。	12,059
240	一般	2	1	6	412効率的で健全な行政運営の推進	出納事務に要する経費	会計課			①支出伝票等の審査支払事務や、領収済通知書等による収入票の作成、及び公金の出納管理を行う。 ②年々増加する収入・支払伝票を正確に処理するため、出納事務をより効率的にしていく必要がある。	4,959	5,063	6精査・検証	①出納事務は、地方自治法に規定された欠かさすことのできない事務であり、事務方法を検証していきながら継続すべき事業であるため。 ②より効率的かつ迅速な出納事務が行えるよう、業務のマニュアル化や情報共有などにより、職員が窓口を含めた業務全般を遂行できる体制となるよう取り組む。	3,248

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
241	一般	2	4	1	411地方分権と市民参加の推進	選挙管理委員会事務局の運営に要する経費	選挙管理委員会事務局			①選挙を適正に執行するため、選挙人名簿について法及び関連規定に基づく登録事務及び抹消事務を行い、適正に管理する。 ②選挙人名簿の管理方法が簿冊管理である。	4,115	4,555	6精査・検証	①公職選挙法の規定に基づく事務であることから、事務の正確性と効率性を向上させる必要がある。 ②選挙人名簿の電算化について検討を行う。	4,527
242	一般	2	4	2	411地方分権と市民参加の推進	選挙啓発に要する経費	選挙管理委員会事務局			①政治参加の方法である選挙について、有権者に政治への関心や選挙の重要性を認識してもらい、投票意識の高揚を図る。 ②各種選挙において、若年層の投票率が低い。	259	264	6精査・検証	①有権者の選挙や政治への更なる参加が期待できるよう、より効果的な啓発事業を実施するよう改善を行う。 ②優良事例を調査・研究し、模擬投票及び出前授業の実施に向けた検討を行う。	458
243	一般	2	6	1	412効率的で健全な行財政運営の推進	監査委員事務局の運営に要する経費	監査委員事務局			①定例監査・例月現金出納検査の実施、及び決算審査・財政健全化審査を行う。 ②事務の合理化、適正化、効率化といった視点に立った監査を執行すること。	1,473	1,420	6精査・検証	①地方自治法で定められているため。 ②監査対象事務の問題点を把握し、効率的・合理的な行政運営を図れるよう、監査を実施していく。	1,492
244	一般	6	1	1	331都市農業の育成	農業委員会事務局の運営に要する経費	農業委員会事務局	○		①農地法、農業経営基盤強化促進法、農業委員会に関する法律に基づく農業委員会業務を円滑に運営する。 ②農業委員及び農地利用最適化推進委員が、共通の認識を持ち、連携して取り組む必要がある。	10,452	10,353	6精査・検証	①より効果的な農業委員会業務の運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。 ②7月に改選を迎えることから、新たな体制に向けた引継ぎの円滑化と速やかな業務認識の共有化に取り組む。	11,152
245	一般	1	1	1	412効率的で健全な行財政運営の推進	議会事務局の運営に要する経費	議会事務局	○		①憲法で保障された議決機関である議会の円滑な運営を行うため、その事務を所掌する議会事務局の運営に関する経費。 ②地方分権がより一層進む状況のなかで、今後とも議会活動等の透明性の確保、内容を広く周知すること及び新たな政策提案を求められている。	23,913	22,490	6精査・検証	①より効率的かつ効果的な議会運営の実現に向け、引き続き改善等の検討を行うため。 ②議会運営を円滑に進めるとともに、議会活動等の透明性を確保するため、効果的な事業の展開を図っていく。	32,387

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
246	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防事務に要する経費	消防総務課			①災害活動に必要な装備品及び資機材の整備、消防被服の貸与。 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため、計画的な資器材整備を継続する必要がある。	94,892	98,785	6精査・検証	①市民の安全で安心な生活を守るため、消防活動に必要な資機材、装備品は必要不可欠である。 ②災害件数の増加及び訓練による消耗を勘案し、円滑な業務遂行を維持しつつ、今後も継続した経費削減を図る。	77,649
247	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防庁舎の管理運営に要する経費	消防総務課			①消防庁舎各種設備の保守管理業務委託 ②消防施設機器の管理及び良好な職場環境の保持は、消防活動拠点機能維持に必要であり、継続する必要がある。	16,185	16,412	6精査・検証	①消防の任務遂行のため、消防庁舎機能の保持は必要不可欠であるため。 ②継続的に保守点検を実施し、防災活動拠点としての機能を維持する。	16,948
248	一般	9	1	1	234消防力の強化	職員研修に要する経費	消防総務課	○		①消防職員として業務遂行上必要な専門知識及び技能を習得するため、消防大学校等の各種研修所に派遣する。 ②災害の増加及び複雑多様化に対応するため、継続的に知識及び技術の習得が必要である。	3,675	3,157	6精査・検証	①専門的な知識や技術は、外部機関による取得以外に方法はなく、救急救助体制の確立には必要不可欠であるため。 ②消防力維持のため、計画的に職員研修を実施していく必要がある。	3,937
249	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防車両更新事業	消防総務課	○	○	①消防活動を維持するために必要な、消防用車両及び車両積載品を更新整備する。 ②鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。	93,481	7,861	6精査・検証	①市民の安全安心のため消防車両等の更新は、継続していかなければならないため。 ②本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動が出来る車両を更新整備する。	57,435
250	一般	9	1	1	234消防力の強化	消防団車両更新事業	消防総務課	○	○	①消防活動を維持するために必要な、非常備用消防車両及び車両積載品を更新整備する。 ②鎌ヶ谷市消防用自動車更新計画に基づき更新しているが、消防力の整備指針改正等を踏まえ、本市の車両台数、更新計画を継続的に検討する必要がある。	0	19,614	6精査・検証	①市民の安全安心のため非常備用消防車両等の更新は、継続していかなければならないため。 ②本市の地域実情に見合った車両及び資機材を検討し、より迅速かつ、的確な活動が出来る車両を更新整備する。	20,033

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
251	一般	9	1	1	234消防力の強化	予防業務に要する経費	予防課	○		①火災予防を推進するため、消防訓練時の指導や住宅用火災警報器の設置普及及び維持管理啓発を実施するとともに、建築確認時の消防設備の設置指導や検査、立入検査を行う。 ②住宅用火災警報器の設置後、10年を経過する住宅が増加することから、機器の点検及び更新について啓発する必要がある。	3,402	2,574	6精査・検証	①火災予防を推進するため、消防訓練時の火災予防指導や住宅用火災警報器の設置及び維持管理を啓発し、建築確認時の消防設備の設置指導や検査、立入検査を実施した。 ②住宅用火災警報器の設置及び維持管理について、広報かまがや市ホームページ並びに消防関係催物等で引き続き啓発を行う。また、建築確認や立入検査等により適正な消防設備の設置指導を実施する。	3,196
252	一般	9	1	1	234消防力の強化	警防業務に要する業務	警防課	○		①救急車到着までの間、現場に居合わせた人により効果的な応急手当が実施できるよう、市民及び各種団体を対象に救命講習を実施する。 ②継続的に講習会を開催し、更なる受講者の拡大のため効果的な広報活動等の実施を検討する。	20,311	14,093	6精査・検証	①継続的に取り組み検証し、対応することが安全に暮らせる社会に繋がるため。 ②継続的に講習会を実施することにより、講習修了者を増やす。	30,122
253	一般	9	1	1	235消防力の強化	大規模災害時応援に要する経費	警防課			①緊急消防援助隊・千葉県広域応援隊として、県内県外に応援隊を派遣する。 ②人員、資器材、燃料、食料等の維持管理を含め、派遣体制の充実に努める必要がある。	0	127	6精査・検証	①有事の際に応援隊の派遣及び運用を円滑かつ迅速に行うことが必要であるため。 ②出動の際の資器材等を確認すること及び速やかな準備体制の構築を行う。	699
254	一般	9	1	1	236消防力の強化	消火栓改修事業	警防課	○	○	①経年劣化により破損の危険がある消火栓12基を、優先度の高いものから計画的に改修を行う。 ②現在使用不能としている消火栓について、早急に改修を行う必要がある。	3,039	5,547	6精査・検証	①消火活動に欠かせない消防水利について、今後も維持管理を行う必要があるため。 ②当初計画では7基であったが、新たに5基の腐食消火栓について改修の必要が生じたため、計12基の消火栓を改修する計画に変更した。令和2年度は3基の消火栓の改修を行う。	4,135
255	一般	9	1	2	237消防力の強化	消防団運営に要する経費	警防課	○		①各種災害に出動して、地域防災の中心的な役割を果たす消防団を維持するため、計画的な運営を図るとともに、環境を整備する。 ②環境整備及び広報活動の拡充等を行い、団員の減少に歯止めをかけ人員を確保する。	26,198	29,699	6精査・検証	①防災に関する市民ニーズは上昇傾向にあり、今後、さらに高まると予想できるため、継続して行う必要がある。 ②消防団施設の維持管理及び人員確保と装備の充実化を図る。	39,554

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
256	一般	9	1	2	238消防力の強化	消防団装備品整備事業	警防課	○	○	①消防団員が効果的な活動を行うために、消防団装備品の充実強化を図る。 ②消防団装備品整備事業として計画的に装備品を整備する必要がある。	2,754	4,198	6精査・検証	①消防団装備品の充実強化に関しては、計画的に行っており、今後もこれに係る手続きを進める必要があるため。 ②消防団員の防火衣について安全性、活動性に優れた防火衣への更新を行う。	3,000
257	国保	1	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	資格・給付等に要する経費	保険年金課			①国民健康保険の資格を管理し、被保険者証の交付、更新を行うと共に被保険者への給付業務を行う。 ②令和3年度にオンライン資格確認が開始されるため、環境を整備する。	49,850	49,252	6精査・検証	①国民健康保険法に基づき実施しているが、業務手法等については、随時、検証していく必要があるため。 ②資格の適正化や、医療費の適正化に向け、周知に努める。システム改修を行い、運用に向けての準備を行う。	56,579
258	国保	1	1	2	115安心して暮らせる 社会保障の充実	国保連合会等に要する経費	保険年金課			①診療報酬審査支払機関の国民健康保険団体連合会に、事務費負担割、均等割、人数割に応じた負担金を支払う。 ②被保険者の減少に伴い、負担金は減少している。	3,133	3,036	6精査・検証	①負担金については、県内市町村長が理事となる総会で決められているが、随時、検証していく必要があるため。 ②各保険者が共有する事務処理を委託して行うことにより、効率化を図る。	2,908
259	国保	1	2	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	国保料(税)の賦課徴収に要する経費	保険年金課			①国民健康保険条例に基づき、保険料を賦課し、収納管理及び滞納整理を行う。 ②国民健康保険事業や事業費納付金の財源の安定確保のため、収納率の向上が必要である。	38,401	37,656	6精査・検証	①収納率は向上してきているが、随時、収納方法や滞納整理について、検証していく必要があるため。 ②滞納整理を進めると共に、納め忘れを防止するため、口座振替加入率の向上を図る。	30,528
260	国保	1	3	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	運営に関する協議会に要する経費	保険年金課			①国民健康保険事業の運営に関する重要事項を審議し、国民健康保険事業の適正化を図る。 ②運営に関する協議会委員のそれぞれの立場からいただいた意見を集約し、運営に反映している。	62	48	6精査・検証	①運営に関する協議会は、市町村の必置の機関であるが、その審議内容等は、随時、検証していく必要があるため。 ②被保険者代表として公募委員を募集し、被保険者の立場から意見をいただく。	273

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
261	国保	2	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般被保険者療養給付費に要する経費	保険年金課			①被保険者が疾病や負傷等により、受診した場合、医療費の保険者負担分を国保連合会を通して医療機関に支払う。 ②高齢化等により、1人あたり療養給付費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	6,290,224	6,162,395	6精査・検証	①1人あたり療養給付費は増加しており、医療費適正化に、取り組む必要があるため。 ②疾病の予防や重症化を防ぐとともに、医療費適正化の周知に取り組む。	6,326,717
262	国保	2	1	3	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般被保険者療養費に要する経費	保険年金課			①被保険者が柔道整復師の施術、鍼灸等の施術をした場合、その保険者負担分を施術所等へ支払う。 ②高齢化等により、1人あたり療養費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	93,735	89,072	6精査・検証	①1人あたり療養費は増加しており、療養費適正化に、取り組む必要があるため。 ②療養費のアンケートを実施し、療養費適正化の周知に取り組む。	101,715
263	国保	2	1	5	115安心して暮らせる社会保障の充実	審査支払手数料に要する経費	保険年金課			①国保連合会は医療機関からの診療報酬明細書を審査支払し、その審査手数料を各保険者が支払う。 ②被保険者数の減少により、審査件数の減少が予想される。	15,120	14,525	6精査・検証	①手数料については、県内市町村長が理事となる総会で決められているが、随時、検証していく必要があるため。 ②診療報酬明細書の審査を強化し、医療費の適正化に取り組む。	16,268
264	国保	2	2	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般被保険者高額療養費に要する経費	保険年金課			①被保険者が同月内の医療費の自己負担額が高額になった時、申請後、自己負担限度額を超えた分を償還する。 ②高齢化等により、1人あたり高額療養費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	873,440	867,366	6精査・検証	①1人あたり高額療養費は増加しており、医療費適正化に、取り組む必要があるため。 ②疾病の予防や重症化を防ぐとともに、医療費適正化の周知に取り組む。	931,099
265	国保	2	2	3	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般被保険者高額介護合算療養費に要する経費	保険年金課			①被保険者の年間の医療と介護の自己負担額が高額になった時、申請後、自己負担限度額を超えた分を償還する。 ②高齢化等により、1人あたり高額療養費は増加しており、医療費水準の上昇は、翌年度納付金の増加につながる。	306	975	6精査・検証	①1人あたり高額療養費は増加しており、医療費適正化に、取り組む必要があるため。 ②疾病の予防や重症化を防ぐとともに、医療費適正化の周知に取り組む。	1,500

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
266	国保	2	3	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者移送費に要する経費	保険年金課			①被保険者が負傷、疾病等の治療のため、医師の指示で緊急的な必要で移送された場合に、移送費を支給する。 ②緊急性が審査されるため、該当となるケースは少ない。	0	0	6精査・検証	①移送費は該当ケースが少ないため、随時、検証して行く必要があるため。 ②疾病の予防や重症化を防ぐとともに、医療費適正化の周知に取り組む。	150
267	国保	2	4	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	出産育児一時金に要する経費	保険年金課			①被保険者が出産した場合に40.4万円を支給する。産科医療保障制度加入機関での出産は、1.6万円を上乗せする。 ②海外出産等の増加に伴い、年々厳格な審査や調査が求められている。	36,489	26,813	6精査・検証	①被保険者の出産に係る費用の軽減が図られているが、随時、その審査方法等、検証していく必要があるため。 ②安心して出産できるよう、出産育児一時金等の制度について周知に取り組むと共に未申請者には申請を勧奨する。	42,021
268	国保	2	5	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	葬祭費に要する経費	保険年金課			①被保険者が死亡した場合に葬祭費用として、喪主に5万円を支給する。 ②葬祭費の財源は保険料となっており、今後の支給は年間200名前後で推移すると予想される。	8,000	8,050	6精査・検証	①被保険者の葬祭費用の軽減が図られているが、随時、その内容等を検証していく必要があるため。 ②葬祭費の制度について、周知に取り組むと共に、未申請者には申請を勧奨する。	12,000
269	国保	3	1	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者医療給付費分納付金に 要する経費	保険年金課			①国保財政の運営主体である県が医療費水準及び所得水準に応じて算出した一般被保険者医療給付費納付金を収める。 ②激変緩和措置により納付金は減額されており、この激変緩和措置は年々縮小される。	2,099,572	2,027,259	6精査・検証	①保険給付費はほぼ全額、交付されることとなったが、納付金に必要な保険料率について、検証していく必要があるため。 ②保険料収納率の向上や医療費の適正化により、歳入確保に努める。	1,872,619
270	国保	3	2	1	115安心して暮らせる 社会保障の充実	一般被保険者後期高齢者支援金等分 納付金に要する経費	保険年金課			①国保財政の運営主体である県が医療費水準と所得水準で算出した一般被保険者後期高齢者支援金等納付金を収める。 ②激変緩和措置により納付金は減額されており、この激変緩和措置は年々縮小される。	600,101	594,854	6精査・検証	①後期高齢者支援金は、県で支払うこととなったが、納付金に必要な保険料率について、検証していく必要があるため。 ②保険料収納率の向上により、歳入確保に努める。	715,849

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
271	国保	3	3	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	介護納付金分納付金に要する経費	保険年金課			①国保財政の運営主体である県が医療費水準及び所得水準で算出した一般被保険者介護納付金分納付金を収める。 ②激変緩和措置により納付金は減額されており、この激変緩和措置は年々縮小される。	203,977	198,250	6精査・検証	①介護納付金は、県で支払うこととなったが、納付金に必要な保険料率について、検証していく必要があるため。 ②保険料収納率の向上により、歳入確保に努める。	244,451
272	国保	5	2	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	疾病予防に要する経費	保険年金課			①人間ドック等助成事業や糖尿病性腎症重症化予防事業等により、生活習慣病の重症化予防等を実施する。 ②重症化予防事業について、より疾病リスクが高い健康無関心層の人等が利用につながるよう支援が必要である。	15,784	15,642	6精査・検証	①1人あたり保険給付費は増加しており、生活習慣病重症化予防のため、随時、事業を検証していく必要があるため。 ②重症化予防事業の医療機関紹介者の増加に向けて、医師会内科医へ事業説明と紹介依頼を実施する。	18,755
273	国保	6	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	国民健康保険財政調整基金積立金に要する経費	保険年金課			①保険財政の毎年の変動に対応するため、国民健康保険財政調整基金への積み立てを行う。 ②基金の活用により、納付金や繰越金の変動に対応しており、一般会計からの法定外繰入金解消につながる。	175,329	220,251	6精査・検証	①財政基盤の安定が図られたが、随時、積立額について精査・検証していく必要があるため。 ②国民健康保険の財政基盤を安定させるため、収支状況に応じて適切に積み立てを行う。	1
274	国保	7	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般被保険者保険料(税)還付金等に要する経費	保険年金課			①一般被保険者にかかる国民健康保険料の重複納付・更正減額等による過誤納金の還付事務を行う。 ②遡り喪失等を理由とする更正減額による還付が多数を占めるため、適正な資格管理が課題である。	12,924	8,627	6精査・検証	①保険料の適正賦課のため必要不可欠であるが、適正な資格管理について、検証していく必要があるため。 ②喪失手続きの周知・勧奨や、二重納付防止の対策を講じ、過誤納金の抑制を図る。	15,000
275	国保	8	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般会計繰出金	保険年金課			①国民健康保険特別会計の前年度の決算に伴い、一般会計へ繰出しが必要な場合には、一般会計へ繰出しを行う。 ②前年度、国民健康保険特別会計への法定外繰入が不要となったため、一般会計への返還も無かった。	0	0	6精査・検証	①一般会計への返還は無かったが、繰出額について、検証していく必要があるため。 ②前年度収支状況から適切に繰出を行う。	1

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
276	下水	1	1	1	224上・下水道の整備	公共汚水柵設置に要する経費	下水道課	○		①公共汚水柵等の維持管理及び設置を行う。 ②年々増加する管理施設の維持管理を計画的に行っていく必要がある。	10,112	8,870	6精査・検証	①公共汚水柵の新設設置は減少傾向であるものの、市管理施設総数は年々増加しており、適正な維持管理が必要となるため。 ②水洗化促進を積極的に実施し、生活環境の改善を図る。	
277	下水	1	1	1	224上・下水道の整備	流域下水道維持管理に要する経費	下水道課	○		①本市下水道の放流先である流域下水道の維持管理費を負担するもの。 ②今後負担金単価の改定により、維持管理負担金の増加が予想される。	413,340	408,757	6精査・検証	①県が管理する流域下水道施設の本市負担分であり、今後も継続するため。 ②県の請求に基づき、滞りなく負担金を支出する。	
278	下水	2	1	1	224上・下水道の整備	流域下水道整備に要する経費	下水道課	○		①本市下水道の放流先である流域下水道事業への建設費用を負担するもの。 ②円滑な整備推進のため、県と協議、調整を図りながら進める必要がある。	70,745	64,792	6精査・検証	①県が整備する流域下水道建設費の本市負担分であり、今後も継続するため。 ②県の請求に基づき、滞りなく負担金を支出する。	
279	下水	2	1	1	233防災対策の強化	マンホールトイレ整備事業	下水道課	○	○	①公共下水道整備済区域内で、地域防災計画の避難所に指定されている小中学校に公共下水道直結型マンホールトイレを設置する。 ②マンホールトイレ整備後の、維持管理等の管理区分について、協議調整が必要である。また、整備を進めるために小中学校との協議、調整を図りながら進める必要がある。	22,827	10,919	6精査・検証	①災害時の避難所となる学校にマンホールトイレを設置することにより、避難所の衛生環境の向上とトイレ不足の解消が図られる。 ②マンホールトイレ整備を進めるために小中学校との協議、調整を行う。	
280	下水	3	1	1	224上・下水道の整備	借入金元金償還金に要する経費	下水道課			①公共下水道事業に係る地方債の元金償還金。 ②過年度工事費に係る元金償還金のピークを迎え、全体事業費に対する償還金の割合が増加している。	775,955	766,147	6精査・検証	①下水道事業の整備効果は長年に渡るため、負担の均衡を図ることが適当である。 ②地方債借入額の活用を計画的に行い、適正な下水道経営を図る。	

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
281	下水	3	1	2	224上・下水道の整備	借入金利子償還金に要する経費	下水道課			①公共下水道事業に係る地方債の利子償還金。 ②過年度工事費に係る利子償還金のピークを迎え、全体事業費に対する償還金の割合が増加している。	143,495	122,285	6精査・検証	①下水道事業の整備効果は長期に渡るため、負担の均衡を図ることが適当である。 ②地方債借入額の活用を計画的に行い、適正な下水道経営を図る。	
282	介護	5	2	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	介護予防普及啓発事業に要する経費	健康増進課			①介護予防講座や地区活動で啓発を行うとともに講座参加者からボランティアを育成し介護予防活動の推進を図る。 ②ボランティアを育成し、活動が活性化するように支援する必要がある。	1,330	1,649	6精査・検証	①介護保険法において介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業に位置付けられており、継続していく必要があるため。 ②第三次いきいきプラン健康かまがや21を策定にあたり、健康づくりボランティアと検討する。高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に向けて他課と調整する。	1,900
283	介護	1	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険事務に要する経費	高齢者支援課			①介護保険の事務処理全般にかかる事業経費。 ②介護保険システム関連経費が大部分を占めており、法改正等の都度改修費用がかかる。	61,227	46,645	6精査・検証	①介護保険に係る事務処理全般の管理を行っており、事務を適正に進めていく上で検証を要する。 ②事務経費及びシステム関連経費の削減。	79,001
284	介護	1	2	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険料賦課徴収に要する経費	高齢者支援課			①介護保険電算システムにより介護保険料の賦課・徴収等の処理を行い、出力された帳票をもとに各種事務を行う。 ②高齢化による被保険者の増加に伴い、介護費用も増加している。安定的な財源確保のため、介護保険料も引き上げとなっているが、それによる収納率の低下や滞納保険料額の増加等の悪循環もみられる。	7,075	9,561	6精査・検証	①介護保険の安定的な財源確保のための事業であり、保険料の賦課徴収に関しては、介護保険法に基づき適正に実施するため、検証を要する。 ②介護保険料の収納相談の充実、臨戸の実施及びコンビニ収納の更なる周知により、収納率の向上を図る。	11,129
285	介護	1	3	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護認定審査会に要する経費	高齢者支援課			①介護認定審査会の開催経費。 ②高齢化に伴い審査会数が増加している。	16,167	19,140	6精査・検証	①公平で効率的な審査が出来るよう絶えず検証している。 ②効率的な審査を検討する。	19,990

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
286	介護	1	3	2	112いきいきとした高齢社会の形成	介護認定調査等に要する経費	高齢者支援課			①介護認定審査会に提出する書類(医師の意見書、調査資料)の作成費。 ②高齢化に伴い作成件数が増加している。	35,190	39,732	6精査・検証	①最少の経費で調査資料が作成できるよう絶えず検証している。 ②最少の経費で調査資料が効率的に作成できるよう検討する。	46,073
287	介護	2	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①要介護認定者が介護サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、介護給付の増加が見込まれる。	5,382,783	5,679,690	6精査・検証	①介護サービスの提供により、要介護状態の維持、改善に努め、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	6,142,848
288	介護	2	1	2	112いきいきとした高齢社会の形成	特例介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	40
289	介護	2	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	地域密着型介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①鎌ヶ谷市在住の要介護認定者が市が指定した事業所の介護サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、介護給付の増加が見込まれる。	592,122	611,524	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	678,230
290	介護	2	1	4	112いきいきとした高齢社会の形成	特例地域密着型介護サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	10

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
291	介護	2	2	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①要支援認定者が介護予防サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い給付費の増加が見込まれる。	104,873	112,738	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	128,555
292	介護	2	2	2	112いきいきとした高齢社会の形成	特例介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②過去の実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	20
293	介護	2	2	3	112いきいきとした高齢社会の形成	地域密着型介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①鎌ヶ谷市在住の要支援認定者が市が指定した事業所の予防サービスを利用した費用の保険給付分。 ②高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い給付費の増加が見込まれる。	6,747	5,474	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施。引き続き給付費適正化に努める。	6,601
294	介護	2	2	4	112いきいきとした高齢社会の形成	特例地域密着型介護予防サービス給付費に要する経費	高齢者支援課			①認定の効力が生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由によりサービスを受けた場合等において、サービス給付費を償還払いする。 ②今まで実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	1
295	介護	2	3	1	112いきいきとした高齢社会の形成	審査支払手数料に要する経費	高齢者支援課			①介護サービス等提供事業者からの給付費請求に係る審査支払事務を国民健康保険団体連合会に委託しているため、その手数料経費。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、審査支払手数料も増加するものと思われる。	5,467	5,808	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	6,065

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
296	介護	2	4	1	112いきいきとした高 齢社会の形成	高額介護サービス費に要する経費	高齢者支援課			①被保険者が在宅・施設・地域密着型サービスを利用した月の利用者負担額が上限額を超えた場合支給する。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、高額介護サービス費の増加も見込まれる。	141,842	168,308	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	159,363
297	介護	2	4	2	112いきいきとした高 齢社会の形成	高額介護予防サービス費に要する経費	高齢者支援課			①被保険者が在宅・施設・地域密着型サービスを利用した月の利用者負担額が上限額を超えた場合支給する。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、高額介護サービス費の増加も見込まれる。	163	265	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	273
298	介護	2	5	1	112いきいきとした高 齢社会の形成	高額医療合算介護サービス費に要する経費	高齢者支援課			①医療及び介護の両制度における自己負担額の合計額が高額となった場合に、一定の上限額を超えた分を支給する。 ②高齢化に伴い介護・医療とも給付の増加が見込まれる。	18,579	23,513	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	29,036
299	介護	2	5	2	112いきいきとした高 齢社会の形成	高額医療合算介護予防サービス費に要する経費	高齢者支援課			①医療及び介護の両制度における自己負担額の合計額が高額となった場合に、一定の上限額を超えた場合支給する。 ②高齢化に伴い介護・医療とも給付の増加が見込まれる。	0	0	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	1
300	介護	2	6	1	112いきいきとした高 齢社会の形成	市特別給付費に要する経費	高齢者支援課			①第1号被保険者の保険料を財源として要介護者や要支援者に対し、法律で定められている保険給付以外の鎌ヶ谷市独自の給付サービス。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、当事業の利用者も増えていくことが見込まれる。	1,550	782	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②要望が多かった保険給付外サービスとして引き続き事業を実施し、利用者の日常生活を支援していく。	3,953

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
301	介護	2	7	1	112いきいきとした高 齢社会の形成	特定入所者介護サービス費に要する経 費	高齢者支援課			①負担限度額認定を受けた要介護被保険者が介護保険施設へ入所等サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、基準額と自己負担の限度額との差額を、国民健康保険団体連合会を通じて事業者に支払う。 ②高齢者の増加に伴い、要介護認定者、介護サービス利用者も増加しており、負担限度額認定の対象者数も増加すると思われる。	198,694	209,598	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	219,905
302	介護	2	7	2	112いきいきとした高 齢社会の形成	特例特定入所者介護サービス費に要す る経費	高齢者支援課			①低所得の要介護被保険者が認定の効力の生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由により、介護保険施設への入所等サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、償還払いで支給する。 ②今まで実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	20
303	介護	2	7	3	112いきいきとした高 齢社会の形成	特定入所者介護予防サービス費に要す る経費	高齢者支援課			①負担限度額認定を受けた要支援被保険者が短期入所サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、基準額と自己負担の限度額との差額を、国民健康保険団体連合会を通じて事業者に支払う。 ②高齢者の増加に伴い、要支援認定者、支援サービス利用者も増加しており、負担限度額認定の対象者数も増加すると思われる。	8	126	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	169
304	介護	2	7	4	112いきいきとした高 齢社会の形成	特例特定入所者介護予防サービス費に 要する経費	高齢者支援課			①低所得の要支援被保険者が認定の効力の生じる日より前に、緊急その他やむを得ない理由により、介護保険施設への入所等サービスを利用した際の食費・居住費(滞在費)について、償還払いで支給する。 ②過去の実績はないが、高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施する。	1
305	介護	3	1	1	112いきいきとした高 齢社会の形成	財政安定化基金拠出金に要する経費	高齢者支援課			①介護保険財政の安定化のため、千葉県に設けられた財政安定化基金に国、県、市が3分の1ずつ拠出する。 ②各保険者において適切に給付費等を見込むことにより、交付・貸付が減少しており平成21年度以降、拠出金は0円となっている。	0	0	6精査・検証	①千葉県を通じて、他市の状況を検証する必要がある。 ②介護保険法に基づき適正に事務を進める。	1

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
306	介護	4	1	1	112いきいきとした高 齢社会の形成	予防事業に要する経費	高齢者支援課			①閉じこもり防止により、要介護状態への軽減を図る。 ②事業を担う推進員の高齢化に伴う減少がある。	870	794	6精査・検証	①参加者が安全に人との関わり合いを通して生き生きとし た活動ができるよう検証する。 ②新たな推進員参加者を探す。	858
307	介護	5	1	1	112いきいきとした高 齢社会の形成	介護予防・生活支援サービス事業に要 する経費	高齢者支援課			①要支援認定者、事業対象者が総合事業を利用した費用 の保険給付分。 ②高齢化による要支援認定者、サービス受給者の増加に伴 い、給付費の増加が見込まれる。	210,304	225,324	6精査・検証	①介護サービスの提供により、要支援状態の維持改善に努 め、住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう検証を要 する。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	262,201
308	介護	5	1	2	112いきいきとした高 齢社会の形成	介護予防ケアマネジメント事業に要する 経費	高齢者支援課			①総合事業利用者の介護予防ケアマネジメント費。 ②高齢化に伴い、給付の増加が見込まれる。	26,458	28,353	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要する。 ②介護保険法に基づき継続して実施。	34,811
309	介護	5	2	1	112いきいきとした高 齢社会の形成	介護予防把握事業に要する経費	高齢者支援課			①一般介護予防事業対象者に対する実態把握に関する経 費。 ②実態把握数が少ない。	356	257	6精査・検証	①一般介護予防対象者の増減について絶えず検証する。 ②把握数の増加を図り、事業の周知をしていく。	778
310	介護	5	2	1	112いきいきとした高 齢社会の形成	介護予防普及啓発事業に要する経費	高齢者支援課			①介護予防事業委託費、運動指導講師報償費等。 ②高齢者率増加傾向のため健康意識が高まり介護予防の 事業が必要となる。	4,429	4,664	6精査・検証	①高齢者率増加傾向のため介護予防の意識が高まり、専 門職が関与した事業の必要性が大きいため。 ②今後も委託等で介護予防の講座等を開催する。	6,792

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
311	介護	5	3	2	112いきいきとした高 齢社会の形成	介護サービス適正化事業に要する経費	高齢者支援課			①介護サービス従事者を対象としたスキルアップや情報共有を目的とした研修費。 ②研修の実施回数が少ない。	177	35	6精査・検証	①研修結果について絶えず検証する。 ②研修受講性のニーズに合わせた研修を実施する。	201
312	介護	5	3	2	112いきいきとした高 齢社会の形成	家族等支援事業に要する経費	高齢者支援課			①高齢者本人並びに家族等の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目的とした事業(徘徊高齢者位置情報提供サービス、見守りシールの提供等)。 ②サービス利用者が少ない。	637	988	6精査・検証	①利用者の増減について絶えず検証する必要があるため。 ②各事業の普及及び必要と思われる対象者の発掘。	1,486
313	介護	5	3	2	112いきいきとした高 齢社会の形成	成年後見人制度利用支援事業に要する経費	高齢者支援課			①市長申立て事務、後見人報酬助成、市民後見人養成研修委託費等、後見制度の利用促進に伴う事務費や助成。 ②後見制度が周知されていない。	2,024	2,834	6精査・検証	①市長申立ての必要性に関して、対象者ごとの精査・検証が必要。 ②他課、他機関と連携し、後見制度の利用促進をしつつも、対象者ごとに事業利用の必要性を確認する。	3,903
314	介護	5	3	2	112いきいきとした高 齢社会の形成	福祉用具・住宅改修支援事業に要する経費	高齢者支援課			①住宅改修について専門職が助言や指導を行う。また、虚弱高齢者に対し手すりの設置費用の助成を行う。 ②高齢化に伴い、給付の増加が見込まれる。	83	150	6精査・検証	①自宅での生活が円滑となる、効果的な住宅改修が行えるように検証が必要である。 ②今後も継続して事業を実施する。	210
315	介護	5	3	2	112いきいきとした高 齢社会の形成	地域自立生活支援事業に要する事業	高齢者支援課			①在宅1人暮らし高齢者等に対して栄養相談における管理栄養士によるアセスメント結果に基づいて配食サービスを提供することにより、在宅生活が維持できるよう支援する。 ②高齢化に伴い、給付増加が見込まれる。	4,798	4,005	6精査・検証	①既存の組織等を活用しながら、地域に不足するサービスの検証を行う必要があるため。 ②今後も継続して事業を実施する。	5,911

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
316	介護	5	3	2	112いきいきとした高齢社会の形成	認知症総合支援事業に要する経費	高齢者支援課			①認知症について理解を深め、認知症の方、またその家族が住みやすい地域づくりを目指す事業(認知症カフェ、認知症初期集中支援チーム、認知症推進員等)。 ②各事業における市民からの認知度が低い。	3,230	4,601	6精査・検証	①各事業において、対象者数の増減や実施内容について、常に検証する必要があるため。 ②認知症に関する啓発事業や、相談事業を充実させる。	7,133
317	介護	5	3	3	112いきいきとした高齢社会の形成	在宅医療・介護連携推進事業に要する経費	高齢者支援課			①相談窓口の運営、多職種の講演会・研修を実施。 ②研修会を実施することで連携、支援体制を強化していく必要がある。	2,842	3,800	6精査・検証	①相談窓口の運営方法、研修結果について絶えず検証する。 ②相談窓口機能の強化、多職種のネットワークの構築を図る。	5,721
318	介護	5	3	4	112いきいきとした高齢社会の形成	生活支援体制整備事業に要する経費	高齢者支援課			①地域資源の開発支援・支援者の養成、ネットワークの構築。 ②地域での問題解決能力を高めていく。	4,176	6,447	6精査・検証	①地域資源の開発支援・支援者の養成、ネットワークの構築を検証し、次年度に活かしていく。 ②介護保険法に基づき事業を継続する。	9,217
319	介護	6	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	介護保険財政調整基金積立金に要する経費	高齢者支援課			①介護保険事業の財政運営を安定的に行えるよう基金を設置し、事業運営の中で生じる剰余金を当該基金に積み立てる。 ②介護保険財政が安定的に運営できるよう、剰余金については毎年度積立てを行っている。	272,796	233,168	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②計画値と実績値の検証を行い、剰余金の発生を最小限に留める必要があるが、剰余金が発生した場合は財政調整基金に積み立て、介護保険運営に役立てていく。	1
320	介護	7	1	1	112いきいきとした高齢社会の形成	第1号被保険者保険料還付金に要する経費	高齢者支援課			①過年度分の還付発生者に対し、保険料の還付を行う。 ②高齢化による被保険者の増加により、還付金発生者の増加も予想される。	1,195	1,012	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要する。 ②介護保険法に基づき事業を継続する。	1,650

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
321	介護	7	1	2	112いきいきとした高齢社会の形成	国庫支出金等過年度分返還金に要する経費	高齢者支援課			①前年度の介護給付費に対し、交付を受けた負担金及び交付金に超過交付があった場合に返還する。 ②過去の実績や事業量の見込みから介護給付費の算定を行い交付申請をしたが、決算に伴い返還金が生じたため返還を行った。	26,649	2,787	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②介護保険費用等積算については、計画値と実績値の検証を行い返還金を最小限にしておく。	10,000
322	介護	7	1	3	112いきいきとした高齢社会の形成	第1号被保険者還付加算金に要する経費	高齢者支援課			①過誤納となった保険料に対し還付加算金を加えて還付する。 ②高齢化による被保険者の増加により、還付金発生数の増加も予想される。	1	2	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要する。 ②介護保険法に基づき事業を継続する。	30
323	介護	7	1	4	112いきいきとした高齢社会の形成	高額介護サービス費貸付金に要する経費	高齢者支援課			①介護サービス費の支払いに困窮する者に対し、高額介護サービス費の支給見込額の範囲内で無利子で貸付を行う。 ②過去の実績はないが、高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、発生する可能性はある。	0	0	6精査・検証	①対象者の把握について検証を要する。 ②介護保険法に基づき、生活困窮者が安心して介護サービスが利用できるよう、引き続き実施する。	10
324	介護	7	2	1	112いきいきとした高齢社会の形成	一般会計繰出金	高齢者支援課			①当該年度の介護給付費見込額等に基づき一般会計から市の負担分を繰り入れ、翌年度において負担超過分の精算を行う。 ②過去の実績や事業量の見込みから介護給付費の算定を行い一般会計から市負担分の繰入を行ったが、決算に伴う市負担額の確定により一般会計への繰出を行った。	38,728	0	6精査・検証	①保険給付内容の精査、検証を要する。 ②決算に伴う会計処理であるため、引き続き実施していく。	1
325	後期	1	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者の資格・給付に要する経費	保険年金課			①後期高齢者医療の被保険者証の交付・高額療養費・療養費・葬祭費等の申請を受付、広域連合へ送付する。 ②被保険者の増加に伴い、給付申請も増加しているため、迅速に事務処理を進める必要がある。	5,587	5,558	6精査・検証	①高齢者の医療の確保に関する法律に基づき実施しているが、業務手法等は随時、検証していく必要がある。 ②被保険者が必要な給付を受けられるよう、各種申請、届出の受付及び認定証等の交付事務を確実に実施していく。	5,935

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
326	後期	1	2	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療保険料の徴収に要する経費	保険年金課			①後期高齢者医療広域連合が決定した保険料を、被保険者に通知し、徴収を行う。 ②特別徴収は、開始まで約半年かかり、非該当の場合、納付書払いとなり収め忘れが発生する場合がある。	14,462	13,152	6精査・検証	①広域連合条例に基づき実施しているが、収納率向上に向け、随時、検証していく必要がある。 ②保険料の納付方法に関して、特別徴収を原則とし、口座振替併用を推進し、納め忘れ防止に努める。	15,579
327	後期	2	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	広域連合納付金に要する経費	保険年金課			①市が徴収した保険料や、保険基盤安定制度に係る県と市の負担分等を後期高齢者医療広域連合に納付する。 ②保険基盤安定制度については、被保険者の増加により予測が困難となっている。	1,263,429	1,315,978	6精査・検証	①保険基盤安定制度は、広域連合の試算に基づき予算を組んでいるが、随時、検証していく必要がある。 ②定期的な保険料徴収状況の確認を行うことで適切な保険料納付額を算定する。	1,441,104
328	後期	3	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	後期高齢者医療保険料還付に要する経費	保険年金課			①後期高齢者医療保険料の重複納付・更正減額等による過誤納金の還付事務を行う。 ②所得変更や資格の喪失に伴い発生するため、適正な資格管理と所得把握が課題である。	1,646	1,430	6精査・検証	①保険料更正後に迅速に事務処理を実施しているが、業務手法等は随時、検証していく必要がある。 ②所得変更や資格の喪失など、迅速かつ的確な事務処理を行う。	2,970

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
329	後期	3	2	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	一般会計繰出金	保険年金課			①後期高齢者医療特別会計の前年度の決算に伴い、事務費繰入額の超過分を一般会計へ繰出しを行う。 ②被保険者の増加に伴い、事務費も増加傾向にあるが、予備費が含まれるため、繰出額は増減する。	6,756	4,890	6精査・検証	①前年度の事務費により繰出し額は決定するが、随時、検証していく必要がある。 ②前年度収支状況から適切に繰出しを行う。	1
「5 拡充(重点的に資源を配分し、規模を拡大する)」:52事業															
1	一般	2	1	8	144世界と結びつく国際化の促進	多文化共生・国際化に要する経費	企画財政課			①第二次多文化共生推進計画に基づき、外国人住民にも住みやすい環境作りや市民の国際化に資する取組を進めていくもの。 ②第二次多文化共生推進計画に掲げた取組の推進、多文化共生推進連絡協議会との連携強化。	1,851	1,701	7拡充	①入管法改正により外国人住民数の増加が見込まれる中、多言語に係る取組を推進していく必要があるため。 ②引き続き多文化共生推進連絡協議会と連携していくとともに、行政資料等の翻訳を行い、外国人住民の生活環境を整える。	2,320
2	一般	2	1	8	412効率的で健全な行財政運営の推進	総合基本計画策定事業	企画財政課	○	○	①現行の総合基本計画が、令和2年度で終了することを受け、令和3年度から令和14年度までを計画期間とする総合基本計画を新たに策定するもの。 ②人口減少対策や少子高齢化対策など今後解決すべき課題を踏まえ、次期総合基本計画を策定する必要がある。	9,890	181	7拡充	①庁内の検討、市民等との意見交換、審議会への諮問・答申、市議会への意見照会を踏まえ、次期基本計画を策定していく必要があるため。 ②次期基本計画について、計画(案)を策定後、総合基本計画審議会への諮問、市議会への意見照会、パブリックコメント、市民グループとのヒアリング等を踏まえて、策定する。	13,047
3	一般	13	2	1	412効率的で健全な行財政運営の推進	財政調整基金積立に要する経費	企画財政課			①予期しない収入減少や支出増加等に備え、長期的視野に立った財政運営を行うため、基金に積立を行うもの。 ②年度末残高「18億円以上」という目標を上回る基金残高であるが、引き続き目標をクリアする必要がある。(30年度末残高:約25億円)	1,315,497	980,812	7拡充	①少子高齢化等による不透明な財政状況も考慮のうえ、可能な限り基金残高を増やしておく必要があるため。 ②標準財政規模の10%である18億円以上の年度末基金残高を確保する。なお、次期財政健全化計画の策定を行う中で基金残高の目標水準について検討する。	99
4	一般	13	2	2	412効率的で健全な行財政運営の推進	減債基金積立に要する経費	企画財政課			①地方債の償還に必要な財源を計画的に確保するため、基金に積立を行うもの。 ②公債費の増が見込まれているため、計画的かつ確実な積立が必要である(30年度末残高約23億円)。	301,212	300,804	7拡充	①将来的な公債費の増額に対応するため、基金残高を確保しておく必要がある。 ②「地方債の総合的管理方針」に基づき、減債基金への積立を確実にを行う。	50,222

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
5	一般	13	2	3	412効率的で健全な 行財政運営の推進	公共施設整備基金積立に要する経費	企画財政課			①公共施設の計画的かつ効率的な整備及び維持管理を行うため、基金に積立を行うもの。 ②「公共施設の長寿命化方針」に基づき、積極的な積立を行う必要がある(30年度末残高約5億円)。	150,173	230,149	7拡充	①「公共施設の長寿命化方針」に基づき、予防保全に対応するため、一定程度の基金残高を確保しておく必要がある。 ②「公共施設等総合管理計画」を踏まえた財源対応を図るため、積立を行う。	49
6	一般	3	1	6	115安心して暮らせる 社会保障の充実	後期高齢者保健事業に要する経費	保険年金課	○		①実施主体である広域連合との委託契約により、市が健康 診査等を実施する。 ②健康診査等の受診率の向上が課題である。	50,357	53,463	7拡充	①毎年、被保険者が増加しており、さらに人間ドック等助成 事業や健康診査など医療費抑制のため保健事業を推進し ていく必要がある。 ②健康診査や歯科口腔健診、人間ドック等助成事業の受診 率向上の取り組みとあわせ、重症化予防事業を行う。	62,850
7	一般	7	1	2	333活力ある工業の 育成	企業誘致基本計画推進事業	商工振興課	○	○	①企業誘致基本計画、企業誘致促進条例及び施行規則に 基づき、プロジェクトマネージャーを活用した企業・地権者訪 問などを実施するとともに、企業立地奨励金等を活用し、企 業誘致の促進を図る。 ②企業の市内への進出意欲を高め、その後押しとなるよう、 マッチングシステムを活用し、用地を確保する必要がある。 また、インフラ整備や用途変更など、企業誘致のためには、 ハード面とソフト面の両輪の施策で取り組んでいく必要があ る。	1,948	2,485	7拡充	①プロジェクトマネージャーを積極的に活用し、企業誘致施 策を展開していく必要があるため。 ②不動産会社との連携に加え、金融機関との連携も強化し ていく。	5,087
8	一般	2	1	9	411地方分権と市民 参加の推進	協働の推進に要する経費	市民活動推進課	○		①協働の推進を図るため、「鎌ヶ谷市 市民との協働戦略ブ ラン(改訂版)」に基づき、各施策を展開する。 ②市民と市の協働により地域の課題を解決するため、さらな る市民団体との役割分担による事業の実施や、市民団体の 活動支援を行う必要がある。	2,004	2,124	7拡充	① 少子高齢化や地方分権の進展などに伴い多様化する 地域課題の解決のため、協働の重要性が高まっている。新 しい生活様式に対応した活動を支援するため、オンライン講 座の実施や補助金制度の見直し等を行い、協働促進を図る 必要がある。 ② 市民公益活動事業のさらなる推進のため、「市民活動 応援補助金」の活用促進を図る。また、次期「市民との協働 戦略プラン」の策定に向けたプロポーザルを実施し、令和3 年度からの計画に向けて事業者と協力して計画の策定を行 う。	10,051
9	一般	2	1	9	411地方分権と市民 参加の推進	市民活動推進センターの管理運営に要 する経費	市民活動推進課	○		①市民活動推進センターを拠点とし、講座やイベントの実 施、情報発信等を通じて市民活動の推進を図る。 ②市民活動推進センターのさらなる利用促進を図る必要が ある。	3,646	4,052	7拡充	① 市民活動を推進するための講座等の充実を図るととも に、市民活動・男女きらりフェスタを市民公益活動団体を中心 とした実行委員会の主催とすることで、市民活動に興味 のある人材の活躍の場とした。今後は、オンラインを活用し た講座やイベント等の実施や情報発信が可能となるよう環 境整備を行う。 ② 「地域づくりコーディネーター認定制度」の運用により、 コーディネーターの効果的な育成を図るとともに、「地域づく りコーディネーター」の実践活動の支援を行う。	5,026

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
10	一般	2	1	9	143男女共同参画社会づくり	男女共同参画推進センターの管理運営に要する経費	市民活動推進課	○		①男女共同参画推進センターの運営、男女共同参画の推進を図るための講座や啓発事業を実施する。 ②男女共同参画推進センターのさらなる利用促進を図る必要がある。	7,644	6,323	7拡充	① 男女共同参画を推進するため、講座や啓発事業の充実を図るとともに、市民活動・男女きらりフェスタを市民公益活動団体を中心とした実行委員会の主催とすることで、男女共同参画に興味のある人材の活躍の場とした。 ② 庁内における男女共同参画意識を推進するため、市管理職を対象とした男女共同参画研修を実施する。	6,540
11	一般	2	1	13	141個性豊かなコミュニティづくり	コミュニティセンター等改修事業	市民活動推進課	○	○	①公共施設の長寿命化計画に基づき、経年劣化した施設の外壁、屋上防水、空調設備の改修を行うもの。 ②各施設の老朽化が進む中、不具合や故障が発生する前に予防的な改修を行うことにより、経費の抑制を図ることが課題となっている。	10,400	17,858	7拡充	①公共施設の長寿命化計画に基づき、今後も計画的な改修が必要となるため、令和3年度は、鎌ヶ谷コミュニティセンター外壁等改修工事を計画している。 ②前年度から実施している粟野コミュニティセンター空調機改修工事を行う他、鎌ヶ谷コミュニティセンター外壁等改修工事設計委託を行う。	31,690
12	一般	2	1	11	232防犯対策の促進	防犯対策に要する経費	安全対策課	○		①犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進するため、防犯灯の維持管理、防犯カメラの運用、鎌ヶ谷市防犯協会との連携を行う。 ②防犯灯管理・LED化推進事業において、LED灯交換工事等を円滑に実施する必要がある。	80,596	79,635	7拡充	①環境負荷の低減、電気料金の削減、自治会等の防犯灯管理団体の事務軽減等のため、拡充が必要であることから、防犯灯管理・LED化を推進する。 ②防犯灯管理・LED化推進事業において、LED灯交換工事及び電力会社への減設等申請、独立柱建替・撤去工事を行い、これらの工事の調整及び履行確認を行う。	9,566
13	一般	3	1	2	111地域で支えあう福祉社会の形成	総合福祉保健センターの管理に要する経費	社会福祉課			①総合福祉保健センターの維持管理、補修等を行い施設の安全面等の確保を図る。 ②平成26年度に大規模改修を実施したが、設備の経年劣化も見られ、計画的な設備の改修更新が必要。	39,616	34,144	7拡充	①施設開設から30年が経過しており、公共施設の長寿命化に関する基本方針に基づき、施設の延命化を図っていくが、安全性及び利便性の拡充の観点から、今後、エレベーターリニューアル工事を実施していく必要がある。 ②経年劣化した設備等の修繕を行うなど施設の安全面を確保する。	44,213
14	一般	3	2	1	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	家庭児童相談に要する経費	こども支援課	○		①家庭児童相談及び支援対象児童等への対応、鎌ヶ谷市児童虐待防止対策等地域協議会の運営を行う。 ②子どもの養育環境の悪化や生活の多様化により、児童虐待や養育に困難が生じている家庭が増加していることから、対応する職員の専門的な知識を向上させるとともに、きめ細やかな支援が必要になる。	12,215	16,087	7拡充	①相談対応件数は、近年増加傾向にあり、子どもを守る上では、引き続き、児童虐待防止対応の強化を図る必要がある。 ②児童福祉法等の改正に伴い、「千葉県子ども虐待対応マニュアル」を改定したことから、本市においても児童虐待対応を迅速に行うため、「鎌ヶ谷市子ども虐待予防・対応マニュアル」の改定を行う。	19,624

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
15	一般	3	2	5	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	放課後児童クラブの管理運営に要する経費	こども支援課	○		①保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校就学児童に、授業の終了後に適切な遊びと生活の場を与えて、その健全な育成を図る。 ②利用児童数の増加に対応するとともに、安定的な運営を行う必要がある。	187,528	199,750	7拡充	①児童数が増加するなかにおいても、子どもが安全に安心して放課後を過ごすことができる場の提供を行うとともに、健全な育成を図るため、安定的な運営及びサービスの向上を図る必要がある。 ②令和2年度から放課後児童クラブの運営については、全て委託となったことから、定期的にクラブの運営状況を確認するほか、必要に応じて運営方法について協議を行う。	230,929
16	一般	3	2	5	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	放課後児童クラブ整備・改修事業	こども支援課	○	○	①「放課後児童健全育成事業の整備及び運営に関する基準を定める条例」に基づき、放課後児童クラブの施設整備・改修を行う。 ②児童数の増加に対応するとともに、学校敷地外に設置しているクラブについては、学校敷地内の整備を実施していく必要がある。	10,013	114,781	7拡充	①児童数の増加に対応するとともに、引き続き、放課後児童クラブの環境整備を図っていく必要がある。 ②北部小学校及び道野辺小学校の放課後児童クラブについて、施設の老朽化に伴い、児童の安全性及び利便性を踏まえ、施設改修を実施する。	30,432
17	一般	3	2	5	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	(仮称)東部地区児童センター設置事業	こども支援課	○	○	①児童センターが未整備となっている東部地区に、(仮称)東部地区児童センターの整備し、地域のすべての児童が、健全な遊びを通じて、健康増進と情操を豊かにする。 ②建設用地を所得するため、地権者及び県と調整を行う必要がある。		769	7拡充	①東部地区児童センターを整備するため、用地を取得し、令和3年度に実施設計を実施できるよう、準備を進める。 ②用地購入に向けて、基本設計及び事業認可の認定手続きを行い、用地を取得する。	147,946
18	一般	3	2	1	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	児童総務事務に要する経費	幼児保育課			①保育認定を受けた子どもにおいて必要な助成を行う。 ②必要な方に適正な助成を行うため、周知を行う必要がある。	6,866	11,822	7拡充	①幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳以上児の認可保育所等の保育料無償化に加え、認可外保育所・一時預かりの利用料も無償化されたことで、認可外、一時預かり事業の利用料助成を実施したため。 ②前年度調査に基づき、園外活動道路安全対策工事を実施する。	13,315
19	一般	3	2	1	113健やかに子どもが育つ児童福祉の推進	民間保育所等の補助に要する経費	幼児保育課			①民間保育所等の運営に補助を行う。 ②保育需要が増加するなか、保育の質を確保しながら、受入れ量を確保することにより、待機児童の解消を図る必要がある。	265,728	303,026	7拡充	①国の補正予算に柔軟に対応することにより、当初計画外の事故防止、コロナ対策等補助を実施したほか、新規保育所の開設により国・県補助対象事業費が増加したため。今後、国・県補助基準額の改正及び事業者からの要望により増額が想定される。 ②国の緊急補正に伴う事業者が必要とする補助に対し、補正予算等により的確、柔軟に対応する。	398,894

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
20	一般	3	2	1	131豊かな人間性を 育む幼児教育の充 実	私立幼稚園等に要する経費	幼児保育課			①幼稚園保育料及び運営費に関する補助を行う。 ②幼児教育保育の無償化に伴い事業者と協議の上、遅滞 なく補助、助成を実施する必要がある	261,916	373,626	7拡充	①幼児教育・保育の無償化に伴い必要な補助・助成を実施 し、保護者の所得に応じ支給していた就園奨励費から、無 償化により所得にかかわらず利用費を支給することとなり、 また、預かり保育利用料も助成対象となったため。 ②前年度実績に基づき事務、予算等を精査し事業の精度を 向上させる。	637,704
21	一般	3	2	2	113健やかに子ども が育つ児童福祉の 推進	地域型保育給付に要する経費	幼児保育課			①小規模保育事業施設等に入園している児童の給付費を 支払う。 ②保育需要が増加するなか、事業者へ積極的な入所を働き かけ、待機児童の解消を図る必要がある。	300,570	396,757	7拡充	①小規模保育事業の利用率が増加しているとともに、新規 事業所が開設され、施設数が9園から10園となったため。 なお、令和2年度から6年度までは3号認定の利用率上昇 が見込まれている。 ②利用率の上昇に基づく予算措置を的確に実施する。	465,534
22	一般	3	2	2	113健やかに子ども が育つ児童福祉の 推進	施設型給付に要する経費	幼児保育課			①公立保育園以外の保育所に入園している児童の給付費 を支払う。 ②保育需要が増加するなか、事業者へ積極的な入所を働き かけ、待機児童の解消を図る必要がある。	798,479	886,920	7拡充	①民間保育事業の利用率が増加しているとともに、新規事 業所が開設され、施設数が7園から8園となったため。な お、令和2年度から6年度までは2・3号認定の利用率上昇 が見込まれている。 ②利用率の上昇に基づく予算措置を的確に実施する。	947,252
23	一般	3	2	4	113健やかに子ども が育つ児童福祉の 推進	市立保育園の管理運営に要する経費	幼児保育課	○		①市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう管理運営 を行う。 ②保育士を安定的に確保することにより、保育の質の向上 を図る必要がある。	339,815	330,579	7拡充	①引き続き保育士の確保、保育の質の向上を図る必要が ある。また保育士を安定的に確保することにより、保育の質 の向上を図る必要がある。 ②保育士派遣委託により必要な保育士を確保する。	351,042
24	一般	3	2	4	113健やかに子ども が育つ児童福祉の 推進	保育園改修事業	幼児保育課	○	○	①市立保育園が良好な保育環境を維持できるよう施設の改 修を行う。 ②施設の老朽化に伴う改修を要する箇所の増加。	3,715	62,944	7拡充	①市立保育園の良好な保育環境を維持するため、絶えず 検証しており、施設の長寿命化を図るべく、トイレのほか計 画的な改修工事をはじめ、次年度の改修に向け各種工事 の設計委託を実施したため。 ②実施計画に基づき事業を実施する。施設の老朽化に伴う 長寿命化について検証する。	43,310

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
25	一般	3	1	4	114社会参加に向けた障がい者(児)福祉の推進	地域生活支援事業に要する経費	障がい福祉課			①市の事業となる地域生活支援事業(相談支援事業等の委託、日常生活用具の給付や移動支援・日中一時支援、福祉タクシーの助成等)を実施して障がい者の支援を行う。 ②多様化する障がい者のニーズに対応し事業を進めていく必要がある。	98,410	108,711	7拡充	①障害者手帳の所持者が増加傾向にあり、これに伴い地域生活支援事業の利用が増加することが見込まれる。これまで、社会参加や在宅生活を支援するための移動支援、日常生活用具給付などのサービスが増加傾向にある。 ②複雑化・多様化する障がい者のニーズに対応するため、必要なサービスを提供するとともに、関係機関との連携を強化する。	133,554
26	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	都市軸形成促進事業	都市計画課	○	○	①都市軸の一翼を担う初富駅周辺地区において、都市基盤整備の必要性を明らかにし、計画的な市街地の形成を図る。 ②初富駅周辺整備事業は、用地の確保や建物移転等が伴うため、関係住民の理解と関係機関との調整が必要である。	49,518	37,543	7拡充	①初富駅前広場等の整備は、新京成線連続立体交差事業の事業効果を高めるための関連事業として、また市の都市基盤としての整備、通学路の安全性を高める側面から推進する必要があるため。 ②国の交付金を活用し、事業を推進する。なお、推進にあたっては、地権者の協力と、関係機関との調整が必要である。	32,612
27	一般	8	4	2	313質の高い既成市街地の整備	近隣商業拠点整備事業	都市計画課	○	○	①近隣商業拠点の一つである北初富駅周辺地区において、市民の日常生活に身近な商業等のサービス機能の充実を目指し、駅前広場等の整備に向け事業を推進している。 ②北初富駅前広場の整備に向けて、関係機関との協議や関係地権者との交渉を引き続き行い、検討をしていく必要がある。	0	1,958	7拡充	①北初富駅前広場の整備について、新京成線連続立体交差事業による高架運行が開始されたことから、整備に向け更なる推進が必要となるため。 ②北初富駅前広場の整備に関し、関係機関との協議を継続し、整備方針を決定する。また、駅前広場に係る測量及び設計の実施や用地の取得に向けた関係地権者との交渉を継続する。	3,600
28	一般	8	2	3	321安全でゆとりある道路の整備	主要市道整備事業	道路河川整備課	○	○	①安全で快適な道路網整備のため、主要市道における歩道の整備、危険個所の線形改良、排水整備、舗装改良を実施し、歩行者等の安全と交通の円滑化を図る。 ②市の主要な道路でも、歩道が無い箇所や狭い箇所が多く、交通量に見合った幅員や舗装構成になっていない。	85,501	108,182	7拡充	①市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げるため、主要市道の整備は不可欠であるため。 ②国の交付金を活用し事業を進めるとともに、用地取得済み箇所については簡易舗装を行い、歩行者空間を確保する。	214,886
29	一般	8	2	3	321安全でゆとりある道路の整備	交差点改良事業	道路河川整備課	○	○	①安全で快適な道路網整備のため、主要な交差点の右折車線、歩道の整備、交差点形状の改良を行い交通渋滞の緩和、交差点付近の安全性の向上を図る。 ②幅員が狭く見通しの悪い市道の交差点が多い。	15,919	41,488	7拡充	①交差点改良の要望が多く、市民の安全のため早期に交差点改良を行う必要があるため。 ②交差点の安全性を早期に向上させるため、工事予定箇所の早期発注を行う。	74,312

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
30	一般	8	2	3	321安全でゆとりある道路の整備	一般市道整備事業	道路河川整備課	○	○	①道路排水施設の整備、舗装新設、狭あい路線の拡幅を行い地域住民の利便性と生活環境の向上を図る。 ②道路排水施設の未整備箇所、舗装の不良箇所が多い。	4,752	30,434	7拡充	①市民意識調査の「道路の状況」不満足度を下げするため、一般市道の整備は不可欠であるため。 ②事業効果の高い一般市道を選定し、効率的に工事を実施する。	37,597
31	一般	8	2	3	133児童・生徒の健康と安全の確保	通学路整備事業	道路河川整備課	○	○	①児童・生徒が安全に通学できるよう、歩道のない通学路に歩道を整備し、登下校における安全性の向上を図る。 ②道路の拡幅など中長期的な時間を要する要望に対しては、まずは代替的な対策で対応せざるを得ない。	61,694	67,459	7拡充	①児童生徒の通学路の安全性を早期に向上させる必要があるため。 ②優先順位を見極めながら、用地取得を進めていく。	153,070
32	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	準用河川整備事業	道路河川整備課	○	○	① 流下能力の向上と護岸の保護のための暫定改修や、1時間あたり50mmの降雨に対応した河川の改修を行う。 ② 河川改修は下流から行うのが原則であるため、現時点で最も効果のある箇所を選定し、将来の整備に後戻りの無いよう実施する必要がある。	366,419	298,396	7拡充	①浸水被害により、市民の生命・財産に被害が及ぶ恐れがあり、速やかに河川改修を行う必要性があるため。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所を選定を行う。	533,515
33	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	地域排水整備事業	道路河川整備課	○	○	① 地域排水施設の能力不足や未整備であるものについて、下流への影響を考慮しつつ、河川・水路までの施設整備を行う。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能且つ効果のある場所を選定しなければならない。	34,090	130,091	7拡充	①治水対策として有効な事業であることから、放流先の整備状況や費用対効果を考慮し、事業を進める必要があるため。 ② 浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所を選定を行う。	84,910
34	一般	8	3	3	223うるおいある河川・水路の整備	雨水貯留池整備事業	道路河川整備課	○	○	①大雨時における流出抑制のための貯留池整備を行う。 ②浸水被害の軽減を図るため、道路冠水や浸水被害等のデータを基に整備可能且つ効果のある場所を選定しなければならない。	126,968	53,224	7拡充	① 放流先の河川整備が進まない中で、浸水被害のデータを基に整備可能且つ効果のある場所を選定しなければならない。 ②浸水被害の軽減のため、整備は現時点で可能な最も効果のある箇所を選定を行う。	44,074

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
35	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	都市計画道路3・4・5号船橋我孫子バイパス線整備事業	道路河川整備課	○	○	①県道船橋我孫子線のバイパスとしての都市計画道路であり、市域東側の主動線を確保し、県が事業主体となり事業を施行する。 ②境界が未確定の箇所があり、確定させる必要がある。	7,146	7,053	7拡充	①機能的な道路ネットワークの構築や利用者の利便性・安全性の向上を図るべく道路の完成を目指す必要があるため。 ②用地に関する情報について、千葉県と情報共有を図りながら、効率的に用地取得を進める。	4,694
36	一般	8	4	3	322利便性の高い公共交通体系の充実	新京成線連続立体交差事業	道路河川整備課	○	○	①本市の東西を走る新京成線を高架化し、踏切遮断による交通渋滞や市街地の分断等を解消する目的で、県が事業主体となり事業を実施する。 ②旧踏切、仮線などがあり、市街地が分断されている。	529,124	399,272	7拡充	①市街地の分断解消に向け、早期完成が必要であるため。 ②早期に周辺整備工事に着工できるよう仮線撤去工事を進める。	437,031
37	一般	8	4	3	321安全でゆとりある道路の整備	新鎌ヶ谷西側地区都市計画道路整備事業	道路河川整備課	○	○	①当該都市計画道路の整備により、新鎌ヶ谷地区内に発生する集中交通を円滑に処理する。 ②当該都市計画道路は東西にアクセスする道路が無いため、早期に事業を進めていく必要がある。	51,922	87,467	7拡充	①市内中心部の交通を円滑に処理し、道路利用者の安全性や利便性の向上を早急を図る必要があるため。 ②事業進捗のため、より多くの交付金を活用できるよう、関係機関との連携強化を図る。	179,947
38	一般	8	5	2	221良好な住宅の整備	空家等対策事業	建築住宅課	○	○	①空家等対策計画に基づき、空家等の適正な管理の推進とあわせ、空家等の有効活用といった視点も含め、総合的かつ計画的な空家等対策を実施する。 ②空家等の所有者の死亡により、相続人の存否不明な場合や、法定相続人全員が相続放棄するなど、管理不全な空家等が放置されるケースが増加傾向にある。	4,147	1,166	7拡充	①生活環境の保全及び防犯のまちづくりを推進するため、空家等の適正な管理の推進と量の抑制に取り組む必要がある。 ②空家等対策計画に掲げる「市全域における空家等総数の減少」を成果目標とし、計画に基づく施策の遂行に取り組む。	715
39	一般	8	4	4	224上・下水道の整備	公共下水道事業特別会計繰出金	下水道課	○	○	①公共下水道事業に際し、自主財源及び借入金等の不足を賅い、公共下水道の普及促進を図る。 ②計画的に下水道事業を進めるため、財源の拡充を図ることが必要である。	511,609	425,009	7拡充	①市民の生活環境や公衆衛生の向上を図るため、公共下水道の整備を計画的に進める必要がある。 ②建設費のコスト縮減と受益者負担金及び下水道使用料の徴収率向上により繰出金の抑制に努める。	

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取り組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
40	一般	8	4	5	222快適な公園・緑地環境の整備	公園維持管理に要する経費	公園緑地課	○		①都市公園及びふれあいの森の清掃、除草、樹木剪定、施設の管理及び維持工事等を実施する。 ②都市公園やふれあいの森の箇所数の増加や既存施設の老朽化に伴う維持管理費が増加している。	149,631	209,062	7拡充	①公園管理において、多くの地域住民が公園サポーターとして参加することで、公園に対する愛着と意識を高める必要があるため。 ②引き続き、公園サポーターとのコミュニケーションを大切に、各公園の状況などに応じた管理を行う。	167,107
41	一般	8	4	5	222快適な公園・緑地環境の整備	街区公園整備事業	公園緑地課	○	○	①街区公園整備のための用地取得、実施設計及び整備工事などを実施する。 ②用地先行取得の買戻しには期限があり、財源となる国費の確保が課題。	92,490	216,142	7拡充	①緑の将来像の実現に向けて、市民一人当たり公園面積の目標水準を目指し、整備を進めていく必要があるため。 ②鎌ヶ谷一丁目、丸山三丁目ふれあいの森の用地買戻し、旧第一学校給食センター跡地の公園整備等を実施する。	173,949
42	一般	8	4	5	222快適な公園・緑地環境の整備	公園施設長寿命化事業	公園緑地課	○	○	①公園施設の長寿命化計画に伴い、計画的な維持管理を行うことにより、安全の確保と、維持管理予算の平準化を図る。 ②施設の老朽化が進む中、修繕・更新費用の平準化を図り、計画的に事業を進めることが課題。	11,328	29,957	7拡充	①安心、安全な公園を目指し、公園施設の老朽化に対応した更新を実施していく必要があるため。 ②引き続き、長寿命化計画を基に維持管理を実施する。	35,510
43	一般	10	3	1	132生きる力を育てる義務教育の充実	義務教育施設楽器更新事業	教育総務課	○	○	①小中学校において、購入から年数が経過し、老朽化が進んでいる楽器の更新を行う。 ②学校施設における楽器については老朽化が著しいことから、計画的に更新を行っていく必要がある。	4,234	5,948	7拡充	①引き続き、計画的に更新していく必要があるため。 ②2年度は、中学校5校の楽器更新を行うとともに、令和元年度にリース方式により更新した全小中学校のグランドピアノについて、賃借料の支払いを行う。	10,556
44	一般	10	5	3	133児童・生徒の健康と安全の確保	学校給食運営に要する経費	学校教育課	○		①市内小中学校14校に対し、安全で魅力ある学校給食を安定的に提供し、児童生徒の健康増進を図るとともに、食に対する理解を深める。 ②食物アレルギーのある児童・生徒が、他の子どもたちと同じように学校給食を楽しめることを目指して、食物アレルギー事故の防止に努め除去食を提供する。	851,600	837,677	7拡充	①食物アレルギー対応の除去食については、小学校に引き続き、中学校への提供へ拡充するため。 ②学校給食における地産地消(鎌産鎌消)食材の拡充及び学校との食育連携の取り組み及び、食物アレルギー対応の除去食について、小学校に引き続き、中学校への提供を実施する。	886,087

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
45	一般	10	4	3	123芸術・文化の振興	きらり鎌ヶ谷市民会館の管理運営に要する経費	文化・スポーツ課	○		①市民会館内の併設施設である、きらりホール、中央公民館、多文化共生推進センター、男女共同参画推進センター、市民活動推進センターの管理運営を行う。 ②令和2年度より、きらりホール及び中央公民館に指定管理者制度を導入することから、市民会館内の連携強化を図り、適切な管理運営を行う。また、きらりホール主催事業での来場者の増加を図る。	115,509	118,442	7拡充	①指定管理者制度の導入により、民間業者のノウハウを活用した更なるサービス向上を図るため。 ②市民会館の適切な管理運営を行う。指定管理者制度の導入により、民間業者のノウハウを活用した更なるサービス向上を図るため、指定管理者への適切な指導を行い、きらりホール主催事業の内容やPR方法の見直しを行う。	205,852
46	一般	10	4	1	123芸術・文化の振興	国史跡下総小金中野牧跡保存整備事業	文化・スポーツ課	○	○	①国史跡下総小金中野牧跡の維持管理、周知普及および保存管理を実施する。 ②史跡の更なる周知を目指して、事業展開をしていく。史跡指定によって保護されているが、捕込を適切に保存していくために、財政状況を見極めた上で、史跡整備の検討が必要である。	2,477	5,728	7拡充	①史跡地を保存活用し、周知普及事業の実施や、清掃管理を行い、史跡に対する市民意識の醸成を図ることが必要となるため。 ②引き続き国史跡を定期的に巡視し、適正な管理を行う。周知普及イベントにおける参加者の増加を図ると共に、幅広い年代に史跡へ興味を持ってもらえるようイベントの内容を工夫する。	2,980
47	一般	10	5	2	122生涯スポーツ・レクリエーションの振興	体育施設の管理運営に要する経費	文化・スポーツ課			①体育施設の適正な維持管理を行う。 ②施設の老朽化が目立ってきており、計画的な改修を行う必要がある。	93,886	92,840	7拡充	①多くの施設が老朽化している中、予算に応じて優先順位をつけ、計画的に修繕を行う必要があるため。 ②アーチェリー場防矢ネット改修工事実施。	96,117
48	国保	5	1	1	115安心して暮らせる社会保障の充実	特定健康診査等に要する経費	保険年金課	○		①年1回特定健康診査を実施。結果により、生活習慣病のリスクが高い人への特定保健指導と受診勧奨を行う。 ②特定健診受診率は県平均を下回っており、受診率の向上が課題である。	79,267	85,225	7拡充	①1人あたり保険給付費は増加しており、生活習慣病重症化予防のため、受診率向上を目指し、事業の拡充が必要。 ②AIを活用した未受診者勧奨を継続実施する。また、より早期からの生活習慣病予防のため若年集団健康診査を開始する。	93,048
49	下水	1	1	1	224上・下水道の整備	下水道事務に要する経費	下水道課			①公共下水道施設の維持管理を行う。 ②公共下水道施設の計画的な維持管理計画を策定する必要がある。	188,766	160,682	7拡充	①毎年増加する公共下水道施設を維持管理していく必要があるため。 ②計画的に点検・調査及び施設維持を行うため、下水道ストックマネジメント計画を策定する。	

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項	目	施策	事務事業名	担当課	主要 施策 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題(目的に対する現状など)	30年度決 算額[千 円]	元年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和2年度に取組む改革・改善内容	2年度予算 額[千円]
50	下水	2	1	1	224上・下水道の整備	下水道建設に要する経費	下水道課	○		①事業認可を取得している区域の管きよの設計、施工。 ②県内でも普及率が低い本市では、汚水適正処理構想に基づき下水道の未普及解消を進めるために国費等の財源確保が課題である。	324,993	738,378	7拡充	①生活環境の向上を図るため、下水道普及率を高め、早期に整備していく必要がある。 ②建設コストの縮減に努めるとともに、計画的に幹線及び枝線の整備を行う。	
51	介護	5	3	1	112いきいきとした高齢社会の形成	包括的支援事業に要する経費	高齢者支援課			①地域包括支援センターは市内3か所に設置。介護予防マネジメント、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント支援の業務のための運営費等。 ②高齢者人口、介護認定者数の増加に伴い、相談件数の増加、多様化、複雑化が進んでいる。	106,260	102,421	7拡充	①高齢者人口、介護認定者数の増加に伴い、介護保険、医療、認知症についての相談件数、虐待対応や権利擁護事務等が増加しているため、地域での対応窓口を増やす必要がある。 ②地域包括支援センターの増設に向けて、担当圏域や職員体制について検討し、第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定する。	107,363
52	介護	5	4	1	112いきいきとした高齢社会の形成	審査支払手数料に要する経費	高齢者支援課			①介護サービス等提供事業者からの給付費請求に係る審査支払事務を国民健康保険団体連合会に委託しているため、その手数料経費。 ②高齢化による要介護認定者、サービス受給者の増加に伴い、審査支払手数料も増加するものと思われる。	443	762	7拡充	①今後も高齢化の進行により介護給付費が増加するに伴い、審査手数料の増加が見込まれるため。 ②介護保険法に基づき、必要とする介護サービスが適正に行われ、適正な介護給付がされるよう、市内介護事業所等の実地調査や指導を行っていく。	920